

令和元（2019）年度決算
主要施策等に関する報告

【一般会計】 2 款 総務費

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

事務事業名	政策推進事業			決算書 掲載ページ	112
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	総務課	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	8,839	8,839	0	0	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	8,839	
目 的	多様化・高度化する行政課題に対応するため、専門家の知見を取り入れて政策推進を図る。				
取組内容・実績	じょんのび村、柏崎ショッピングモール、大学、公共交通等の本市の重要課題に対して、委託先の株式会社経営共創基盤と定例打合せを11回実施するとともに、随時に助言・アドバイスを受けた。				
成 果	本市の重要課題に対して専門家の知見を取り入れ、政策を推進することができた。				
課題・今後の方向性	今後とも、専門家の知見を取り入れながら、適切な政策推進を図っていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-1 平和と人権を尊重する心をはぐくむ
	⑥-1-2 人権を尊重した社会づくりを進める

事務事業名	無料法律相談事業			決算書 掲載ページ	112
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	総務課	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	654	654	0	0	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	654	
目 的	法的解釈が必要な生活上の問題について、弁護士から問題解決のための助言を受けることにより、市民が安心して暮らせるまちづくりを推進することを目的とする。				
取組内容・実績	月に2回、5枠の弁護士による無料法律相談を実施し、120人の枠に対し、116人が利用した。				
成 果	市内に事務所を持つ3人の弁護士に相談することができ、身近な相談窓口として、家庭、地域社会、職場等における様々な法律問題や人権課題の解決に寄与することができた。				
課題・今後の方向性	予約が集中する時期には次の相談日まで待たせることとなるため、他の相談機関を紹介するなど、相談希望者が早めに相談ができるよう状況に応じた対応が必要である。また、令和2(2020)年度から相談枠を1回当たり5枠から6枠に増設し、ニーズに対応する。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-1 平和と人権を尊重する心をはぐくむ
	⑥-1-1 平和に関する意識啓発を進める

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

事務事業名	核兵器廃絶平和推進事業			決算書 掲載ページ	114
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	総務課	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	434		150	0	284
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	150
目 的	核兵器廃絶平和都市宣言の趣旨にのっとり、平和を愛する世界の人々と共に、未来を担う子どもたちと美しいふるさとのために、市民一人ひとりが平和の実現に向けて努力する。				
取組内容・実績	満州柏崎村の塔へ7日間献花台を設置し、54人が献花した。 柏崎市平和教育パンフレットを作成し、市内中学校2年生及び3年生を対象に配布した。 第一中学校、高柳中学校、鏡が沖中学校及び南中学校の4校を対象に被爆写真パネルを用いた巡回パネル展を開催した。				
成 果	若い世代を中心に、被爆地広島・長崎の悲惨な状況や核兵器の恐ろしさ、平和の尊さについて考える機会を継続して提供することができた。				
課題・今後の方向性	悲惨な戦争の体験者の高齢化が進む一方で、若い世代における平和の尊さに対する認識が希薄になりつつある。核兵器に特化したものだけでなく、平和の尊さについて考える機会を提供するなど、平和への意識を風化させない取組を進める。				

事務事業名	職員健康管理事業			決算書 掲載ページ	116
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	人事課	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	14,425		12,485	0	1,940
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	290	12,195
目 的	労働安全衛生法で義務付けられている健康診断事業や健康維持増進事業、ストレスチェックの実施により、健康で働きやすい職場環境の維持と確保を図る。				
取組内容・実績	健康診断事業（雇入れ時健診28人、健康診断692人、人間ドック588人）及びストレスチェック（1,395人）を実施した。 また、メンタルケアの取組として、産業カウンセラーによる健康相談を実施した（実施日数43日、対象者87人）。				
成 果	健康診断等を実施した職員の約40%が「要医療・要精密検査」と判定された。健診後の医療機関への受診につなげることが重要なため、受診勧奨により早期受診を促した。 ストレスチェックでは、高ストレス者と判定された職員のうち11人について医師の面談を実施し、メンタル不調の予防に役立てた。 産業カウンセラーによる健康相談では、カウンセラーから具体的なアドバイスを受けることで当該職員のメンタルヘルスの向上につながった。				
課題・今後の方向性	良質な市民サービスを提供するためには、職員が心身共に健康であることが基本であるが、有所見者が多く見受けられるため、心身両面において予防の観点からの健康管理の推進や職場環境の整備に取り組んでいかなければならない。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

事務事業名	職員研修費			決算書 掲載ページ	116
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	人事課	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	7,650	5,388	0	2,262	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	5,388	
目 的	市職員一人一人の知識と資質の向上を図るため、柏崎市人材育成指針に基づき、研修事業を展開する。				
取組内容・実績	市町村総合事務組合等の開催する階層別研修、専門研修のほか、柏崎リーダー塾、全国地域リーダー塾等へ職員が参加した。また、内部研修では、主任・主査昇格職員を対象とした研修を実施し、延べ939人が受講した。				
成 果	研修の受講により、事務の基礎知識や職位別に求められるスキルを習得し、円滑な事務の執行に資することができた。				
課題・今後の方向性	人材育成指針に掲げる目指す職員像「柏崎市民のため、将来にわたるまちの持続的発展のために、使命感、責任感及び先見性を持った行動力のある職員」を達成するためには、今後も研修の受講等による職員一人一人の資質の向上が求められるが、研修で得た知識を受講した職員だけが享受するのではなく、職場内で共有できる仕組みづくりを整えることが必要である。				

事務事業名	人材育成費			決算書 掲載ページ	118
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	人事課	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	867	845	0	22	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	404	441	
目 的	人事評価制度を実施することにより、適切な人事管理及び人材育成を進める。				
取組内容・実績	人事評価制度の円滑な運用を図るため、新採用職員及び評価者を対象とした研修会を計8回開催し、延べ287人が受講した。				
成 果	人事評価は職員の育成が目的であることから、育成面談に重点を置いた内容で評価者研修を実施した。繰り返しの研修により、評価者の評価基準が平準化されてきた。				
課題・今後の方向性	安定した人事評価制度の運用のためには、制度に対する正しい理解に基づいた適切な職務目標の設定や、職務行動に対する均衡の取れた評価が不可欠である。安定した制度運用による人事管理及び人材育成を実現するため、計画的な研修の継続実施が必要である。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-1 平和と人権を尊重する心をはぐくむ
	⑥-1-2 人権を尊重した社会づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

事務事業名	男女共同参画啓発事業			決算書 掲載ページ	120
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	人権啓発・男女共同参画室	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,022		2,978	0	44
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	2,978
目 的	男女がお互いの人権を尊重して認め合い、個性と能力を發揮できる男女共同参画社会を形成することにより、男女平等を目指した調和の取れたまちづくりを推進する。				
取組内容・実績	かしわざき男女共同参画推進市民会議の全市版情報紙発行や講演会、イベント等の事業に対し、負担金を交付した。 また、高校生対象のデートDV予防啓発講座（3校計376人参加）及び市民を対象としたDV防止講演会（37人参加）を開催した。				
成 果	各種講座や講演会の開催、広報紙の発行などの啓発活動を実施したことにより、男女共同参画社会の実現に向けての市民意識の向上を図ることができた。 DV防止講演会では、面前DVの理解と支援について支援者の理解を深めることができた。				
課題・今後の方向性	男女共同参画社会の実現については、行政だけではなく、市民・団体・事業所などがそれぞれの役割を果たしながら協働で推進していくことが重要であり、継続した啓発活動を続けていく必要がある。 デートDV予防啓発講座は、高校在籍中に全員が受講できるよう確実に実施する。				

事務事業名	ワーク・ライフ・バランス推進事業			決算書 掲載ページ	120
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	人権啓発・男女共同参画室	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	238		95	0	143
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	95
目 的	市民一人一人がやりがいや充実感を持って働き、仕事上の責任を果たすとともに、子育て・介護の時間や家庭、地域、自己啓発等に係る個人の時間を持てる健康で豊かな生活ができるよう仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進を図る。				
取組内容・実績	事業所を対象として、ワーク・ライフ・バランスの取組事例と効果を認識して実践への足掛かりとすることをテーマに、セミナーを開催した（17人参加）。 なお、セミナーでは、ハッピー・パートナー企業の制度周知を行っており、登録事業所が6件増加した。				
成 果	身近な企業からの取組事例を直接聞く機会を設け、ワーク・ライフ・バランスの推進が従業員と企業の双方に有益となることを啓発できた。 また、ハッピー・パートナー企業が増加したことにより、地元企業の環境整備が徐々に図られた。				
課題・今後の方向性	ワーク・ライフ・バランス推進においては、教室形式のセミナーだけでなく、実際に取り組んでもらえるような働きかけを検討しなければならない。 また、ワーク・ライフ・バランスセミナーのアンケートでは、他社の取組事例を知りたいという声があるため、専門家からその事業所に合った取組やアドバイス等ができる施策が必要である。 ワーク・ライフ・バランスの取組によって成果が現れた事例を広く周知することで、実践する事業所の増加を目指す。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-1 平和と人権を尊重する心をはぐくむ
	⑥-1-2 人権を尊重した社会づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-1 平和と人権を尊重する心をはぐくむ
	⑥-1-2 人権を尊重した社会づくりを進める

事務事業名	男女共同参画基本計画策定事業			決算書 掲載ページ	120
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	人権啓発・男女共同参画室	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,859		1,690	0	169
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,690
目 的	市民アンケート調査を実施し、柏崎市男女共同参画推進条例に定める基本計画を策定するための基礎資料とする。				
取組内容・実績	委託により市民2,000人、中学3年生661人及び事業所500社にアンケート調査を実施し、市民769人(38.5%)、中学生631人(95.5%)、事業所205社(41.0%)から回答があり、報告書を作成した。				
成 果	現男女共同参画基本計画の進捗状況をアンケート調査の回答から確認できた。また、次期計画策定の基礎資料となる報告書が作成できた。				
課題・今後の方向性	令和2(2020)年度に次期男女共同参画基本計画(計画期間:令和3(2021)年度～令和7(2025)年度)を策定する。				

事務事業名	人権擁護事業			決算書 掲載ページ	120
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	人権啓発・男女共同参画室	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,337		1,158	0	179
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	300		0	0	858
目 的	人権意識を向上させ、差別やいじめのない安心して暮らせるまちづくりを推進する。				
取組内容・実績	市の課長代理・係長級職員を対象とした同和問題研修会(60人参加)を開催するとともに、関係機関・団体の研修会や講演会にも参加した。また、市民向け人権講演会(98人参加)を開催した。				
成 果	広報や研修会等を通じて、市民や職員に人権についての正しい知識や理解を深め、人権意識を向上することができた。				
課題・今後の方向性	人権教育・啓発推進計画の進行管理を行い、庁内推進会議において検証を行う。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-2 持続可能な市民力と地域力をはぐくむ
	⑥-2-2 地域力が発揮できる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-2 持続可能な市民力と地域力をはぐくむ
	⑥-2-2 地域力が発揮できる環境を充実させる

事務事業名	市政協力費			決算書 掲載ページ	124
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	70,777	69,863	0	914	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	50,000	0	0	19,863	
目 的	町内会に対して市政協理事務費を交付することにより、市の広報等を各世帯に配布する業務及び地域住民の意向確認・集会の手配など市政全般の協力を得る。				
取組内容・実績	304町内会に対して、市の広報等を各世帯に配布する業務等の市政協力に対する事務費を69,863千円交付した。				
成 果	市政情報の適正な提供と市政運営に関する町内会意向の集約について協力を得ることができた。				
課題・今後の方向性	配布物が多く、町内会の負担となっているため、市内部及び外郭団体を含めた配布方法の見直しを検討する必要がある。				

事務事業名	町内会集会施設建設事業補助金			決算書 掲載ページ	124
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	3,585	3,481	0	104	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	3,481	
目 的	町内会集会施設の建設等に要する費用に対して一定額の助成を行うことにより、地域の拠点施設の環境を向上させる。				
取組内容・実績	集会施設の改修等を行った町内会に補助金を交付した。修繕4件、耐震改修1件、補助金合計額3,481千円				
成 果	町内会に補助金を交付することで、地域住民の拠り所となる集会施設を整備することができた。				
課題・今後の方向性	町内会規模が縮小傾向にあることから、補助率及び補助限度額の見直し（増額）を検討していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-1 支え合いの地域づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

事務事業名	避難者見守り支援事業			決算書 掲載ページ	126
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	東日本大震災被災者支援室	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	16,635		16,096	0	539
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	14,329		0	0	1,767
目 的	東日本大震災被災者の台帳整備・管理により避難者と被災元の連絡調整を行う。また、訪問等により被災者のニーズに沿った見守り支援を通して本市での安心、安全な生活を提供する。				
取組内容・実績	見守り支援業務を市内NPO法人へ委託し、避難者全世帯への年2回の戸別訪問を実施して健康状態を確認するとともに、生活支援情報及び被災元市町村からの情報を提供した。また、交流サロンにおいて、避難者同士の交流の場を設けた。				
成 果	これまでの戸別訪問、交流サロン活動の成果として、当市で生活基盤と地域とのつながりが確立された避難者が増えてきた。				
課題・今後の方向性	戸別訪問においては、全世帯ではなく真に必要な世帯のみへの戸別訪問を検討する。交流サロンにおいては、地域コミュニティの中で交流ができていることから、設置の可否を検討していく。				

事務事業名	メディア広報費			決算書 掲載ページ	134
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	元気発信課	
目	02	文書広報広聴費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	12,180		11,984	0	196
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	5	11,979
目 的	速報性に優れたFMラジオを通じ、音声で広く市民に市の施策やサービスの内容を分かりやすくお知らせすることで、市政に対する関心を高めるとともに、理解や参加を促進する。また、災害時における広報手段を確保する。				
取組内容・実績	市内FM放送局と委託契約を締結し、月曜から金曜までの毎日、1回5分間を1日6回、合計30分間にわたり、広報誌に掲載している内容から市民生活に身近な情報を中心に放送を実施した。また、各課からの依頼に基づく放送を52回行った。				
成 果	広報誌を読む機会の少ない市民や市内在住の視覚障害者に対して、FM放送を用いて広報誌の内容や市の最新情報をお知らせすることにより、広く行政情報を提供することができた。				
課題・今後の方向性	FM放送により提供する情報内容の充実を図るため、引き続き各課への積極的な活用を呼び掛けていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-2 大学を活かし『柏崎らしさ』をはぐくむ
	⑤-2-1 地（知）の拠点を活かした取組を進める

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-2 持続可能な市民力と地域力をはぐくむ
	⑥-2-1 市民力が発揮できる環境を充実させる

事務事業名	大学との連携・協働事業			決算書 掲載ページ	140
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	企画政策課	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	11,575	10,310	0	1,265	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	10,310	
目 的	市内2大学の入学者減少に歯止めを掛け、魅力づくりと認知度向上を図るため、補助等を行う。				
取組内容・実績	市内2大学の学生を確保するため、学生募集に係る取組に対して5,500千円の補助金を交付した。また、新潟工科大学産学交流会奨学金の柏崎枠給付者が8人となったため、合計3,900千円を寄附した。				
成 果	令和2(2020)年度の入学生は、2大学ともに定員を上回る成果があった。				
課題・今後の方向性	学生募集支援事業補助金や新潟工科大学産学交流会奨学金柏崎枠への寄附を継続するとともに、2大学との定期的な意見交換や連携により、大学の魅力と知名度の向上に資する取組を引き続き支援する。				

事務事業名	柏崎リーダー塾事業			決算書 掲載ページ	140
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	企画政策課	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	4,000	4,000	0	0	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	4,000	
目 的	産学官が連携し、地域課題の解決に取り組む次世代のリーダーを育成する。				
取組内容・実績	柏崎商工会議所、新潟産業大学、新潟工科大学、柏崎市で構成する柏崎リーダー塾運営協議会に負担金を支出した。第4期には14人が入塾し、第2・第4水曜日と第1土曜日を中心に研修を実施した。				
成 果	第4期生がカリキュラムを通じて市の現状把握やスキルアップに取り組み、提案力や対話力、ファシリテーション能力など、リーダーとしての資質を向上することができた。				
課題・今後の方向性	12月に予定される成果報告発表会に向けて、カリキュラムを進めるとともに、柏崎リーダー塾に対する市民の理解・期待を促進し、今後の塾生の確保につなげる必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-1 持続可能な公共交通ネットワークを構築する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-1 持続可能な公共交通ネットワークを構築する

事務事業名	路線バス等確保事業			決算書 掲載ページ	142
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	企画政策課	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	134,235		130,363	0	3,872
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	9,297		0	381	120,685
目 的	市民が利用しやすく、持続可能な生活交通を確保・維持する。				
取組内容・実績	国県との協調や市単独による路線バスの運行経費に対して補助等を行うとともに、全市民や世代ごとに、路線バス利用促進策を実施した。また、市街地循環バスで実施していた高齢者割引制度を、越後交通(株)が運行する市内の全路線に拡大した。さらに、西山町地域公共交通のにしやま号では、フリー降車を導入した。				
成 果	高齢者割引制度の対象路線拡大により、専用回数券販売数量が7,448綴りとなり、前年度の2,587綴りを大きく上回った。また、にしやま号において導入したフリー降車の全利用者に占める割合が2割と一定程度の利用があり、同地域内交通の利便性を高めることができた。				
課題・今後の方向性	利用者の減少と運行事業者の運転士不足により、市内バス路線の運行体系の維持が困難になっている一方で、財政負担は増加しており、市内の公共交通網の再構築に取り組む必要がある。				

事務事業名	鉄道等活性化事業			決算書 掲載ページ	142
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	企画政策課	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	621		473	0	148
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	473
目 的	信越本線等の列車の維持・改善と将来に向けた鉄道の利便性の向上を図る。				
取組内容・実績	鉄道事業者に対して、商工会議所及び観光協会との三者による要望活動を行った。また、上越・北陸新幹線直行特急実現期成同盟会の事務局として、信越本線の利便性向上と直通運転化実現に向けて、国・政府に対して要望活動を実施した。				
成 果	前年度に引き続き、信越本線の運行本数の維持と長岡駅における接続性の改善につながった。				
課題・今後の方向性	利用者の減少を抑制するには、更なる利便性の向上と安定的な運行が求められているため、引き続き関係機関及び関係諸団体と連携し、鉄道事業者等に対する働きかけが必要である。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	次世代エネルギー活用推進事業			決算書 掲載ページ	144
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	電源エネルギー戦略室	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,775		1,901	0	874
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	3	1,898
目 的	柏崎市地域エネルギービジョンに基づき、再生可能エネルギー及び次世代エネルギーの活用を推進する。				
取組内容・実績	エネルギー構造高度化・転換理解促進事業補助金を活用し、再生可能エネルギーを一部活用した防災情報通信システム整備と地中熱利用設備整備（南中学校、第一中学校及び瑞穂中学校）を行い、次年度の事業について国との協議を実施した。 また、再生可能エネルギーへの理解を深めるため、ふれあい講座及び新潟工科大学における講義を計6件、227名に対して実施した。				
成 果	今後のCO ₂ 削減への寄与、電気料金削減、地域住民の再生可能エネルギーへの理解促進を図ることができた。				
課題・今後の方向性	今後とも国の補助金を活用しながら、公共施設を始め市内へ再生可能エネルギー及びその利活用システムの導入を推進していく必要がある。				

事務事業名	次世代エネルギー活用研究事業			決算書 掲載ページ	146
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	電源エネルギー戦略室	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	32,270		31,543	0	727
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	15,000		0	1,000	15,543
目 的	柏崎市地域エネルギービジョンに基づき、低炭素エネルギーを軸に、環境・経済の両面から持続可能で豊かに生活できるまちの実現を目指す。				
取組内容・実績	エネルギー構造高度化・転換理解促進事業補助金を活用し、地域エネルギー会社実現可能性調査を実施した。加えて、エネルギー政策に関する市民意識調査及び次世代エネルギー動向調査を実施し、地域エネルギー会社の実現可能性を検討した。 また、県と共同で青少年のための科学の祭典に出展し、燃料電池工作実験や燃料電池自動車展示等を実施、次世代エネルギーの導入・利活用に関連するセミナーや研究会に出席し、情報収集を行った。				
成 果	地域エネルギー会社実現可能性調査により、市内公共施設への電力小売事業からスタートすることが現実的との調査結果を得た。 また、国、先進自治体、企業等の取組等の情報収集により、今後の活用を考える上での知見を得ることができた。				
課題・今後の方向性	地域エネルギー会社設立の検討と準備を進め、エネルギーの地産地消の実現を目指す。 また、次世代エネルギーの導入・活用を具体的に進めながら、環境エネルギー産業を創出していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-1『柏崎らしい』個性をはぐくむ
	⑤-1-1 柏崎の魅力を高め、良さを伝える

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-1『柏崎らしい』個性をはぐくむ
	⑤-1-1 柏崎の魅力を高め、良さを伝える

事務事業名	ふるさと応援事業			決算書 掲載ページ	146
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	元気発信課	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	181,260	145,786	0	35,474	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	145,786	
目 的	ふるさと納税の仕組みをいかし、シティセールスの観点から応援者の獲得や地域産業の活性化を目指す。				
取組内容・実績	応援者を獲得するために、市内高校の首都圏同窓会及びイベントでのPR、寄附者へのDM等送付及び旬な返礼品や柏崎の情報を伝えるメルマガ定期配信を行うとともに、ふるさと納税ポータルサイトを活用した定期的な情報発信を行った。あわせて、令和2（2020）年度から1サイト増やすための準備を進め、令和2（2020）年4月1日に開設した。				
成 果	前年度比約1.6倍となる13,532件、253,527,440円の寄附をいただき、柏崎を応援（援）していただくことができた。				
課題・今後の方向性	更なる応援者の獲得及び継続した関係維持のため、返礼品の充実とクラウドファンディング型寄附を継続する。 返礼品の充実を図るためには、本市の産業振興の観点から事業所管課との連携が必要である。				

事務事業名	柏崎シティセールス推進事業			決算書 掲載ページ	146
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	元気発信課	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	18,127	17,109	0	1,018	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	13,000	4,109	
目 的	「定住人口の増加」に向け、柏崎ファンクラブの活動を通じて市民の定住意欲を高めるとともに、市外に対しては柏崎との関係を深め、U・Iターンの促進へとつなげる。				
取組内容・実績	柏崎シティセールス推進協議会と連携し、柏崎ファンクラブを軸とした事業を展開し、柏崎のPR活動、会員活動の活性化及び市内他団体との連携事業を実施した。				
成 果	柏崎ファンクラブ会員が全国47都道府県、8,518人（令和2（2020）年3月末時点）となり、交流人口及び関係人口の拡大に寄与することができた。 また、当該協議会の事業において、かしわざき岬めぐり、超ウルトラ柏崎横断クイズ選手権、首都圏イベントへの出展といった、市内外の会員との交流を実施し、柏崎との関係性をより強く持ってもらい、U・Iターンのきっかけづくりとなった。				
課題・今後の方向性	柏崎ファンクラブを核とした自主財源確保策を研究し、民間主導の協議会運営による多角的な取組へと拡大を図る。 また、ファンクラブ会員の思いを形にする企画について、会員自ら発案し、実施できるよう促す。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-1『柏崎らしい』個性をはぐくむ
	⑤-1-1 柏崎の魅力を高め、良さを伝える

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-1 持続可能な公共交通ネットワークを構築する

事務事業名	U・Iターン促進事業			決算書 掲載ページ	146
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	元気発信課	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	23,863		19,984	0	3,879
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	991		0	0	18,993
目 的	移住志向者等に寄り添った対応や学生等若者へのアプローチを強化し、移住・定住の促進を図りながら、人口減少を抑制する。				
取組内容・実績	柏崎U・Iターン情報ステーション（市役所1階）と同サテライト（柏崎コワーキングスペース「K. V i v o」内）を開設したほか、ふるさと回帰支援センターでの出張窓口相談を実施し、移住相談に応じた。また、「移住・交流情報ガーデン」において、就農・看護職に特化した移住相談会を初めて実施したほか、企業及び学校への訪問を行った。移住者確保に向けて、首都圏移住・就業者応援補助金を拡充し、5つの補助金の周知を図った。				
成 果	市内外での移住相談窓口開設により、移住志向者のニーズに応じた相談先を明確に示すことができた。このことにより、より具体的な相談や補助金等の活用に関する事前相談や申請を受けることができた。				
課題・今後の方向性	U・Iターン施策は、新卒学生には地元回帰を促す営業活動を行い、若年代向けには柏崎の認知度を高め、移住意識の高揚を図る必要がある。あわせて、魅力ある地元企業での就労先確保を行いながら、相談会等開催によりマッチングを行うことで移住・定住を促進する。				

事務事業名	西山町地区路線バス確保事業			決算書 掲載ページ	148
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	西山町事務所	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,659		2,465	0	194
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	2,465
目 的	マイクロバス（にしやま号3台）の維持管理を行い、西山町内における交通弱者の交通手段を確保し、持続可能な公共交通の確立を図る。				
取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> にしやま号乗客数 3,564人 バス（にしやま号3台分）の維持管理 車検1回・定期点検3回 				
成 果	交通弱者の交通手段を確保することができた。				
課題・今後の方向性	今後とも、西山町地区の持続可能な公共交通確保のため必要である。老朽化しているバスがあることから、入替え等を検討する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

事務事業名	I T戦略事業			決算書 掲載ページ	150
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	企画政策課	
目	07	情報化推進費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	7,707	7,359	0	348	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	7,359	
目 的	庁内の業務改善及び市民サービスの向上を図る。				
取組内容・実績	情報政策官による庁内及び外部事業者に対する支援や助言のほか、情報産業振興に係る取組、情報セキュリティ監査（財務会計システム、人事給与システム）を実施した。人事課と連携し、I C Tによる業務改善事業を全庁的に実施した（令和2（2020）年度継続）。				
成 果	外部人材である情報政策官を登用し、情報化関連業務における適正な運用を行った。A I-O C R、R P Aの導入を2件行い、業務の効率化を図ることができた。				
課題・今後の方向性	情報化関連経費の適正化が維持されるよう引き続き監視していく必要がある。業務改善事業では、費用対効果等を考慮し、I C Tの導入を図る必要がある。				

事務事業名	情報化関連業務総合委託事業			決算書 掲載ページ	150
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	企画政策課	
目	07	情報化推進費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	375,972	375,319	0	653	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	3,802	371,517	
目 的	柏崎市電子自治体最適化ガイドライン（平成22（2010）年度）にのっとり、アウトソーシングによるコスト削減及び業務効率化を図る。				
取組内容・実績	S L A（サービスレベル協定）に基づく安定した情報化関連業務（平成23（2011）年度開始）及び職員給与計算業務（平成26（2014）年度開始）の提供を行った。				
成 果	情報化関連業務について、S L A評価会議において検証した結果、一定のサービスレベルが維持できていることを確認できた。				
課題・今後の方向性	情報化関連業務のアウトソーシングを継続することを基本として、今後は業務範囲やS L Aの見直し等を検討する。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

事務事業名	地域イントラネット事業			決算書 掲載ページ	150
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	企画政策課	
目	07	情報化推進費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	28,572	28,444	0	128	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	1,804	26,640	
目 的	主要な公共施設を光ファイバー専用線等で結び、行政内部の情報共有化を図る。				
取組内容・実績	専用回線により市内公共施設をネットワーク化し、行政情報の共有化と事務の効率化を図った。令和元（2019）年度の回線数は、129回線であった。 内訳：閉域網（帯域保証型）37回線、閉域網（ベストエフォート型）92回線				
成 果	公共施設をネットワーク化することにより、行政情報の共有化と事務の効率化を図ることができた。				
課題・今後の方向性	ネットワークの安定稼働を維持していくとともに、令和3（2021）年1月の新庁舎移転では確実な回線切替えを行う必要がある。				

事務事業名	事務改善事業			決算書 掲載ページ	150
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	企画政策課	
目	07	情報化推進費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	1,742	1,731	0	11	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	1,731	
目 的	電子申請による市民サービスの向上と庁内のパソコン環境の維持を図る。				
取組内容・実績	10業務の電子申請を行い、205件の申請があった。				
成 果	電子申請により自宅やスマートフォン等から申請が可能となり、申請者の利便性を向上することができた。				
課題・今後の方向性	今後、国の動向に併せ電子申請で手続のできる業務を拡充していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

事務事業名	社会保障・税番号制度事業			決算書 掲載ページ	150
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	企画政策課	
目	07	情報化推進費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	14,937	13,569	0	1,368	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	13,569	
目 的	社会保障・税番号制度への円滑な対応やマイナンバーカードの利活用促進を図る。				
取組内容・実績	マイナンバーカードの原子力災害時の避難者管理としての利用を検討するとともに、国が消費活性化策として進めるマイナポイント事業（マイキーID設定支援）に取り組んだ。令和元（2019）年度のコンビニ交付件数は、997件となった。				
成 果	国が進める社会保障・税番号制度への円滑な対応を実施し、市民サービスの向上に寄与することができた。				
課題・今後の方向性	健康保険証の利用等、国が進める施策に対応するとともに、住民サービスの向上につながるマイナンバーカードの利活用を検討する必要がある。				

事務事業名	新庁舎移転準備経費			決算書 掲載ページ	152
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	総務課	
目	08	新庁舎整備費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	15,211	9,122	0	6,089	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	9,122	
目 的	新庁舎におけるオフィス設計及び調達備品仕様作成並びに情報通信ネットワーク整備に係る所要の調査等を実施し、円滑に新庁舎移転を行うため準備作業を進める。				
取組内容・実績	新庁舎におけるオフィス設計、調達備品、移転計画の仕様作成及び情報通信ネットワーク整備に係る所要の調査等を業務委託により実施した。調査結果を踏まえて、新庁舎に必要な調達備品、移転作業及び各種プロポーザルの仕様に反映することができた。				
成 果	新規購入備品に係る調達事務、移転業務委託に係る専門事業者の選定を円滑に行うことができた。				
課題・今後の方向性	職員の負担軽減に配慮しながら、円滑に新庁舎開庁を迎えることができるよう専門事業者と連携しながら、物品、文書及びIT機器等に係る詳細な移転工程を立案するとともに、その工程を踏まえた移転作業を確実に遂行する。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-1 『柏崎らしい』個性をはぐくむ
	⑤-1-2 世界に開かれたまちづくりを進める

事務事業名	新庁舎整備事業			決算書 掲載ページ	152
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	新庁舎整備室	
目	08	新庁舎整備費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,858,574		1,691,704	165,350	1,520
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		280,700	1,000,000	411,004
目 的	現庁舎は建設から約50年が経過し、経年による建物の老朽化、庁舎の分散による市民サービス機能の低下などの諸問題を解消するべく、庁舎の建て替え・移転を実施するものである。				
取組内容・実績	平成30(2018)年度から令和2(2020)年度までの3か年継続事業であり、昨年度に引き続き、新庁舎建設(建築本体、電気設備、機械設備)工事を実施した。				
成 果	予定していた工事を完了し、進捗率は、建築本体外工事51%、電気設備工事6%、機械設備工事5%となっており、計画どおり進めることができた。				
課題・今後の方向性	災害時に防災・危機管理拠点としての機能を持つ庁舎を整備する必要がある。あわせて、ユニバーサルデザインを推進し、全ての人が等しく市民サービスを受けられるような機能が求められている。 令和3(2021)年1月の開庁を目指し、引き続き新庁舎の整備を進める。				

事務事業名	友好交流推進事業			決算書 掲載ページ	152
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	商業観光課	
目	09	国際交流費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,807		2,726	0	81
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	2,726
目 的	本市と友好交流都市である中国江蘇省淮安区との友好交流の一環として、青少年の交流を通じた交流を推進する。				
取組内容・実績	柏崎市友好交流推進事業として、8月3日から7日まで中学生10名と引率者5名が中国江蘇省淮安区を訪問した。				
成 果	中国江蘇省淮安区へのホームステイやスポーツ・文化を通じた交流を行い、現地中学生との親睦を深めた。本訪問により、淮安区との友好を深めるとともに、市の青少年の国際理解を深める貴重な機会となった。				
課題・今後の方向性	友好交流関係のある中国との交流について、今後の交流の目的を明確にしていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-1『柏崎らしい』個性をはぐくむ
	⑤-1-2 世界に開かれたまちづくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-2 持続可能な市民力と地域力をはぐくむ
	⑥-2-2 地域力が発揮できる環境を充実させる

事務事業名	国際化に対応したまちづくり事業			決算書 掲載ページ	152
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	商業観光課	
目	09	国際交流費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,050		6,040	0	10
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	6,040
目 的	市民の国際理解を深め、市内在住外国人が安心して暮らせるように、多文化共生のまちづくりを推進する。				
取組内容・実績	柏崎地域国際化協会の事業を支援した。				
成 果	多文化理解講座などの実施により、市内在住外国人との相互理解を深めることができた。				
課題・今後の方向性	世界に開かれたまちづくりを進める上で（公財）柏崎地域国際化協会の担う役割は大きい ため、引き続き事業を支援しながら、市民の国際化の理解を更に深めていくための取組 を推進する。また、インバウンドの取組を進める上でのターゲットが絞られておらず、 効果的なプロモーションや商品開発に至っていないため、ターゲットを設定し、市民啓発 を含め、外国人観光客の受入環境を整える。				

事務事業名	地域コミュニティ活動推進事業			決算書 掲載ページ	154
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	10	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	150,033		148,137	0	1,896
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	57,000		0	1,100	90,037
目 的	コミュニティセンター職員の人件費及び活動推進事業に要する経費を補助することにより、 各コミュニティ協議会の健全な財政運営に寄与し、地域活動の推進を図る。				
取組内容・実績	各コミュニティ協議会の活動事業を補助（148件、20,557千円）し、人件費相当額についても補助（88人、127,372千円）を行った。				
成 果	コミュニティセンター職員の人件費及び活動推進事業に要する経費を補助することにより、 各コミュニティ協議会の健全な財政運営に寄与し、地域活動の推進を図ることができた。				
課題・今後の方向性	利用者の高齢化・担い手不足・事業の固定化等を解消するため、組織活動の実績を検証し、 地域の要望に沿った多世代が参画できる事業計画を策定する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-2 持続可能な市民力と地域力をはぐくむ
	⑥-2-2 地域力が発揮できる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

事務事業名	市民活動支援事業			決算書 掲載ページ	154
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	10	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,985		3,676	0	2,309
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	7	3,669
目 的	地域資源を活用したまちづくりを推進し、協働の担い手となる市民活動団体等を育成する。さらに、市民活動団体同士のつながりを深める。				
取組内容・実績	地域課題を解決、社会貢献を目的とした市民活動団体2団体に335千円の補助金を交付し、市民活動を支援した(令和元(2019)年度から3部門を2部門に再編成し、補助率、補助限度額を改正)。				
成 果	市民が主体となった市民活動団体に補助金を交付することで活動のきっかけとなり、協働の担い手となる人材・団体を育成、発掘することができた。また、交付を受けた団体が、地域の課題解決、地域資源の復活、発掘等の様々な活動を通して、団体と地域住民とのふれあいを創り出すことができた。				
課題・今後の方向性	元気なまちづくり事業補助金は、令和3(2021)年度で終了する予定であるが、これまでの交付団体について、交付後の活動を分析する必要がある。事業終了後は、民間資金を活用し、市民活動団体への金銭的支援を実施するとともに、金銭的支援だけでなく活動に対する助言等の人的支援をこれまで以上に充実させていく。				

事務事業名	消費者対策事業			決算書 掲載ページ	154
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	10	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	13,191		11,390	0	1,801
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	3,300		0	5	8,085
目 的	消費生活センターを設置させることで、消費者保護を目的とした相談体制及び啓発事業を充実させる。また、消費者団体を支援することで、消費生活が活発になるとともに、啓発事業への協力を得る。				
取組内容・実績	消費者対策事業として、出前講座(20回、574人)や広報周知等を実施するとともに、市民からの消費生活相談対応(相談件数776件)、消費生活に関する調査等を行った。また、柏崎市消費者協会事務局として、同協会と主催の講演会を開催し、125人の参加者があった。				
成 果	各種研修へ参加することにより、消費生活相談員としてのスキルアップに努めるとともに、出前講座への講師派遣や消費生活講演会を開催し、消費者保護や消費者教育の推進と啓発を図ることができた。				
課題・今後の方向性	市民への継続的な教育・啓発事業を行う必要がある。高齢者等の被害防止のため消費者安全確保地域協議会を開催し、弁護士、警察、社会福祉協議会、地域包括支援センター、民生委員児童委員協議会及び市の関連部署との連携強化を図る。また、大学等との連携により、若者向けの消費者教育の充実が必要である。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

事務事業名	地域安全対策費			決算書 掲載ページ	156
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	10	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	48,111		39,160	0	8,951
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	5	39,155
目 的	市民の自主防犯意識の高揚を図ることにより、住民同士の連帯感を築き、犯罪の温床となりにくい地域づくりを目指す。				
取組内容・実績	地域安全対策事業として、「安全・防犯情報メール」や広報等による情報提供、地域安全マップづくり講習会（8地区、大人127人、子ども112人）、地域防犯リーダー育成講座（24人）等を開催した。また、防犯活動に「ながらパトロール」という視点で活動するとともに、昨年度に引き続き警察署と連携を図り、「プチ防犯」対策を推進した。				
成 果	関係機関や各団体と連携し、防犯意識の啓発活動を実施したことにより、地域安全活動の推進と防犯意識の高揚が図られ、刑法犯認知件数の減少につなげることができた（刑法犯認知件数：325件（目標値：350件））。				
課題・今後の方向性	各種防犯対策を実施・展開していく中で、若い世代からの参加及び「ながらの目」による見守り活動を拡大して犯罪の抑止を図る必要がある。あわせて、「安全・防犯情報メール」の登録者を拡大するため、地域、学校及び企業等と更なる連携を図り、地域の見守り活動につなげていく必要がある。また、防犯リーダーの活動意義を明確に示し、地域の防犯活動の中核を担ってもらえるような取組や仕組みづくりが必要である。				

事務事業名	地域安全対策施設整備事業			決算書 掲載ページ	156
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	10	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	10,005		8,181	0	1,824
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	8,181
目 的	夜間及び通学路の道路防犯性を向上させることにより、犯罪が起りにくい環境づくりを目指す。				
取組内容・実績	地域安全対策施設整備事業として、街路灯を設置する電柱がない箇所に電柱を設置した（7団体、9本）。また、通学路における子どもたちの見守り活動において、「見守る目」を補完するため、「1人区間」等の「見守り空白地帯」に防犯カメラを設置した（4か所、7台）。				
成 果	街路灯設置用の電柱を設置することにより、夜間の地域安全を図ることができた。また、通学路に防犯カメラを設置することにより、地域等が行う子どもたちの見守り活動を補完し地域安全を図ることができた。				
課題・今後の方向性	街路灯を設置するための電柱がない道路（通学路等）に対して、現状を十分に確認・精査し、必要な箇所への電柱設置工事を行っていく。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-2 持続可能な市民力と地域力をはぐくむ
	⑥-2-2 地域力が発揮できる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-2 持続可能な市民力と地域力をはぐくむ
	⑥-2-2 地域力が発揮できる環境を充実させる

事務事業名	コミュニティセンター整備事業			決算書 掲載ページ	158
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	10	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	32,134		31,868	0	266
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	16,000		0	0	15,868
目 的	コミュニティセンターの老朽化に伴う大規模改修を行うことで施設の長寿命化を図る。				
取組内容・実績	別山コミュニティセンター及び鯨波コミュニティセンターの大規模改修工事を行った。 別山14,300千円、鯨波17,568千円				
成 果	コミュニティセンターの老朽化に伴う大規模改修を行うことで施設の長寿命化を図ることができた。				
課題・今後の方向性	各施設とも大規模改修工事を計画的に実施しているが、増加傾向にある突発的な修繕等に対応していく必要がある。				

事務事業名	コミュニティバス運営事業			決算書 掲載ページ	158
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	10	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,188		6,394	0	794
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	6,394
目 的	コミュニティバスを各地域協議会が行う行事で運行することにより、利用者の利便性の向上が図られ、事業の活性化につなげることができる。				
取組内容・実績	利用件数125件、利用人数2,931人、走行距離16,545km				
成 果	各地域協議会が行う活動推進事業等の視察や交流事業等の移動手段とし、効果的に利用された。				
課題・今後の方向性	平成31(2019)年3月にコミュニティバスを入れ替え、各コミュニティ協議会の積極的な利用を促進していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-2 持続可能な市民力と地域力をはぐくむ
	⑥-2-2 地域力が発揮できる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-2 持続可能な市民力と地域力をはぐくむ
	⑥-2-2 地域力が発揮できる環境を充実させる

事務事業名	地域おこし協力隊活用事業			決算書 掲載ページ	158
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	10	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,874		1,731	0	143
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	398		0	0	1,333
目 的	人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を誘致し、定住・定着を図ることで、地域力の維持・向上を図り、持続可能な地域を構築していくことを目的とする。				
取組内容・実績	年度当初に任用できなかった岩之入1人、門出1人、矢田2人の募集を継続し、現地体験及びおためし地域おこし協力隊を実施した。また、問合せの少なかった矢田については、インターン事業を実施し地域の受入れ機運の醸成を図るとともに、協力隊を考えている人材に興味を持ってもらえるようにインターン事業の様子を発信した。				
成 果	岩之入5/13、門出8/19、矢田12/1に地域おこし協力隊を任用することができた。矢田については2人目の募集を継続し、複数の問合せがあった中で1人が面接試験を受験したが任用には至らなかった。 矢田のインターン事業においては、インターン期間終了後にインターン生が、地域の運動会に参加するなど、矢田とのつながりが継続している。				
課題・今後の方向性	矢田の2人目については、引き続き募集を継続し地域の求める人材を確保する必要がある。また、地域の機運が下がらないように現隊員との月次ミーティング時に状況を把握する必要がある。さらに、協力隊のSNSで現隊員の活動を積極的に発信し、2人目の確保につなげていく。				

事務事業名	地域おこし協力隊活動経費			決算書 掲載ページ	158
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	10	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	12,497		10,687	0	1,810
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	14	10,673
目 的	地域等の主体的な取組を支援することで、地域力の維持及び向上を図るとともに、若者等の地方での意欲的なチャレンジを支援し、まちを支える人材を育成する。				
取組内容・実績	荻ノ島、岩之入、門出及び矢田の各地区1名の地域おこし協力隊の活動や受入地域をサポートした。主なサポートとして、協力隊、市で行う週次ミーティングや協力隊、受入地域、市、サポート委託事業者で行う月次ミーティングを中心に実施した。				
成 果	協力隊が地域内で活動することで、地域と関わりが少なかった住民が地域活動に参加するとともに、地域内のこれまでの活動に協力隊という外部人材が入ったことにより、新たな目線での活動のきっかけを与えることができた。さらに、新たな集いの場の創出、既存の取組の新たな展開など前向きな変化をもたらすことができた。				
課題・今後の方向性	協力隊のサポートは、任用期間終了後をイメージさせながら、サポートしていただくことが必要である。また、受入地域も含めて目的に向かって進んでいるかの検証などもサポートしていく必要がある。 今後の方向性の一つとして、公益性の高い民間機関で受け入れるミッション型の協力隊の導入も検討していく。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-1 原子力発電所の安全性向上を追求する

事務事業名	交通安全対策事業			決算書 掲載ページ	160
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	11	交通安全対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	11,037		9,991	0	1,046
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	2,009		0	12	7,970
目 的	柏崎市交通安全計画の目標である年間の交通事故発生件数減少を達成し、交通事故による死者をゼロに近づけるため、計画段階から市民参加の体験・実践型の交通安全活動を行う。そして、市民が安全で安心して暮らせる柏崎市を構築する。				
取組内容・実績	交通安全対策事業として、交通安全運動、高齢者事故防止運動、横断歩行者を守る交通事故防止運動、新入学児童歩行指導及び園児・小・中学生を対象とした交通安全教室等を実施した。 (令和元(2019)年交通事故発生件数65件、死者数1人、負傷者数83人)				
成 果	柏崎市交通安全実施計画等に掲げた取組などを関係機関や団体と連携して計画的に実施し、交通安全対策における道路交環環境整備につなげたほか、各年齢層に対しての交通安全教育・啓発を行うことにより、前年に比べて事故件数、死者数及び負傷者数ともに減少した。 (対前年比 事故件数：△40件・△38.1%、死者数：△2人・△66.7%、負傷者数：△44件・△34.6%)				
課題・今後の方向性	令和元(2019)年中の高齢者事故(65歳以上)の件数は、前年に比べ32件減少したが、高齢者人口が増加する中で、全交通事故に占める高齢者事故の割合が49.2%と依然として高い状況である。 悲惨な交通事故を減少させるため、引き続き、持続性のある交通安全教育・指導を行っていく必要がある。				

事務事業名	原子力広報等対策事業			決算書 掲載ページ	162
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	防災・原子力課	
目	12	原子力広報・安全等対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	10,902		10,347	0	555
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	10,325		0	0	22
目 的	原子力発電、放射線利用などに関する正しい知識の普及啓発を図ることで、地域社会の安全と安心に寄与する。				
取組内容・実績	原子力講座研修を7回、小・中学校向けのエネルギー・環境セミナーを12校で27回実施した。 原子力発電や原子力防災に関する知識を分かりやすく伝える手段として、広報かしわざき(アトム情報)と連動したFMピッカラによる広報番組の放送を開始した。				
成 果	原子力発電所の安全性と透明性についてチェックし、市民がそれらに関する情報を得る機会を確保することができた。 市民に放射線や原子力防災に関する知識を普及啓発する手段の充実を図ることができた。				
課題・今後の方向性	事業者に対しては徹底した安全性の確保と情報公開による透明性の確保を、国に対しては主体的に説明責任を果たすことを引き続き求めていく必要がある。 また、市民の放射線や原子力防災に関する認識や理解が十分浸透していないため、分かりやすく説明するとともに、市民の不安や疑問に直接答え、理解促進を図る必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-1 原子力発電所の安全性向上を追求する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

事務事業名	原子力調査情報収集事業			決算書 掲載ページ	162
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	防災・原子力課	
目	12	原子力広報・安全等対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,119		3,370	0	749
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	3,342		0	0	28
目 的	原子力に関する様々な情報を的確に収集整理することで、防災計画の見直しや、市の原子力政策決定に寄与する。				
取組内容・実績	全国原子力発電所所在市町村協議会の各種会議に出席し、国等への要望事項に関する協議や、原子力防災に関する各市町村の取組についての情報交換を行ったほか、国関係省庁への要望活動を行った。				
成 果	原発立地市町村で連帯し、原子力防災における様々な課題を洗い出し、国に対し要望を提出するなど、立地市町村間の情報共有及び連携を深めることができた。				
課題・今後の方向性	今後も各種調査や情報収集を継続し、最新の知見や先進地の取組を基に、避難計画や本市の原子力施策に反映させていく必要がある。				

事務事業名	地籍調査事業			決算書 掲載ページ	186
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	05	統計調査費	担 当	財政管理課	
目	03	地籍調査費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,109		559	0	550
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	559
目 的	国土調査法に基づき、市内全域の筆ごとの土地所有者、地番及び地目を調査し、境界の位置と面積について測量を行い、その結果を地図及び簿冊に作成することにより、地籍を明確化し、災害時の迅速な復旧や土地取引の円滑化を図る。				
取組内容・実績	地籍調査事業全体計画策定業務委託を実施し、事業期間及び取り巻く環境変化を考慮し、当面50年間の地籍調査全体計画書（年次計画）を策定した。				
成 果	地籍調査事業全体計画策定業務委託の実施により、調査対象（面積430.50km ² ・筆数639,083筆）から、地形的な条件バランス、事業への関心及び実施要望、災害対策等の緊急性を考慮し西山地区を優先地区として地籍調査全体計画書（年次計画）を策定した。				
課題・今後の方向性	柏崎市地籍調査事業全体計画に基づき、土地所有者の探索と相続関係調査を行い、令和3（2021）年度からの円滑な事業着手に向けて計画的に準備を進める必要がある。				

3 款 民生費

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-1 支え合いの地域づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-1 支え合いの地域づくりを進める

事務事業名	民生委員費			決算書 掲載ページ	190
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	14,462	14,030	0	432	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	7	0	0	14,023	
目 的	民生委員・児童委員及び民生委員児童委員協議会の活動等を支援し、地域福祉の向上を図る。また、民生委員法に基づく民生委員推薦会を設置し、民生委員・児童委員の推薦等を行う。				
取組内容・実績	民生委員・児童委員及び民生委員児童委員協議会の活動等を支援した。令和元（2019）年12月に民生委員・児童委員の一斉改選が行われ、定員を充足することができた。				
成 果	地域福祉の担い手である民生委員・児童委員の活動の支援により、地域と行政のパイプ役としての活動の充実・強化及び地域福祉の向上が図られた。				
課題・今後の方向性	「民生委員には給与を支給しない」と法で定められており、無給の奉仕活動のため、民生委員活動に対する負担感等から選出に苦慮している。将来的な民生委員・児童委員の確保が課題である。				

事務事業名	社会福祉協議会補助金			決算書 掲載ページ	190
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	30,000	30,000	0	0	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	30,000	
目 的	社会福祉協議会の運営基盤を強化し、全ての人がかかけがえない個人として住み慣れた地域で安心した生活が送れるよう、それぞれの地域性をいかした福祉サービスや事業の実践を図る。				
取組内容・実績	社会福祉協議会における事務局強化、地域福祉推進事業及びボランティアセンター運営に対する補助を行った。				
成 果	住民参加による民間の福祉活動の促進と公的福祉との連携・共働による福祉サービスの質的量的向上及び社会福祉協議会の基盤強化を図ることができた。				
課題・今後の方向性	社会福祉協議会の運営基盤の強化や地域性をいかした福祉サービスや事業の実施を行う必要がある。しかし、市の単独事業であるため、継続実施のためには、補助対象経費などの見直しを行い、補助額を検討する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-1 平和と人権を尊重する心をはぐくむ
	⑥-1-2 人権を尊重した社会づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	女性相談支援事業			決算書 掲載ページ	192
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,159		5,592	0	567
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,840		0	0	3,752
目 的	パートナーからの暴力、離婚問題、家庭不和、養育、生活不安、就労問題等、福祉関係業務全般の相談支援により、女性の安全で自立した生活を守る。				
取組内容・実績	DV被害を含む主に女性からの生活、福祉に関する相談への対応、必要な助言に当たるとともに、自立に向けた支援を行った。 延べ相談件数 571件（うちDV 337件） 相談実人数119人（うちDV 41人）				
成 果	DVや離婚問題のほか、家庭問題、経済問題、ひとり親家庭自立支援など様々な相談を受けており、被害の未然防止、問題解決及び自立支援に寄与している。				
課題・今後の方向性	児童虐待が増加している要因の一つに、面前DV（子どもが見ている前でのDV）の増加がある。 女性福祉相談と児童虐待防止が一体的に対応できるよう令和2（2020）年度から相談窓口を子育て支援課に移行する。				

事務事業名	成年後見制度利用支援事業			決算書 掲載ページ	192
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,219		1,691	0	528
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	769		0	0	922
目 的	判断能力が不十分な方の権利を保護することを目的として、民法で定める成年後見制度（後見、保佐、補助）の利用を支援する事業を行う。				
取組内容・実績	身近に申し立てる親族がない場合の市長の申立て及び経済的理由による報酬負担が困難な方への助成を行った（成年後見人申立助成 3件、後見人制度報酬助成 7件）。				
成 果	成年後見人申立支援及び後見人への報酬の支払が困難な方への助成により、判断能力が不十分な方の財産と権利保護に寄与することができた。				
課題・今後の方向性	障害者総合支援法に規定する地域生活支援事業の必須事業であり、今後も継続する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-1 支え合いの地域づくりを進める

事務事業名	成年後見制度普及啓発等事業			決算書 掲載ページ	192
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,110		1,110	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	596		0	0	514
目 的	成年後見制度の普及啓発、相談業務及び申立支援を実施し、判断能力の不十分な知的障害者等の財産と権利を保護する。 法人後見受任を安定的に行うために、市民後見支援員の養成を実施する。				
取組内容・実績	成年後見制度に係る相談や支援、関係機関等との連絡調整及び研修会、相談会などを柏崎市社会福祉協議会に委託し、実施した（成年後見制度に関する相談36件、申立支援19件、市民後見人養成講座16人受講）。				
成 果	成年後見制度に関する相談や申立支援により、判断能力が不十分な方の権利保護に寄与することができた。また、成年後見制度に関する研修会等の開催により、人材確保や人材育成を行うことができた。				
課題・今後の方向性	障害者総合支援法に規定する地域生活支援事業の必須事業であるため、今後も継続する必要がある。				

事務事業名	生活困窮者自立支援事業			決算書 掲載ページ	192
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	23,088		23,083	0	5
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	16,675		0	0	6,408
目 的	生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援するため、相談者の状態に応じた包括的な相談支援を実施するとともに、多様な就労支援や生活支援を実施することで、様々な問題を抱えた支援対象者の自立を促進する。				
取組内容・実績	自立相談支援は、221件のうち新規受付が139件であった。家計改善支援事業は、56件のうち新規10件で、就労準備支援事業の利用実績はなかったが、サロンは延べ165人の参加があった。また、子どもの学習・生活支援事業は、訪問型18人、集合型延べ131人の利用であった。学習支援協力員は、21人（うち退職教職員6人）となっている。				
成 果	自立相談支援及び住居確保給付金、任意事業として就労準備支援、家計改善支援、子どもの学習・生活支援を実施したことにより、支援対象者の自立を促進することができた。				
課題・今後の方向性	就労準備支援対象者を把握し、職場体験協力企業の更なる拡充と子どもの学習・生活支援を継続実施する上で、学習支援協力員の確保（高校受験に対応可能な退職教職員等）が不可欠となっている。 新型コロナウイルス感染症の状況により、事業の実施方法の検討を要する。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑦その他
	⑦-1 その他
	⑦-1-1 その他

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	プレミアム付商品券事業費			決算書 掲載ページ	194
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	52,500		32,502	10,000	9,998
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	32,502		0	0	0
目 的	消費税・地方消費税引上げが低所得者・子育て世代の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えするため、低所得者・子育て世帯向けのプレミアム付商品券の発行等を行う。				
取組内容・実績	1冊4,000円の購入費用で、10枚綴りで5,000円分の商品券を1人5回まで購入可能として業務委託により販売した。販売状況は36,103冊、1億4,441万2千円で、令和元(2019)年度末の換金状況は、325,020枚、1億6,251万円であった。				
成 果	プレミアム付商品券の発行により、消費税・地方消費税の引上げが低所得者・子育て世帯の消費に与える影響を緩和できた。				
課題・今後の方向性	消費税・地方消費税の引上げによる影響を緩和することを目的とした令和元(2019)年度の単年度事業である。				

事務事業名	介護給付費			決算書 掲載ページ	198
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	938,602		931,049	0	7,553
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	697,737		0	0	233,312
目 的	障がいのある人が可能な限り地域で自立して生活ができるように支援することを目的とし、利用に係る費用を助成して経済的な負担軽減を図る。				
取組内容・実績	居宅介護、重度訪問介護、行動援護、短期入所などの障害福祉サービスの利用に係る費用を助成した。支給決定者数597人、利用者数485人(令和2(2020)年3月)				
成 果	日常生活に必要とする障害福祉サービスの利用に係る費用を助成し、経済的な負担軽減を図るとともに、地域生活の支援に資することができた。				
課題・今後の方向性	障害者総合支援法に規定する事業及び障がいのある方の地域生活を支えるサービスとして、今後も継続する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	訓練等給付費			決算書 掲載ページ	198
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	431,407		421,875	0	9,532
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	316,416		0	0	105,459
目 的	障がいのある人が可能な限り地域で自立して生活ができるように支援することを目的とし、利用に係る費用を助成して経済的な負担軽減を図る。				
取組内容・実績	機能訓練、生活訓練、就労移行支援などの障害福祉サービスの利用に係る費用を助成した。支給決定者数344人、利用者数335人(令和2(2020)年3月)				
成 果	日常生活に必要とする障害福祉サービスの利用に係る費用を助成し、経済的な負担軽減を図るとともに、地域生活の支援に資することができた。				
課題・今後の方向性	障害者総合支援法に規定する事業及び障がいのある方が住み慣れた地域において自立した社会生活、日常生活を送るために日中活動の場として、今後も継続する必要がある。				

事務事業名	補装具給付費			決算書 掲載ページ	200
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	27,681		23,195	0	4,486
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	15,783		0	0	7,412
目 的	日常生活を送る上で必要な移動等の確保、就労場面における能率の向上を図ること、及び障害児が将来、社会人として自立自活するための素地を育成助長することを目的とし、身体の欠損又は損なわれた身体機能を補完・代替する用具に係る経費を助成する。				
取組内容・実績	義肢、装具、補聴器、車椅子、歩行補助杖などの購入や修理に係る費用を助成した。給付102件、修理100件				
成 果	障害者の自立と介助者の身体的負担軽減とともに、経済的な負担軽減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	障害者総合支援法に規定する事業であり、今後も継続する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	計画相談・地域相談支援給付費			決算書 掲載ページ	200
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	33,720		33,113	0	607
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	24,834		0	0	8,279
目 的	抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けたケアマネジメントによる支援、入所施設や精神科病院等からの退所・退院から地域移行に向けた支援、地域生活が不安定な人への地域生活継続の支援を目的とする。				
取組内容・実績	サービス等利用計画の作成、施設等からの地域移行の連絡相談を行った。 支給決定者数：計画相談支援591人、地域移行支援2人、地域定着支援38人				
成 果	障がいのある人の意向に沿った支援計画の作成、入所施設等からの地域への移行及び地域移行後の夜間等を含めた緊急時の連絡相談を行うことができ、本人の安心・安全な生活の確保に寄与することができた。				
課題・今後の方向性	障害者総合支援法に規定する事業であり、今後も継続する必要がある。				

事務事業名	手話通訳者設置費			決算書 掲載ページ	200
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,230		2,200	0	30
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,001		0	0	1,199
目 的	手話通訳者を福祉課に配置し、聴覚障害者とのコミュニケーションの円滑化を図る。				
取組内容・実績	手話奉仕員1人を福祉課窓口配置し、聴覚障害者からの相談に対応した。				
成 果	コミュニケーションを円滑に行うことにより、聴覚障害者の安心に寄与することができた。				
課題・今後の方向性	今後も聴覚障害者への支援を継続する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	日常生活用具給付事業			決算書 掲載ページ	200
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	23,605		22,187	0	1,418
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	10,022		0	0	12,165
目 的	在宅の障害者等の日常生活動作に係る負担を軽減するために必要な用具等を支給する。				
取組内容・実績	通信装置、特殊寝台、特殊マット、特殊便器、入浴補助用具などの購入に係る費用を助成した。 給付2,121件				
成 果	障害者の自立と介助者の身体的負担軽減とともに、経済的な負担軽減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	障害者総合支援法に規定する地域生活支援事業の必須事業であり、今後も継続する必要がある。				

事務事業名	地域活動支援センター事業			決算書 掲載ページ	202
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	33,187		31,057	0	2,130
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	2,628		0	0	28,429
目 的	障がいのある人に対し、通所による創作的活動、社会との交流の便宜を提供し、地域生活支援の促進を図る。				
取組内容・実績	委託した3事業所を、延べ8,963人が利用した。延べ利用者の内訳は、Ⅰ型（地域生活支援センター事業）4,256人、Ⅱ型（障害者デイサービス事業）2,797人、Ⅲ型（小規模作業所事業）1,910人であった。				
成 果	障がいのある人が、創作・生産的活動の機会や社会との交流促進支援を活用し、充実した地域生活を過ごすことができた。				
課題・今後の方向性	引き続き、障がいのある人に日中活動の場所を提供し、地域や仲間とのつながりを持つ活動を支援する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	意思疎通支援者養成研修事業			決算書 掲載ページ	202
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	763		660	0	103
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	300		0	0	360
目 的	手話、要約筆記、点訳、音訳の奉仕員の人材育成を図る。				
取組内容・実績	ボランティア団体に委託し、講座を開催した。 受講者：手話入門編8人終了 手話基礎編5人終了 手話フォローアップ研修12人終了				
成 果	養成研修の修了者は、ボランティア各団体に登録され、人材育成が図られた。				
課題・今後の方向性	養成研修の講師不足や受講者の減少により、要約筆記、点訳、音訳の養成研修を実施することができなかった。 受講者が減少しており、手話、点訳、音訳の養成研修の方法等について検討する必要がある。				

事務事業名	障害者虐待防止対策支援			決算書 掲載ページ	202
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	233		121	0	112
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	121
目 的	障害者虐待の防止及び障がいのある人の養護者に対する支援を行うとともに、緊急度の高い通報を受けた場合の一時保護先の確保を行う。				
取組内容・実績	10件の通報・相談があり、状況を確認し、関係機関と連携しながら、障がいのある方や養護者を支援した。なお、緊急一時保護に至った事例は無かった。				
成 果	障がいのある方の安全確保と権利の尊重が図られた。				
課題・今後の方向性	障がいのある人が安心して生活するために必要な事業であり、引き続き継続していくことが重要である。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	障害者相談支援事業			決算書 掲載ページ	202
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	25,205		25,205	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	3,166		0	0	22,039
目 的	障がいのある方やその家族などからの相談に応じ、必要な情報提供等の援助を行い、障がいのある方などの自立した日常生活を送るための支援を行う。				
取組内容・実績	5事業所に委託し、相談支援専門員がアウトリーチ、電話等により必要な情報提供や助言、サービスの利用支援を延べ3,166件実施した。				
成 果	障がいのある人やその家族などが、適切なサービスを利用し、安心して住み慣れた地域で自立した生活を継続することができた。				
課題・今後の方向性	個々の相談が多様化、複雑化している。相談支援専門員がお互いに学びあう機会を確保し、障がいのある人やその家族が地域で適切な助言を受けられる相談体制づくりを推進することが必要である。				

事務事業名	障害児通所給付費			決算書 掲載ページ	206
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	74,369		72,643	620	1,106
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	49,399		0	0	23,244
目 的	障がいのある児童が可能な限り地域で自立して生活ができるように支援することを目的とし、利用に係る費用を助成して経済的な負担軽減を図る。				
取組内容・実績	児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援の利用に対して助成を行った。 支給決定者数182人、利用者数70人(令和2(2020)年3月)				
成 果	日常生活に必要とする障害福祉サービスを提供でき、経済的な負担軽減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	児童福祉法に規定する事業であり、今後も継続する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	障害児相談支援給付費			決算書 掲載ページ	206
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	11,277		11,111	0	166
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	6,841		0	0	4,270
目 的	障害児通所支援に対する支援決定に必要な、障害児支援利用計画を作成することにより、障がいのある児童の自立した生活を支え、適切なサービス利用を支援する。				
取組内容・実績	委託により障害児支援利用計画の作成を行った。 支給決定者数 182人				
成 果	通所支援を必要とする障がいのある児童が適切なサービスを利用することができた。				
課題・今後の方向性	児童福祉法に規定する事業であり、今後も継続する必要がある。				

事務事業名	障害者医療費			決算書 掲載ページ	206
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	70,451		65,832	0	4,619
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	52,808		0	0	13,024
目 的	障害者総合支援法に基づく福祉的措置として、経済的負担を軽減し、身体障害の除去・軽減に資する。				
取組内容・実績	障がいのある人・児童が、その障がいを除去・軽減する手術などの医療費に対して助成を行った。また、常時介護が必要な重症心身障害者等が受ける医療に対して助成を行った。 更生医療：181人 育成医療：30人 療養介護医療：58人				
成 果	障害者の医療費に対する経済的な負担の軽減が図られ、安定した治療や継続的な受診につながっている。				
課題・今後の方向性	障害者総合支援法に規定する事業であり、今後も継続する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	老人保護措置委託事業			決算書 掲載ページ	208
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	介護高齢課	
目	03	老人福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	158,040		152,715	0	5,325
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	90,388		0	31,536	30,791
目 的	老人福祉法の規定に基づき、おおむね65歳以上で環境的・経済的理由により、居宅で養護を受けることが困難な者を養護老人ホームに入所委託し、健全な生活を送ることで、生活の安定・向上を図る。				
取組内容・実績	令和元（2019）年度末現在、養護老人ホーム御山荘に60人、養護盲老人ホーム胎内やすらぎの家に2人の入所を委託した。				
成 果	環境的・経済的理由及び虐待等により、在宅生活が困難な高齢者を入所措置することで生活の安定と向上が図られた。				
課題・今後の方向性	老人福祉法第11条の規定に基づく老人の入所措置であり、環境的及び経済的理由で在宅生活が困難な高齢者に対する措置となるため、今後も必要である。				

事務事業名	寝たきり高齢者等紙おむつ購入費助成事業			決算書 掲載ページ	208
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	介護高齢課	
目	03	老人福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	39,341		39,341	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	100	39,241
目 的	在宅の寝たきり若しくは認知症高齢者、重度心身障害者又は精神障害者で、常時紙おむつを使用している者に対し、紙おむつ購入費用の一部を助成することにより、在宅の寝たきり高齢者等の経済的負担の軽減と福祉の増進に資する。				
取組内容・実績	対象者1,587人に対し、紙おむつ購入費の助成券を交付した。 助成額…1月当たり、市民税所得割課税世帯2,000円分、その他の世帯3,000円分を交付（年間助成額24,000円又は36,000円）				
成 果	在宅の高齢者等の介護に係る経済的負担の軽減を図ることで、在宅介護支援に効果を上げることができた。				
課題・今後の方向性	今後も利用者の増加が見込まれる中で、在宅での介護者の経済的支援が引き続き必要である。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	高齢者向け安心住まいる整備補助事業			決算書 掲載ページ	208
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	介護高齢課	
目	03	老人福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,575		1,050	0	525
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	523		0	0	527
目 的	高齢者及び障害者のいる世帯において、住宅を身体状況に適したものに改造等を行う際に要する経費を補助することで、住み慣れた住宅で安心して自立した生活を送り、介護者の負担を軽減することができる住環境の整備を促進し、もって在宅福祉の推進を図る。				
取組内容・実績	5件の住宅改修について補助を行い、利用者の在宅生活の継続支援と介護者の負担軽減を図った。				
成 果	介護保険の住宅改修制度の限度額では足りない場合の補助を行うことで、在宅介護の支援を図ることができた。				
課題・今後の方向性	介護保険での住宅改修サービスを使い切った方が利用できる上に、改修メニューにないものもカバーしており、在宅生活を支えるために必要である。				

事務事業名	老人クラブ運営費等助成事業			決算書 掲載ページ	210
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	介護高齢課	
目	03	老人福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,094		4,683	0	411
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,845		0	0	2,838
目 的	老人クラブ及び柏崎市老人クラブ連合会の運営費・活動費に対して補助を行い、老人クラブとその会員の社会活動を育成・支援する。また、高齢者健康促進事業の業務を連合会に委託し、高齢者の生きがいと健康づくりの促進を図る。				
取組内容・実績	次のとおり事業を実施した。 ・老人クラブ活動費補助金 2,089円 ・柏崎市老人クラブ連合会運営費補助金 2,164千円 ・高齢者の生きがいと健康づくり事業委託 430千円				
成 果	高齢者が豊かな経験と知識、技能を地域の活動へ活用したり、趣味やスポーツに取り組んだりすることで、健康と生きがいづくりに効果を上げることができた。				
課題・今後の方向性	会員数、クラブ数の減少傾向への対策が必要である。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	介護保険利用者負担額軽減事業			決算書 掲載ページ	210
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	介護高齢課	
目	03	老人福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	956		548	0	408
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	148		0	0	400
目 的	低所得で特に生計が困難である者について、介護保険サービスの利用者負担を軽減する。				
取組内容・実績	次のとおり事業を実施した。 ・社会福祉法人が実施する利用者負担の軽減に対する助成 2法人 ・民間事業者が実施する利用者負担の軽減に対する助成 延べ67人(実人数11人) ・障害者ホームヘルプサービス 0人				
成 果	低所得者を対象に介護保険の在宅サービスに係る利用者負担の一部を助成することにより、社会福祉法人及び民間事業者のどちららを利用して利用者負担に差を生じさせず、負担を軽減することができた。				
課題・今後の方向性	社会福祉法人に対する助成及び障害者ホームヘルプサービスは、国の施策に基づく補助事業であるため継続する。民間事業者のサービス利用に対する軽減については、低所得者の負担軽減(社会福祉法人及び民間事業者のどちららを利用して利用者負担に差を生じさせない。)のため継続する。				

事務事業名	高齢者等世話付住宅生活援助員派遣事業			決算書 掲載ページ	212
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	介護高齢課	
目	03	老人福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,955		1,924	0	31
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,924
目 的	高齢者世帯や障害者世帯等が孤立することなく、安心して自立した生活を送ることができるようバリアフリー化した公営住宅において、日常生活支援サービスの提供を行うことにより、不安の解消を図る。				
取組内容・実績	バリアフリー化及び緊急通報システム装置が設置された市営北園町住宅1号棟10戸の入居者に対して、生活援助員を派遣し、入居者の生活相談・安否確認・緊急対応等を行った。事業実施については、柏崎刈羽福祉事業協会に委託、夜間・休日等援助員不在時の緊急対応については、セコム上信越(株)に委託した。				
成 果	生活援助員を派遣し、入居している高齢者の安否確認や生活相談等を行うことにより、生活面及び健康面での不安解消に効果を上げることができた。				
課題・今後の方向性	家族の援助が困難な者に対して安否確認や生活相談等を行うことで、生活面及び健康面での不安が解消できる事業であり、今後も必要な事業である。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	介護従事者人材確保・育成支援事業			決算書 掲載ページ	212
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	介護高齢課	
目	03	老人福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	44,985		39,065	0	5,920
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	39,065
目 的	各種補助金を用いて、無資格者の雇用促進による介護事業所の新たな担い手の確保、介護職員のスキルアップや職場への定着支援及び夜勤従事者の処遇改善、離職防止、夜勤対応可能な職員の確保を図る。				
取組内容・実績	介護職就業奨励補助金 事業所に対して、無資格者及び離職失業者等を有期雇用した際の人件費及び介護職員初任者研修受講費用を支援した。 4事業所4人 介護資格取得支援補助金 各種研修の修了及び資格に合格した職員を雇用する介護事業者に対し、補助を行った。 15事業所21人 介護夜勤対応者臨時補助金 夜勤手当を新たに増額する事業所に対して補助を行った。 36事業所				
成 果	介護職就業奨励補助金により、無資格者の雇用及び資格取得につながった。 介護資格取得支援補助金により、介護職員のスキルアップにつながった。 介護夜勤対応者臨時補助金により、介護事業所の夜勤対応職員の処遇改善を図ることができた。				
課題・今後の方向性	新たな施策を展開しているものの、辛うじて介護人材の現状を維持している状況である。今後も続く、人口減少による人手不足の中で、効果的な人材確保施策の展開を行う必要がある。				

事務事業名	介護職員就職支援事業			決算書 掲載ページ	212
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	介護高齢課	
目	03	老人福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,043		1,643	0	2,400
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,643
目 的	市内の介護関連施設における介護業務に従事する職員の人材確保を図る。				
取組内容・実績	介護福祉士、社会福祉士、介護支援専門員、初任者研修及び実務者研修修了者が市内介護施設に勤務する場合に補助金を交付した。 介護福祉士7人、社会福祉士1人の合計8人に補助した。				
成 果	新たに8人の介護職員が市内の介護関連施設に就職することにより、人材確保に成果を上げることができた。				
課題・今後の方向性	成人式、福祉イベントなどでも周知を図り、介護職員の就職を促しているが、介護人材となる専門学校等に入学生の減少が課題である。				

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	介護基盤整備事業			決算書 掲載ページ	216
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	介護高齢課	
目	04	社会福祉施設費	現年度・繰越の別	繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	34,560		34,560	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	34,560		0	0	0
目 的	介護保険事業計画の施設整備において、地域密着型サービス拠点等の施設を整備する事業者に対し、補助金を交付することにより、介護基盤の整備の促進及び高齢者の福祉の向上を図る。				
取組内容・実績	工事の関係で平成30（2018）年度から繰り越した看護小規模多機能型居宅介護事業所を1か所整備した。				
成 果	訪問看護、小規模多機能型居宅介護の利用率が年々増加する中、ニーズが高まっている看護小規模多機能型居宅介護を市内で初めて開設し、医療と介護の連携を強化することができた。				
課題・今後の方向性	公募によりサービス事業者の選定が行えたとしても、その後の職員の採用において、人材不足が施設整備に影響しないように介護人材不足の解消が課題である。				

事務事業名	コツコツ貯筋体操センター維持管理費			決算書 掲載ページ	216
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	介護高齢課	
目	04	社会福祉施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	10,274		10,274	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	10,274
目 的	コツコツ貯筋体操を始めとする介護予防・健康づくりの場を市民へ提供する。				
取組内容・実績	「コツコツ貯筋体操センター」の維持管理費として、店舗内スペースの賃借料及び電気料を負担した。				
成 果	計画どおり維持管理費を支出し、円滑に事業を開始することができた。				
課題・今後の方向性	介護保険特別会計の地域支援事業費に移管して継続実施する。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	コツコツ貯筋体操センター整備事業			決算書 掲載ページ	216
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	介護高齢課	
目	04	社会福祉施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	14,254		12,740	0	1,514
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	12,740
目 的	フォンジェ内に常設型の「コツコツ貯筋体操センター」を整備し、コツコツ貯筋体操を始めとする介護予防の場を市民へ提供することで、健康づくり活動を推進する。				
取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・6月19日 プレオープン ・7月20日 本格オープン 				
成 果	予定どおりに会場整備を行い、円滑に事業を開始することができた。				
課題・今後の方向性	「コツコツ貯筋体操センター」が整備されたため、令和元（2019）年度で事業完了した。				

事務事業名	早期療育事業			決算書 掲載ページ	218
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	こころの相談支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	26,807		26,256	0	551
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	26,256	0
目 的	発達に不安を抱える乳幼児の早期療育を母子保健事業や子育て支援と連携して実施するため、市直営の事業所として実施し、子どもの発達促進や保護者支援などを行う。				
取組内容・実績	発達に不安を抱える就園前及び就学前の児童とその保護者に対して、教室や事業を通して支援を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・「プレー教室（たんぼぼ教室を含む。）」23人 134回 ・「ことばの相談室」60人 205回 ・「さくらんぼ教室（グループ）」50人 108回 ・「いちご教室（個別）」11人 115回 ・「保育所等訪問支援」1人 12回 				
成 果	教室利用保護者によるアンケートでは「教室の経験から日々の成長を感じる」、「成長を感じて満足」など高い満足度が得られ、子どもの発達促進や保護者・支援者への支援を行うことができた。				
課題・今後の方向性	就園児の教室利用申込みが定員を超える状況にあり、教室の受入人数を増やしながら対応している。また、園への専門的な助言や支援の希望が増していることから、就学前の支援体制について引き続き関係課と連携を強化していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

事務事業名	ふれあいルーム推進事業			決算書 掲載ページ	218
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	こころの相談支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,793		6,478	0	315
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	13	6,465
目 的	様々な理由により不登校又は登校できるが困難さを有している小学校、中学校及び高等学校の児童生徒などについて、学習の意識付け、集団生活への適応、体験活動及び居場所などを提供することで、学校や社会への復帰を目指す。				
取組内容・実績	不登校で学校生活への適応が難しい児童生徒に対して、陶芸教室や課外活動など、集団生活に適応するための多様な体験活動を通じて、学校復帰するための支援を行った。 最大在籍数9人、年間203日開級				
成 果	9人の通級児童生徒のうち7人が学校復帰(完全復帰、部分登校)することができた。				
課題・今後の方向性	中学生から高校生、高校生から社会人へと途切れることのない支援ができるように、関係機関との情報共有及び引継ぎが必要となっている。				

事務事業名	不登校・いじめ対策事業			決算書 掲載ページ	220
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	こころの相談支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,860		1,839	0	21
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,839
目 的	教職員やこころの教室相談員などを対象に、いじめ、不登校、問題行動及びクラス運営についての相談に応じ、教職員の指導力向上に寄与するとともに、いきいきした学校づくりを支援する。				
取組内容・実績	学校訪問相談員が、各学校の問題事例に対し、学校を巡回して実態把握と対応への協議を行い、教職員に指導、助言を行った。 学校訪問97回				
成 果	教職員をサポートすることにより、学校における問題行動や学級経営困難事例などの解決に協力できた。				
課題・今後の方向性	授業不成立、学級経営困難等に関する助言が増加しており、特性的に確に対応するためのより専門性の高い指導が必要となっている。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	カウンセリングルーム運営費			決算書 掲載ページ	220
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	こころの相談支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	12,939		12,010	0	929
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	26	11,984
目 的	不登校や発達障害等の心身の不調やいじめ問題に悩む児童生徒及び保護者に対し、専門的な相談を行い、悩みの早期解決を図るとともに、他機関との連携を基にした有機的な相談体制を充実させる。				
取組内容・実績	臨床心理士及び相談員が、児童生徒及びその保護者に対して、一人一人に応じたきめ細かな相談支援を行った。 ・面談相談 185人 延べ757回 ・小・中学生の軽度発達障害児を対象にしたソーシャルスキルトレーニング 24回 延べ124人				
成 果	相談者に対する専門的なカウンセリングを行うことによって、不登校の長期化予防、発達障害の二次障害の防止につながることができた。				
課題・今後の方向性	相談内容が多様化、複雑化しており、学校や関係機関との情報共有・連携を密にし、相談支援を行う必要がある。				

事務事業名	子どもの虐待防止事業			決算書 掲載ページ	220
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,359		1,028	0	331
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	184		0	0	844
目 的	児童虐待の早期発見、重症化防止に努めることで、子どもの健全育成と家庭支援を図る。また、要保護児童対策地域協議会(※以下「要対協」)の関係機関が、連携して支援するとともに、研修等で資質向上を目指し、要保護児童等へ迅速で適切な対応を行う。				
取組内容・実績	要対協の会議を10回実施した。また、随時、関係機関との個別ケース検討会を行った(R元:142回 H30:195回※県内2番目の実施回数)。講演会で相談窓口カードを配布した(113人)。また、小・中学校や保育園、民生委員・児童委員、放課後児童支援員等の関係機関への説明(243人)及び国のポスターの配布(290施設)を実施した。				
成 果	要対協の会議及び随時の関係機関との個別ケース検討会を積極的に実施することにより、連携が強化され、各機関の役割が明確となり、多面的な支援につながり重症化防止に効果的であった。				
課題・今後の方向性	本市は、虐待の種別の中で、心理的虐待の占める割合が県平均と比較して低い。今後は、心理的虐待について、関係機関への啓発を強化することで、意識の醸成を図る。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 子どもを持つ喜びが感じられる環境を整備する

事務事業名	ファミリーサポートセンター事業			決算書 掲載ページ	220
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,452		2,422	0	30
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,564		0	6	852
目 的	子育て中の親が、仕事と家事や育児等の家庭生活を両立できるよう支援する。				
取組内容・実績	子どもの預かりや送迎などの援助活動に関する依頼会員と提供会員の相互の活動の調整や子育て情報の提供を行った。 依頼会員226人、提供会員63人、両方会員9人、活動数484件				
成 果	依頼会員のおおむね8割が複数回の利用をしており、子育て支援のニーズに対応できた。また、提供会員等に対して救急法の研修会や関係機関への啓発活動により、新規提供会員が15人増加し、主に送迎の要望に対応することができた。				
課題・今後の方向性	継続して提供会員の新規加入に向けた啓発に取り組む。また、より安心なサービス提供を行うため、AED研修等により提供会員のスキル向上を目指す。				

事務事業名	利用者支援事業			決算書 掲載ページ	222
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,738		3,582	0	3,156
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	2,580		0	9	993
目 的	妊娠期から子育て期(おおむね就学前)まで、切れ目なく、様々なニーズに対応し、総合的な相談支援を継続的に行う。				
取組内容・実績	年間活動数：1,214件 母子保健事業と要児童虐待防止事業の連携会議を毎月定例実施し、母子健康手帳交付時の状況を基に、妊娠期の支援の必要性について、77件を検討した。その中で、妊娠期から支援が必要な世帯に対して支援プランを43件作成した。				
成 果	連携会議の定例化により、継続支援が必要な事例の早期支援が効果的に実施できた。また、妊娠期から、医療機関と連携することにより、退院後も継続して産院を利用することができ、産後うつ予防や育児不安の軽減につながった。				
課題・今後の方向性	妊娠期のハイリスク管理については、支援体制が整備されつつある。今後は、乳児・幼児期以降の支援プランを試行的に作成し、妊娠期から切れ目のない支援の強化を目指す。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	子育て短期支援事業			決算書 掲載ページ	222
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	551		550	0	1
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	12		0	10	528
目 的	保護者の病気や育児疲れ等の理由により、家庭において、一時的に児童を養育することが困難になった場合に、児童福祉施設等において宿泊を伴う養育を行う。				
取組内容・実績	育児への疲弊感や不安を抱えた保護者に利用勧奨し、利用増につながった。 利用実績：6世帯、実人数14人、延べ人数37人、延べ利用日数81日				
成 果	個別支援を行っている対象者に利用勧奨を行うことで、利用者が大幅に増加したことから、PRが効果的であったと捉える。また、事業の利用が、タイムリーなレスパイトケア（介護者の休養）につながり、広義に児童虐待防止に効果を上げた。				
課題・今後の方向性	需要の増加傾向が続く場合、委託先となる里親の確保が難しい。今後は、県の里親制度の周知を図るなど、新規の里親育成に向けた取組を検討する。				

事務事業名	放課後児童健全育成事業			決算書 掲載ページ	222
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	166,030		164,912	0	1,118
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	76,275		0	49,193	39,444
目 的	保護者が就労等により昼間家庭にいない児童に対し、放課後や長期の休みに適切な遊びと生活の場を提供し、その健全な育成を図るため、児童クラブを実施する。				
取組内容・実績	平成31（2019）年4月1日に新規開設した枇杷島第二児童クラブを含め、9か所の児童クラブ（剣野第一・第二、田尻第一・第二、新道、枇杷島第一・第二、日吉、柏崎）を社会福祉協議会へ委託した。これにより、市内23か所開設している全児童クラブの運営委託（柏崎市社会福祉協議会2か所、西山福祉会1か所）が完了した。 年間延べ開設日数 6,626日 登録者数(月平均) 904人 年間延べ利用人数 123,425人				
成 果	児童クラブで過ごすことにより団体生活のルールを学んだほか、児童が中心となって行事の企画や作品の制作などを行うことにより、児童の自主性を養うことができた。また、保護者の就労や病人の介護等の支援にも寄与するとともに、放課後や長期の休みに適切な遊びと生活の場を提供してその健全な育成を図ることができた。				
課題・今後の方向性	全児童クラブの委託が完了し、今後は現在の運営基盤をより盤石にするため、安定した運営を支援していく必要があることから、研修等による支援員の質の向上や人材確保の支援を行う。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 子どもを持つ喜びが感じられる環境を整備する

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	家庭児童相談室事業			決算書 掲載ページ	224
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	8,334		7,723	0	611
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	20	7,703
目 的	子育て中の相談者の家庭における人間関係の円滑化や養育環境の適正化など、児童の福祉の向上を図る。また、児童の健全育成と家庭支援を行うことで、児童虐待防止につなげる。				
取組内容・実績	家庭の養育環境等に支援が必要な相談者に対し、専門性(教師資格等)を持った家庭児童相談員3人を配置し、来所、電話、訪問相談を実施した。対応実人数：207人、延べ人数：3,093人				
成 果	関係機関との連絡調整を丁寧に行うことで、小・中学校や医療機関等の関係機関との連携をスムーズに行うことができ、児童虐待の早期対応が図られた。				
課題・今後の方向性	保護者に疾病等がある事例が増加しており、専門的なソーシャルワークが必要となっている。今後は、必要に応じて、心理職等、専門的視点を持った人材による事例検討会の設定を検討する。				

事務事業名	児童手当給付費			決算書 掲載ページ	224
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,129,094		1,126,388	0	2,706
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	948,868		0	0	177,520
目 的	子ども・子育て支援の適切な実施を図るため、父母その他の保護者が子育てについての第一義的責任を有するという基本的認識の下に、児童を養育している者に児童手当を支給することにより、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資する給付を行う。				
取組内容・実績	子育て世帯の経済的負担の軽減に寄与できた。 延べ対象児童数102,278人に対して児童手当の給付を行った。				
成 果	児童手当法に基づく児童手当の給付により、家庭生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することができた。				
課題・今後の方向性	引き続き、児童手当法に基づく適正な給付を行うことで、児童の健やかな育成を図っていく。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-1 出会いの喜びを感じる環境を整備する

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	結婚活動応援事業			決算書 掲載ページ	224
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,500		1,209	0	291
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,209
目 的	少子化対策の一環として、柏崎市社会福協議会（かしわざきめぐりあい事業実行委員会）に事業を委託し、独身男女に出会いの場を提供することで結婚活動を支援する。				
取組内容・実績	めぐりあい事業実行委員会を3回開催し、クリスマスパーティなど事業の企画運営を行った。3月開催予定であったイベントは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。 クリスマスパーティ ・申込者数男性48人、女性13人 ・参加者数男性11人、女性9人 ・マッチング成立3組				
成 果	事業の企画運営により、若者の出会いを創出することができた。 前年度までの運営方法を踏襲した上で、新たに取組まなければならない課題を整理することにより、次年度事業について検討を行うことができた。				
課題・今後の方向性	事前セミナーの開催や女性が参加しやすくなるよう工夫するなど、効果的な取組を検討する必要がある。加えて、40代以上の方の参加希望の声もあることから、年齢層を広げた取組も必要である。 今後の展開として、女性向けの講座の開催を始め、女性が参加しやすい方法を検討し、女性の参加率の向上を図りつつ、小規模なイベントを複数回行うなど、気軽に参加しやすい環境づくりや、SNSによる情報発信などにも力を入れていく。				

事務事業名	県立子ども自然王国整備費			決算書 掲載ページ	226
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	77,008		70,994	0	6,014
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		67,500	0	3,494
目 的	児童健全育成の目標を達成するための拠点施設である「県立子ども自然王国」の施設整備を行う。				
取組内容・実績	経年による大規模設備改修工事（第二期、工事主体：新潟県）を実施したほか、連絡橋 ^{てすり} の手摺、大型複合遊具の修繕工事等を実施した。				
成 果	空調設備、衛生設備、電気設備等の大規模改修により、大型児童館としての機能を維持し、児童福祉に寄与することができた。				
課題・今後の方向性	新潟県が継続して工事主体となり、令和2（2020）年度第三期工事として大規模設備改修工事が実施される予定であり、新潟県及び指定管理者との連携を密にして、より効果的な工事内容にしていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

事務事業名	地域子育て支援拠点事業			決算書 掲載ページ	228
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	23,723		22,132	0	1,591
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	10,154		0	40	11,938
目 的	未就園児とその保護者も含め、安心して子育てができる環境を整え、子育ての不安軽減を図り、子育ての楽しさを周知する。				
取組内容・実績	公立保育園6園の子育て支援室において、未就園児とその保護者の交流の場を提供するとともに、随時子育て相談等を実施した。 ・延べ利用者数 7,905組 ・相談件数 164件				
成 果	子育て支援の場を提供することにより、子育てに対する関心が高まり、未就園児を持つ保護者の子育て不安を軽減できた。 また、妊娠中の方も子育て支援室を利用できることを周知し、妊娠期から切れ目のない子育て支援もできた。				
課題・今後の方向性	子育て不安の軽減を図るため、支援室のない地区への開設検討及び地域の関連機関との連携及び利用者にとって分かりやすい子育て支援拠点施設や子育て講座の情報発信方法を検討する必要がある。継続的な子育て支援及びニーズに合った子育て情報の提供を行う。				

事務事業名	かしわざきこども大学事業			決算書 掲載ページ	228
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	学校教育課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,975		4,853	0	2,122
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	4,853	0
目 的	かしわざき子ども育成基金を活用し、学校や家庭だけでは体験できない様々な活動を通し、子どもたちの生きる力を育むことを目指した、かしわざきこども大学事業を実施する。				
取組内容・実績	キャリア教育コースやこどもの笑顔創造プロジェクトなど全6コースを実施し、地域住民も含め11,217人が参加した。				
成 果	学校や家庭だけでは体験できない地域での活動や民間施設での自然体験、身近な科学実験のイベント等での体験を通し、子どもたちの生きる力を育むことができた。				
課題・今後の方向性	財源となっているかしわざき子ども育成基金を有効に活用するため、かしわざきこども大学の在り方や同様の事業との統合等を検討し、効率的な事業展開を図る必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	母子家庭等自立支援教育訓練給付金事業			決算書 掲載ページ	230
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	福祉課	
目	02	母子福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	158		105	0	53
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	42		0	0	63
目 的	母子家庭の母又は父子家庭の父が、就業するために必要な技術や資格を取得するため、雇用保険制度の教育訓練給付に指定された講座を受講する場合の費用を一部助成し、就業の促進と自立を支援する。				
取組内容・実績	雇用保険制度の教育給付に指定された講座を受講する場合の費用を一部助成し、就業の促進と自立を図った。 受給者 1人				
成 果	ひとり親家庭の母又は父の就業に向けた資格取得等に関する受講経費を一部助成することで経済的負担を軽減し、自立した生活の確立に寄与した。				
課題・今後の方向性	就業に向けた資格取得は、ひとり親家庭における、経済的な自立に有効であることから、今後も継続する（厚生労働省雇用均等・児童家庭局長通知による事業）。				

事務事業名	高等職業訓練促進給付金等事業			決算書 掲載ページ	230
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	福祉課	
目	02	母子福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,350		2,946	0	404
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,534		0	0	1,412
目 的	母子家庭の母又は父子家庭の父が、就業するために必要な技術や資格を取得するため、雇用保険制度の教育訓練給付に指定された講座を受講する場合の費用を一部助成し、就業の促進と自立を支援する。				
取組内容・実績	母子家庭の母又は父子家庭の父の専門的な資格取得のため、養成機関修業中の一定期間について、訓練促進費を支給して経済的負担を軽減するとともに、就業と自立の促進を図る。 受給者 2人				
成 果	ひとり親家庭の母又は父の就業に向けた資格取得等に関する受講経費を一部助成することで経済的負担を軽減し、自立した生活の確立に寄与した。				
課題・今後の方向性	就業に向けた資格取得は、ひとり親家庭における、経済的な自立に有効であることから、今後も継続する（厚生労働省雇用均等・児童家庭局長通知による事業）。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 子どもを持つ喜びが感じられる環境を整備する

事務事業名	児童扶養手当給付費			決算書 掲載ページ	230
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	02	母子福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	317,514		313,427	0	4,087
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	104,708		0	0	208,719
目 的	父又は母と生計を同じくしていない児童が育てられる家庭の生活の安定と自立の促進に寄与するため、当該児童に児童扶養手当を支給し、もって児童の福祉の増進を図る。				
取組内容・実績	令和2（2020）年3月末現在の受給資格者は582人で、令和元（2019）年度中の新規認定請求書の件数は63件であった。				
成 果	ひとり親家庭における児童の健やかな成長及び生活の安定と自立を促進するとともに、子育てに対する経済的負担の軽減に寄与できた。				
課題・今後の方向性	認定後の状況変化などに係る変更届の提出などが遅延し、多額の返還が生じているケースがある。認定の申請や現況届の提出時に十分に制度の内容などを周知する必要がある。				

事務事業名	ひとり親家庭等医療費助成事業			決算書 掲載ページ	232
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	02	母子福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	35,449		32,562	0	2,887
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	15,381		0	0	17,181
目 的	ひとり親家庭の父又は母及び児童等の医療費に対して助成を行い、ひとり親家庭等の保健の向上と福祉の増進を図る。				
取組内容・実績	受給者数1,315人に対し、13,735件の助成を行った。				
成 果	ひとり親家庭等の保健の向上、福祉の増進及び医療費に対する経済的負担の軽減が図られ、児童の健全な育成に寄与することができた。				
課題・今後の方向性	新潟県ひとり親家庭等医療費助成事業実施要領等に基づく事業であり、今後も継続する。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	未婚の児童扶養手当受給者臨時・特別給付金給付費			決算書 掲載ページ	232
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	02	母子福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,225		718	0	507
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	718		0	0	0
目 的	令和元（2019）年10月から消費税率引上げとなる中で、児童扶養手当の受給者のうち、未婚のひとり親に対して、給付金を支給することにより、経済的負担の軽減を図る。				
取組内容・実績	児童扶養手当の受給者のうち、未婚のひとり親41人に対し、給付金を支給した。				
成 果	対象者に給付金を支給することにより、経済的負担の軽減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	令和元（2019）年度の消費税率の引上げという状況における臨時・特別の措置としての当該年度限りの給付金の制度であった。				

事務事業名	私立保育園運営経費			決算書 掲載ページ	236
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,203,073		1,193,693	0	9,380
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	671,350		0	199,877	322,466
目 的	健全な保育園運営の確立を支援し、安定した児童の受入体制を整える。				
取組内容・実績	私立保育園12園に施設型給付費を支出するとともに、運営に係る経費を補助した。				
成 果	私立保育園に施設型給付費負担金及び補助金を交付することにより、健全な保育を実施することができた。				
課題・今後の方向性	健全な施設運営を支援するために、補助したことによる経営状況の検証を続ける必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	私立保育園特別保育事業補助金			決算書 掲載ページ	236
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	110,572		90,273	0	20,299
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	41,101		0	0	49,172
目 的	地域のニーズを踏まえて、地域の子育てを総合的に支援し、児童福祉の向上を図る。				
取組内容・実績	特別保育事業を実施した私立保育園に補助金を交付した。 ・未満児保育事業 12園 ・障害児保育事業 12園 ・交流保育事業 2園				
成 果	子育てにおける負担の軽減や仕事と子育ての両立支援など、安心して子育てができる環境づくりを総合的に支援することができた。				
課題・今後の方向性	多様化する保育ニーズに対応するため、補助事業の有効性を検証する必要がある。				

事務事業名	私立保育園地域子ども・子育て支援事業			決算書 掲載ページ	236
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	42,690		19,838	0	22,852
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	9,110		0	0	10,728
目 的	未就園児の保護者も含め、安心して子育てができる環境を整え、子育て支援の着実な推進を図る。				
取組内容・実績	地域子ども・子育て支援事業を実施した私立保育園に補助金を交付した。 ・延長保育事業 4園 ・地域子育て支援拠点事業 7園 ・一時預かり事業 2園				
成 果	延長保育事業、地域子育て支援拠点事業及び一時預かり事業を実施することにより、安心して子育てができる環境を整備するとともに、地域の子育て支援機能の充実を図ることができた。				
課題・今後の方向性	多様化する保育ニーズに対応するため、補助事業の有効性を検証する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	私立認定こども園等建設費補助金			決算書 掲載ページ	238
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	33,111		33,010	0	101
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	22,007		0	0	11,003
目 的	老朽化等に伴う大規模修繕、改築工事に要する費用の一部を補助することにより、子どもを安心して育てることができる環境を整える。				
取組内容・実績	園舎の老朽化に伴い、大規模修繕（各種設備工事及び石綿除去工事）を実施した認定こども園（柏崎二葉幼稚園及びやまざくら保育園）に補助金を交付した。				
成 果	老朽化した園舎の施設整備に係る経費を補助することにより、子どもを安心して保育することへの支援を行うことができた。				
課題・今後の方向性	私立認定こども園等からの要望は多いが、財政的な課題もあり、中長期的な計画で実施する必要がある。				

事務事業名	私立認定こども園等発達障害児等介助事業補助金			決算書 掲載ページ	238
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	60		60	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	60
目 的	地域のニーズを踏まえて、地域の子育てを総合的に支援し、児童福祉の向上を図る。				
取組内容・実績	発達障害児等介助事業を実施した私立認定こども園1園に補助金を交付した。				
成 果	発達障害児等介助事業を実施することにより、安心して子育てができる環境を整備するとともに、地域の子育て支援機能の充実を図ることができた。				
課題・今後の方向性	多様化する保育ニーズに対応するため、補助事業の有効性を検証する必要がある、				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	施設等利用費給付事業			決算書 掲載ページ	238
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	3,342	2,103	0	1,239	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	1,577	0	0	526	
目 的	無償化対象の子どもが利用する預かり事業や認可外保育施設等の利用費を給付することにより、その家庭の経済的負担の軽減を図る。				
取組内容・実績	施設等利用費給付事業を利用した子どもの保護者に利用費を償還払いにより給付した。 ・預かり保育事業 523件 ・認可外保育施設 23件 ・一時預かり事業 6件 ・病児保育事業 0件 ・ファミリー・サポート・センター事業 0件				
成 果	施設等利用費給付事業を実施することにより、子育てを行う家庭の経済的負担の軽減が図られ、保護者も安心して施設等を利用することができた。				
課題・今後の方向性	多様化する保育ニーズに対応するため、補助事業の有効性を検証する必要がある、				

事務事業名	病児保育事業			決算書 掲載ページ	240
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	04	児童福祉施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	14,086	12,522	0	1,564	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	7,684	0	0	4,838	
目 的	保育所入所児童等が発病した際に児童を預けることができる病児保育室を開設することにより、働きながら安心して子育てのできる環境を整備する。				
取組内容・実績	病児保育室「ムーミンハウス」の運営業務を国立病院機構新潟病院に委託した。 ・登録人数 287人 ・延べ利用者数 552人				
成 果	保護者の子育てと就労の両立の支援、児童の健全な発達を促すことに寄与できた。				
課題・今後の方向性	病児保育のニーズが多いことから、病児保育の充実について利用者ニーズを確認しながら、病児保育事業実施主体等と協議・検討を行う必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-1 支え合いの地域づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-1 支え合いの地域づくりを進める

事務事業名	被保護者就労支援事業			決算書 掲載ページ	242
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	03	生活保護費	担 当	福祉課	
目	01	生活保護総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,661		3,524	0	137
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	2,609		0	0	915
目 的	就労支援専門員を配置し、就労支援プログラムに基づき、生活保護受給者の就労意欲の喚起、就労支援、ハローワークとの連携を図り、稼働能力を有する生活保護受給者の自立を支援する。				
取組内容・実績	38人に対して就労支援を実施し、25人が就労・増収となり、8世帯が就労収入の増加により生活保護廃止となり、保護費削減効果は1,198万9,186円となった。				
成 果	「生活保護受給者等就労自立促進事業」及び「就労支援プログラム」に基づき、生活保護受給者の就労意欲の喚起、就労支援、ハローワークとの連携を図り、就労自立につながった。就労支援により、就労収入を得ることなどにつながり、生活保護廃止となった。				
課題・今後の方向性	就労意欲の喚起のため、勤労能力を有する生活保護受給者に対し就労支援を強化・継続する。 新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、ハローワーク等の関係機関と連携し、就労支援を実施する。				

事務事業名	生活保護費			決算書 掲載ページ	242
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	03	生活保護費	担 当	福祉課	
目	02	扶助費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	889,748		856,698	0	33,050
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	621,664		0	0	235,034
目 的	生活保護受給者に扶助費を支給し、最低生活の維持と自立を支援する。また、中国残留邦人等支援給付金を対象者に給付し、支援を行う。				
取組内容・実績	令和2(2020)年3月31日現在、463世帯570人に扶助費を支給した。また、中国残留邦人支援給付金受給世帯の3世帯5人を支援した。				
成 果	生活保護受給者及び中国残留邦人等支援給付金対象者に扶助費及び支援給付費を支給し、最低生活の維持と自立を支援することができた。				
課題・今後の方向性	生活保護受給世帯数は高い水準で横ばいが続いていたが、新型コロナウイルス感染症の影響による経済の悪化に伴い、増加が懸念される。適正な生活保護の実施と生活保護受給世帯の自立支援を継続するとともに、生活困窮者自立支援制度との連携を行う。				

4 款 衛生費

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 健康を守る基盤を堅持する

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 健康を守る基盤を堅持する

事務事業名	病院群輪番制病院運営費			決算書 掲載ページ	246
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	40,733		40,634	0	99
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	3,628	37,006
目 的	休日又は夜間における緊急医療体制の確保を図る。				
取組内容・実績	病院群輪番制病院を運営する病院（3機関）に対し、40,634千円の補助金を交付した。				
成 果	休日又は夜間における二次救急医療体制の確保を図ることができた。				
課題・今後の方向性	地域における救急医療体制を確保するため、継続して実施していく必要がある。				

事務事業名	病院群輪番制病院設備整備補助事業			決算書 掲載ページ	246
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	36,149		25,495	0	10,654
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	16,996		0	442	8,057
目 的	休日又は夜間における緊急医療体制の確保・充実を図る。				
取組内容・実績	病院群輪番制病院が整備する医療設備に対し、25,495千円の補助金を交付した。 整備設備：電動油圧式手術台、物質併用電気手術器、電動ドリル一式ほか				
成 果	医療設備の整備を支援することにより、休日又は夜間における二次救急医療体制の確保を図ることができた。				
課題・今後の方向性	地域における救急医療体制の確保、機能の充実を図るため、継続して実施していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 健康を守る基盤を堅持する

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 健康を守る基盤を堅持する

事務事業名	地域医療推進事業			決算書 掲載ページ	246
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	13,020		12,367	0	653
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	12,367
目 的	地域医療に関する情報提供や啓発活動を実施することにより、受診行動の向上や地域医療の確保を推進するとともに、AEDの適切な管理による地域救急医療の充実を図る。				
取組内容・実績	医療・介護ガイドブックを活用した出前講座を3回実施し、150人が参加した。また、救急診療体制を周知するため、「柏崎・刈羽地域の救急診療」のチラシを全戸配布した。				
成 果	出前講座を開催し、参加者に地域医療について理解を深めていただくことができた。また、「柏崎・刈羽地域の救急診療」のチラシを全戸配布したことにより、「上手な医療のかかり方」の定着を図ることができた。				
課題・今後の方向性	柏崎地域の医療の実態を多くの市民に知ってもらうため、市民への情報提供、啓発活動のより効果的な手法を検討しながら、継続して実施していく必要がある。				

事務事業名	看護師就職支援事業			決算書 掲載ページ	246
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	12,004		11,701	0	303
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	774	10,927
目 的	市内の病院や訪問看護ステーションに勤務する看護師等を確保し、医療体制の維持・充実を図る。				
取組内容・実績	市内の病院等に就職した看護師に対し、49件、11,700千円の就職助成金を交付した。				
成 果	市内の病院等において、新たに49人の看護師を確保することができた。				
課題・今後の方向性	今後も市内外への周知を更に図りながら、継続して実施していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 健康を守る基盤を堅持する

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 健康を守る基盤を堅持する

事務事業名	勤務医・看護師子育てサポート事業			決算書 掲載ページ	246
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,825		1,315	0	1,510
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,315
目 的	病院に勤務する医療従事者の子育てを支援することにより、出産育児による離職防止や潜在看護師の再就職を支援する。				
取組内容・実績	院内託児所を設置する病院に対し、託児所運営費の一部として1,315千円の補助金を交付した。 ・院内託児所利用実績 1か所 延べ児童数1,595人				
成 果	病院に勤務する医療従事者の子育て支援を図ることで、出産育児による離職防止などを図ることができた。				
課題・今後の方向性	病院に勤務する医療従事者の離職防止のため、継続して支援する必要がある。				

事務事業名	キャリアアップ支援事業			決算書 掲載ページ	246
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,047		936	0	111
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	936
目 的	認定看護師の資格取得支援を行うことにより、キャリアアップを目指す看護職員の就職先としての魅力向上を図り、市内の病院への就業・定着促進を図る。				
取組内容・実績	摂食嚥下障害看護認定看護師教育課程を受講した看護師の勤務する病院へ936千円の補助金を交付した。				
成 果	キャリアアップを目指す看護師を支援することで、病院としての魅力向上に寄与し、看護師の定着や市内病院への就業促進を図ることができた。				
課題・今後の方向性	看護師の定着を図る上で、勤務先でキャリアアップを目指すことができる環境を整備することが重要である。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 健康を守る基盤を堅持する

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1 心と体の健康づくりを進める

事務事業名	公的病院運営支援事業			決算書 掲載ページ	248
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	60,843		60,843	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	60,843
目 的	地方交付税（特別交付税）を活用して、地域の中核を担う公的病院を支援することにより、地域医療の確保及び充実を図る。				
取組内容・実績	公的病院として有する医療機能に応じて、60,843千円の補助金を交付した。				
成 果	救急医療及び小児医療に対するの支援を行うことにより、公的病院の安定的な運営に寄与することができた。				
課題・今後の方向性	地域の中核を担う公的病院への支援は、地域医療を確保する上で重要であるが、地方交付税（特別交付税）による措置状況について留意が必要である。				

事務事業名	風の街こころの健康づくり事業			決算書 掲載ページ	252
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	健康推進課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	8,076		8,069	0	7
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	15	8,054
目 的	健康推進課サテライト相談窓口として、悩みや不安を抱える方の来所や交流サロンを通じて、心の健康相談に応じるとともに精神的な疾病や障害への理解を深める。				
取組内容・実績	ショッピングモール内に「まちかどオアシスこころ」を開設し、相談員2人を配置し、相談等に対応した。来所者は、延べ4,973人、相談者数は、実人員173人、延べ1,244人であった。折り紙サロンを年間22回、精神障害者と家族の会が主催するサロンを年間23回実施した。				
成 果	気軽に立ち寄り、相談できる窓口として役割を果たした。サロンは、年代に隔てなく参加できる場であり、孤独やひきこもり傾向のある方等の心のよりどころ、社会交流の場となっていた。				
課題・今後の方向性	「まちかどオアシスこころ」の機能を元気館へ統合するため、令和元（2019）年度で終了した。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1心と体の健康づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1心と体の健康づくりを進める

事務事業名	保健福祉相談支援事業			決算書 掲載ページ	254
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	健康推進課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,670		3,627	0	43
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	10	3,617
目 的	メンタルヘルス不調や精神的な疾患や障がいを抱える方の相談に応じることによって、相談者及び家族等の精神的健康の保持と日常生活の維持を図る。				
取組内容・実績	精神保健福祉士1人を配置し、保健師と精神保健福祉に関する相談延べ1,905人に対応した。 来所相談・訪問指導は、実人員264人、延べ808人、電話相談・メール・手紙相談は、延べ1,097人であった。				
成 果	不安の軽減に努め、受診、就労、福祉サービスの利用等必要な支援につなげることで、精神的な悩みや疾患のある方及び家族等の健康と日常生活の維持・改善を図ることができた。				
課題・今後の方向性	相談内容が複合、多様化しているため、関係機関と連携した支援が必要である。				

事務事業名	自殺予防対策事業			決算書 掲載ページ	254
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	こころの相談支援課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,053		817	0	236
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	668		0	0	149
目 的	自殺を企図する者を包括的に支えることのできる社会づくり及び自殺者の減少を図る。				
取組内容・実績	自殺対策行動計画改定版を施行した。 ゲートキーパー養成研修（基礎編）では、計19回、延べ1,242人を対象に実施した。「SOSの出し方教育」では、市内6中学校、計395人の生徒を対象に実施し、自殺の現状や早期発見・相談につなぐ役割の重要性について啓発することができた。また、「こころの健康通信No.2」の作成・発行、若年層向け啓発用ポスターを作成し、市内学校、公共施設へ配布・掲示した。				
成 果	柏崎市自殺対策行動計画を改定し、副市長をトップに13課による柏崎市自殺対策推進体制を整え、庁内における自殺対策の取組を推進した。人材育成事業では、ライフスタイル別に研修内容を作成し、地域、企業、学校へ出向き、幅広い年代層へ周知啓発を行うことで、関係機関との連携や課題を明確にすることができた。				
課題・今後の方向性	自殺対策行動計画改定版を基に、関係課・関係機関との連携を更に強化し、ライフステージに応じた事業を継続的に実施していく必要がある。特に、働き盛り世代と高齢者世代は自殺者数が多い傾向にあり、相談窓口の周知・啓発等、取組を強化していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1心と体の健康づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	ひきこもり支援事業			決算書 掲載ページ	254
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	こころの相談支援課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	8,265		6,873	0	1,392
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	17	6,856
目 的	ひきこもり状態にある当事者及びその家族に対し、アウトリーチを取り入れた専門的な相談を実施し、関係機関と連携することにより、希望に応じた支援を途切れることがないように継続して行う。				
取組内容・実績	庁内及び庁外の16の支援機関による連絡会を2回実施した。来所相談200件、電話相談470件、外部機関との調整387件等1,340件の対応を行った。				
成 果	ひきこもり支援センター開設2年間で、74件の支援を行った。連絡会の開催により、庁内及び庁外の支援機関の連携体制・情報交換をすることができた。支援実績を通して、居場所の必要性、利用者の特性や支援のニーズ等を把握することができている。				
課題・今後の方向性	8050問題で言われる、40代・50代の相談件数を増やす必要がある。また、ひきこもり支援では、当事者の居場所の設置の必要性が全国的にも言われている。本市においても、できるだけ早い設置を行う必要がある。				

事務事業名	母子健康診査費			決算書 掲載ページ	254
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	子育て支援課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	70,077		57,478	0	12,599
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	40,000		0	5	17,473
目 的	安心して子どもを産み育てることができるよう母子の健康診査を実施し、母子の健康管理と健康づくりを推進する。				
取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> 母子健康手帳交付（新規）時の健康相談：444件 妊婦健康診査（1人14回）：実人数459人、受診者延べ数5,591人 乳幼児健康診査：4か月、10か月、1歳6か月、3歳。6か月は医療機関委託。受診者数2,343人 平均受診率97.8% 				
成 果	母子の健康管理と健康づくりを推進することができた。乳幼児健診の際に、児童虐待防止の視点から育児不安のアンケートを行い、保護者の思いを傾聴し、必要時アドバイスを行うことで、育児不安の軽減につながった。				
課題・今後の方向性	健診後のフォローについて、進捗管理台帳を作成し、支援が必要なケースの体系化を行う。育児不安の対応についてスタッフ研修を継続し、スキル向上を目指す。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 子どもを持つ喜びが感じられる環境を整備する

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	母子訪問指導事業			決算書 掲載ページ	256
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	子育て支援課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,467		2,776	0	691
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,182		0	0	1,594
目 的	妊娠・出産・育児に関して必要な指導・助言を行う。また、主任児童委員等による地域の子育て支援により、母子保健の向上と子育て支援の充実を図る。				
取組内容・実績	産婦及び新生児を対象に、助産師による訪問指導を実施した。また、生後4か月前後に、こんにちは赤ちゃん訪問事業として、地域の主任児童委員が訪問して、子育て情報、相談窓口の紹介を行った（助産師訪問：440件、主任児童委員訪問：351件）。				
成 果	助産師訪問に続けて、産後うつが発症が多い産後4か月に主任児童委員が訪問することにより、タイムリーな支援につながった。				
課題・今後の方向性	助産師訪問、主任児童委員が訪問を行うことで、産婦の身体的・精神的な不安の解消及び地域との連携や虐待予防に有効であるため、今後も継続する。				

事務事業名	母子保健相談事業			決算書 掲載ページ	256
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	子育て支援課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	848		661	0	187
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	661
目 的	安全安心な妊娠期・出産と、子どもの成長・発達に応じた保健指導の実施により、健やかな妊娠・出産・子育て支援を行う。				
取組内容・実績	<p>出産前のパパママセミナー：妻の出席239人(出席率：19.4%)、夫の出席131人(出席率：15.4%)</p> <p>すくすく広場：出席者618人(出席率：44.6%)</p> <p>2歳児子育てと歯科相談：出席者144人(出席率：29.3%)</p>				
成 果	妊娠期から出産・育児についての指導や子どもの成長に合わせた、健康教育及び健康相談を実施することで、夫婦で子育てを考えるきっかけとなるとともに、子育ての不安軽減に効果的であった。				
課題・今後の方向性	すくすくネットを活用して事業内容の一部を紹介し、参加につなげるとともに、参加できない方にも情報発信を行う。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 子どもを持つ喜びが感じられる環境を整備する

事務事業名	歯科保健事業			決算書 掲載ページ	256
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	子育て支援課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,426		2,718	0	708
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	96		0	0	2,622
目 的	乳幼児歯科健診と保健指導及び歯科保健に関する研修、啓発活動を推進する。				
取組内容・実績	妊娠期から乳幼児期までのライフステージに対応した健診や講座を実施し、歯科衛生の向上に取り組んだ。出産前のパパママセミナー 参加者68人(参加率17.7%)、1歳6か月児健診 受診者437人(受診率91.0%)、2歳歯科相談参加者144人(参加率29.3%) 3歳児歯科健診受診者470人(受診率99.4%)、フッ化物歯面塗布率(対象者に対し)：1歳6か月児 86.9%、3歳児86.0%				
成 果	1歳6か月、3歳児歯科健診時に、フッ化物塗布を行うことで、86.0%の塗布率を確保し、むし歯予防に効果的であった。				
課題・今後の方向性	現在、1歳6か月児歯科健診は、歯科の単独実施で、3歳児健診(内科、歯科同日実施)に比較して受診率が低いため、受診率向上を目的として内科健診と同日実施を検討する。				

事務事業名	未熟児養育事業			決算書 掲載ページ	256
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	子育て支援課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,961		3,957	0	4
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	2,086		0	825	1,046
目 的	養育医療指定医療機関において入院養育を必要と認めた場合に医療費の一部を助成することにより、経済的負担の軽減を行う。				
取組内容・実績	出生児体重が2,000g以下又は医師の診断により、養育医療指定医療機関(未熟児等の集中治療室のある病院)において、入院療養が必要と認めた場合に、所得に応じて入院医療費の一部を助成した(受給者16人)。				
成 果	医療費助成をきっかけに、入院中から情報交換会を行うことで、退院後も切れ目ない支援が継続できた。				
課題・今後の方向性	未熟児は正常児と比べて種々の発育不良等があり、疾病に罹患しやすく、その死亡率は極めて高い。また、心身の障害を残すことも多いため、出生後速やかに適切な医療処置等を講ずる必要があり、引き続き事業を継続する。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 子どもを持つ喜びが感じられる環境を整備する

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 子どもを持つ喜びが感じられる環境を整備する

事務事業名	妊産婦及び子どもの医療費助成事業			決算書 掲載ページ	256
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	子育て支援課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	196,580		179,096	0	17,484
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	78,411		0	24,841	75,844
目 的	妊産婦及び子どもの医療費の一部を助成し、経済的負担を軽減するとともに、妊産婦又は子どもの疾病の早期発見と早期治療を促進し、安心して子どもを産み育てることができる環境をつくる。				
取組内容・実績	次の助成を実施した。 ・妊産婦医療費助成 受給者453人 助成件数1,842件 ・子ども医療費助成 受給者10,744人 助成件数106,781件				
成 果	子育て世帯の経済的負担を軽減するとともに、疾病の早期発見と早期治療に寄与できた。				
課題・今後の方向性	医療費助成の拡充は予算面での調整が必要であり、実現に向けては難しい状況にあるが、県内他市町村の動向を注視する。 妊産婦医療費助成制度を拡充し、受給者の負担を一部負担金のみとするほか、受給者証の交付を申請日からとする。また、償還払い制度から現物給付制度へと移行する。				

事務事業名	不妊治療助成事業			決算書 掲載ページ	256
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	子育て支援課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,005		3,697	0	308
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	3,697
目 的	妊娠を望む夫婦に対する不妊治療費を助成することで、経済的な負担の軽減を図る。				
取組内容・実績	医療保険が適用されず、高額な医療費がかかる配偶者間の特定不妊治療（県知事が指定した医療機関での体外受精・顕微授精）に要する費用の一部を助成した。 受給者 51人 助成件数 60件				
成 果	平成29（2017）年度に県の助成事業の要綱変更と併せて所得制限をなくしたことにより、申請者の増加傾向が継続しており、不妊治療を行う夫婦の経済的な支援につながった。				
課題・今後の方向性	妊娠を望む夫婦に対する不妊治療費を助成することで、経済的な負担の軽減に繋がるため、今後も事業を継続する。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1 心と体の健康づくりを進める

事務事業名	予防接種事業			決算書 掲載ページ	260
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	子育て支援課	
目	02	予防費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	133,904		119,310	0	14,594
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	119,310
目 的	予防接種の実施により、伝染のおそれがある疾病の発生及び罹患した場合の重症化を防止し、子どもの健康保持に寄与することを目指す。				
取組内容・実績	予防接種法に基づき、定期予防接種を実施した。 二種混合（ジフテリア・破傷風）643人、四種混合（百日せき・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ）1,970人、急性灰白髄炎（ポリオ）1人、麻しん・風しん1,059人、日本脳炎2,959人、BCG497人、水痘1,026人、ヒブワクチン1,898人、小児用肺炎球菌ワクチン1,943人、B型肝炎ワクチン1,511人、子宮頸がん予防ワクチン4人、接種延べ人数13,511人				
成 果	感染症予防の視点から、有効と判断される時期の適正接種ができるよう対象者に通知し、勧奨することにより、効果的な接種ができた。				
課題・今後の方向性	子どもを疾病から守るため、有効な時期に適正接種ができるようタイムリーな接種勧奨を継続し、今後も予防接種法に基づいて実施していく。				

事務事業名	がん検診費			決算書 掲載ページ	262
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	健康推進課	
目	03	健康増進費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	102,895		101,909	0	986
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	190		0	6,005	95,714
目 的	死亡原因の第1位である「がん」を早期発見、早期治療につなげ、市民の健康水準の向上に寄与するため、各種がん検診を実施する。				
取組内容・実績	健(検)診調査票を全戸に配布し、申込希望調査を実施した。また、協会けんぽの被扶養者に対し、2年目となる特定健診と乳がん検診の同日受診を行うとともに、健診未受診者の社保加入の女性2,056人にチラシを送付して募集した。 各種がん検診受診者数は、肺がん12,893人、大腸がん7,705人、胃がん4,281人、乳がん2,715人、子宮頸がん2,449人、前立腺がん2,270人であり、肺がん検診以外は、前年度実績を上回った。				
成 果	特定健診と乳がん検診の同日受診について、119名から申込みがあり、内72人が乳がん検診を受診し、試行的に行った平成30(2018)年度同事業実績の約5倍となり、市民の健康管理に大きく寄与した。 その他の健(検)診については、バスを用いて集会所や集落センターを細かく巡回することにより、受診しやすい環境を維持するとともに、女性限定の検診日や身体に不自由がある方限定の「ゆったり健(検)診」など、受診の際の不安に配慮した日程を設定することで、様々なニーズに応じた健(検)診を実施することができた。				
課題・今後の方向性	特定健診とがん検診の同日実施については、一定の成果が見込めることから、事業の拡大に取り組む必要がある。一方で、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、受診者の増加を見込むことは難しく、1日当たりの健(検)診人数の制限や、マスク着用、手指及び器具等の消毒など、感染防止に十分配慮した健(検)診を行う必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1心と体の健康づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1心と体の健康づくりを進める

事務事業名	健康増進事業			決算書 掲載ページ	262
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	健康推進課	
目	03	健康増進費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,384		1,752	0	632
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	318		0	0	1,434
目 的	健康教育によって正しい知識の普及啓発を、健康相談によって個別に必要な助言・指導を行い、健康の保持増進に資する。健康ポイント制度によって、健康に対する意識の向上、健診受診率の向上、地域・施設の連携による環境整備を図る。				
取組内容・実績	<p>次の事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康教育 延べ253回実施、参加者延べ8,897人 健康相談 延べ126回実施、参加者延べ4,735人 健康ポイント制度 応募者479人 <p>(60歳未満参加割合 平成30(2018)年度54.9%⇒令和元(2019)年度67.0%、初めて参加65.0%)</p> <p>健康ポイント制度は、青壮年期の参加の増加と取組の効果を期待し、健康づくり60日間チャレンジとしてリニューアルした。</p>				
成 果	健康教育、健康相談では、正しい知識を提供し、実践につなげることができた。健康ポイント制度は、FAXやメールでの応募を可能としたことにより、60歳未満の参加割合は増加した。一方、取組の成果を期待する内容とし、自由度が少なかったため、全体の参加者が減少したと思われる。				
課題・今後の方向性	市民の健康寿命の延伸を図るため、健康意識の醸成と生活習慣改善等に関する幅広い取組が必要である。健康ポイント制度は、初めての参加が多く、取組のきっかけにはつながったが、参加者が減少しており、再考が必要なことから休止する。				

事務事業名	歯科保健事業			決算書 掲載ページ	262
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	健康推進課	
目	03	健康増進費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,794		6,536	0	258
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	11		0	465	6,060
目 的	生涯を通じた歯や口腔の健康づくりを推進する。障害を持つ人や支援が必要な人の口腔内環境の改善を推進する。				
取組内容・実績	歯周病検診は、対象年齢を40～80歳から20～80歳に拡大し、1,488人が受診し、歯科健康相談を8回実施した(利用者48人)。また、歯科保健推進会議を開催し、第2次歯科保健計画の効果的な推進を図った。さらに、糖尿病専門医による医科歯科連携市民講演会を実施し、歯科医院定期受診の大切さを周知した。				
成 果	歯周病検診では、事業の拡充により対象となった20～39歳が305人受診し、青年期の歯科受診の機会を提供できた。 また、医科歯科連携市民講演会は、糖尿病専門医から「糖尿病と認知症の予防の観点からも、歯科医院の定期受診が重要」と伝えられ、参加者アンケートに「早速歯科医院の予約を取りたい」などの感想が多かったことから、目的を達成できたと考える。				
課題・今後の方向性	歯周病検診について、県内では、県に報告する40、50、60、70歳の節目年齢のみ対象としている市が多い中、柏崎市は、広く対象としている。一方で、節目年齢の受診率は、県内20市の中で大変低い。ため検診料無料化などによる、節目年齢の受診率向上と、歯科医院の定期受診につなげる対策が必要である。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1心と体の健康づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1心と体の健康づくりを進める

事務事業名	食育推進事業			決算書 掲載ページ	262
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	健康推進課	
目	03	健康増進費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	298		243	0	55
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	243
目 的	食育推進計画に基づき、各ライフステージにおける「食」の課題に応じた食育の推進を図る。イベントや事業に食育コーナーを展開するほか、食育研修会を通じて、食生活改善推進員のスキルアップを図る。				
取組内容・実績	歯の健康展で「食育コーナー」を開催し、食に関する普及啓発や関係団体による試食提供を行うとともに、健康増進計画の重点取組と絡め、公立保育園4園で、甘い飲み物を減らすための健康教育を実施した。 食育推進会議を開催し、第3次食育推進計画の効果的な推進を図った。				
成 果	第二次健康増進計画の推進と併せ、包括的に取り組み、保育園や学校、地域や関係機関等との連携を深め、食育を推進することができた。				
課題・今後の方向性	食育に対する市民の関心は高まってはいるが、実際に健康に配慮した食事の実践や食文化の継承などは希薄になっている現状が見られる。推進会議を通し、引き続き関係組織と連携し、食育の推進を行う必要がある。				

事務事業名	健康増進計画推進事業			決算書 掲載ページ	264
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	健康推進課	
目	03	健康増進費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	628		321	0	307
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	321
目 的	「健康みらいかしわざき21（第二次）」の計画に基づき、各世代の健康増進のほか、市民全体の生活習慣病の予防を推進する。健康づくり推進会議を通じて、医療、教育、福祉のほか民間企業・事業所と連携した健康増進施策を展開する。				
取組内容・実績	青壮年期への働きかけの強化や糖尿病予防に向けた取組に重点を置き、地域、職域等でイベントでの啓発、健康教育等を行った。 また、健康づくり推進会議を年2回開催した。 さらに、包括的連携協定に基づいて、協会けんぽと年2回、商工会議所とは随時、職域と健康づくりについて情報交換を行った。				
成 果	昨年に引き続き、各種イベントや健康教室で、重点を絞り取り組んだことで、より広く効果的に周知することができた。また、食育推進会議、歯科保健推進会議との関連を意識して、健康づくり推進会議を実施することで、より効率よく推進することができた。				
課題・今後の方向性	健康寿命の延伸に向けて、青壮年期や市の健康課題である糖尿病を重点課題として、発症予防や重症化予防に向けた取組や企業・事業所等に対する健康経営の普及啓発を継続していく必要がある。そのため、中間評価を行い、今後の取組方針について確認する。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-3 美しい自然を守る

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-1 地球温暖化対策を進める

事務事業名	地盤沈下対策事業			決算書 掲載ページ	266
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	環境課	
目	04	環境衛生費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,843		4,507	0	336
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	4,507
目 的	地盤沈下及び地下水位の監視を行い、地下水の過剰なくみ上げによる地盤沈下を防止する。				
取組内容・実績	隔年による市内地盤沈下監視用水準測量50km（県22km+市28km）を実施した。 市内6本の地盤沈下観測用井戸で地下水位などの計測を行い、地下水位及び地層収縮量を監視した。				
成 果	令和元（2019）年度の測定結果、柳橋町地内において沈下量4cm/2年を記録したが、これは平成30（2018）年1月及び2月の大雪による消雪パイプのくみ上げが原因である。市民に対し、消雪パイプの使用時間の抑制及び融雪剤散布による節水、新たに井戸を掘削しないこと等の周知を行い、地盤沈下対策を図ることができた。				
課題・今後の方向性	地盤沈下は沈静化の傾向が見られるが、予断を許さない状況に変わりはなく、今後とも監視を継続しつつ、地盤沈下防止対策を推進する必要がある。				

事務事業名	地球温暖化対策推進事業			決算書 掲載ページ	266
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	環境課	
目	04	環境衛生費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	897		841	0	56
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	841
目 的	地球温暖化対策実行計画に掲げる二酸化炭素を主とする温室効果ガス排出量削減目標達成のため、市民の環境行動による地球温暖化対策の意識啓発及び取組誘導を図る。				
取組内容・実績	緑のカーテン、ノーマイカーウィーク&エコドライブモニター等の参加型啓発事業を展開したほか、若年層への環境意識向上のため、小学生向けに環境教育プログラム（4校219人）、保育園向けにエコ教室（5園381人）、クリーンセンター見学時における講話（14団体520人）を行った。				
成 果	環境意識啓発事業を行うことで市民に対して環境意識の向上を啓発することができた。特に、若年層における地球温暖化の原因と対策について、自ら考え、実践する意識付けを行うことができた。				
課題・今後の方向性	市民や事業者に対する温暖化対策の意識啓発活動を継続するとともに、地域エネルギービジョンとの整合を図りながら、公共施設への再生可能エネルギー設備の導入を促進する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-1 地球温暖化対策を進める

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-1 地球温暖化対策を進める

事務事業名	ECO2プロジェクト事業			決算書 掲載ページ	266
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	環境課	
目	04	環境衛生費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,620		891	0	729
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	891
目 的	事業者における組織的な環境活動を活性化させ、従業員単位に及ぶ環境意識の浸透を誘導し、市域の温室効果ガス排出量削減を図る。				
取組内容・実績	事業者の環境活動を推進するため、メール配信等の情報発信を含めた事業運営により、次のとおり事業を行った。 海岸清掃18社161人、ノーマイカーウィーク&エコドライブモニター82社3,070人、緑のカーテン26社、省エネモニター8社、環境関連賞4社、エコ検定取得2社3名、環境活動報告5社など、延べ145社がエコポイント対象行動に参加した。				
成 果	環境に配慮した対象行動で二酸化炭素排出量を削減し、ポイントを補助金として付与することで、LED照明を始めとする高効率機器等の導入・普及につなげた。また、定期的に発行する「ECO2通信」において市内事業者の環境への取組を広く紹介することで参加登録事業者の環境への意識啓発を促すことができた。				
課題・今後の方向性	事業への参加事業者数が固定化し、伸び悩んでいる。参加しやすく利用しやすい事業となるよう見直しながら、市の環境施策の牽引役として事業を継続し、事業者による組織的環境活動を推進していく必要がある。				

事務事業名	低炭素型設備機器導入補助事業			決算書 掲載ページ	266
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	環境課	
目	04	環境衛生費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,201		5,008	0	193
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	5,008
目 的	温室効果ガス排出の抑制と地球環境への負荷低減に向け、市民、事業所における省エネ設備及び電気自動車等の導入支援により、普及促進を図る。				
取組内容・実績	低炭素型設備を導入した市民及び市内事業者に次のとおり補助金を交付した。 ・燃料電池設備 11件 2,200千円 ・太陽光発電+HEMS+蓄電池 2件 536千円 ・木質バイオマスストーブ 7件 644千円 ・HEMS+蓄電池 2件 368千円 ・電気自動車/プラグインハイブリッド車 15件 1,260千円				
成 果	補助金交付及び補助金制度の周知を通じ、一般家庭における具体的省エネ対策や低炭素型交通への対策を提示することで、地球温暖化対策の意識啓発と温室効果ガス排出量削減を両立することができた。				
課題・今後の方向性	再生可能エネルギーや省エネの普及促進に対する本市における唯一の補助金施策であることから、更なる普及を後押しするよう補助金制度を継続する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 健康を守る基盤を堅持する

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 健康を守る基盤を堅持する

事務事業名	休日急患診療所管理運営費			決算書 掲載ページ	270
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	06	休日急患診療所費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,010		6,951	0	59
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	579	6,372
目 的	休日における歯科の応急医療体制の確保を図る。				
取組内容・実績	休日急患診療所の運営を歯科医師会に委託し、延べ163人の患者の応急処置を行った。				
成 果	休日において、歯科患者へ応急処置を行うことにより、市民の健康増進に寄与することができた。				
課題・今後の方向性	休日に歯科診療できる診療所であるため、継続して実施していく必要がある。				

事務事業名	休日・夜間急患センター運営費			決算書 掲載ページ	270
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	06	休日急患診療所費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	38,228		38,227	0	1
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	3,273	34,954
目 的	休日又は夜間における緊急医療体制の確保を図る。				
取組内容・実績	休日・夜間急患センター及び調剤薬局の運営に対し、38,227千円の補助金を交付した。 休日・夜間急患センター 延べ利用者数 1,941人				
成 果	休日・夜間急患センター及びその調剤薬局の運営を支援することにより、休日又は夜間における一次救急の医療体制を確保することができた。				
課題・今後の方向性	休日・夜間急患センターにおける一次救急医療体制を確保するため、継続して実施していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-2 資源を有効活用する

事務事業名	斎場施設整備事業			決算書 掲載ページ	272
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	市民課	
目	07	斎場費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,137		6,752	0	385
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,500		0	352	4,900
目 的	斎場は、平成10（1998）年10月から使用開始され、設備等の劣化が進んでいるため、火葬炉の修繕及び施設の改修を行う。				
取組内容・実績	斎場火葬炉の補修及び電話設備入替工事を実施した。				
成 果	施設・設備の維持・長寿命化及び利用者の利便性の向上を図ることができた。				
課題・今後の方向性	火葬炉の維持のため、継続して補修・修繕を行う必要がある。				

事務事業名	ごみ減量化・リサイクル対策費			決算書 掲載ページ	274
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	01	清掃総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	43,275		34,878	0	8,397
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	34,878
目 的	資源の使い捨てから社会から循環型社会への移行を実現するため、ごみの発生抑制、資源の再使用及び再利用により、資源の有効活用を総合的に推進する。				
取組内容・実績	ごみの減量と資源物の適正処理の推進を実施した。ごみの総排出量は、27,859tで前年度に比べて346t減少した。資源物の収集量は、5,220tで195tの減少、リサイクル率は18.7%となり、前年度に比べて0.5%の減少となった。有価物の売却額は、29,595千円となり、有価物の価格低下のため、前年度に比べて15,336千円の減少となった。				
成 果	ごみの総排出量の減量を行うことができた。また、資源物の収集を行い、再生利用事業者へ引き渡し、再資源化することができた。				
課題・今後の方向性	ごみの総排出量は年々減少しているが、依然として分別されていないものが見受けられる。今後リサイクル率を向上させるためには、排出される際のごみの分別を更に徹底する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-3 美しい自然を守る

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-3 美しい自然を守る

事務事業名	海岸清掃費			決算書 掲載ページ	274
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	01	清掃総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	20,010		14,205	0	5,805
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	9,900		0	0	4,305
目 的	海岸線の環境保全、美観保持を推進する。				
取組内容・実績	市内海岸線のうち、漁港、原発敷地、柏崎マリーナを除く海岸の清掃をシルバー人材センターに委託し、5月～7月、9月、3月に、日数77日（6,532時間）、延べ1,045人で作業を行い、138tの漂着物を回収した。また、ビーチクリーナーによる海岸清掃をメディカル・サポートに委託し、6月～8月に実施した。				
成 果	海岸の環境保全と環境美化に貢献することができた。				
課題・今後の方向性	海洋ごみは依然減っておらず、海岸に漂着するごみも減らない状況にあるため、地元町内会や企業等によるボランティア清掃活動と重複しないよう調整を図りながら、今後も継続して実施する必要がある。				

事務事業名	不法投棄防止対策費			決算書 掲載ページ	274
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	01	清掃総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,113		127	0	986
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	127
目 的	不法投棄の防止と不法投棄物の早期発見回収処理を行うことにより、環境美化を推進する。				
取組内容・実績	町内会や市民からの通報及び職員による月2回以上のパトロールを行うことにより、不法投棄56件に対応し、投棄物2.01tを回収処理した。				
成 果	職員のパトロールによる不法投棄の抑止と投棄物の早期回収による投棄現場の状況悪化を防止することにより、環境美化を維持することができた。				
課題・今後の方向性	不法投棄は、家庭ごみのような小規模なポイ捨てが大部分を占め、人の目があることによる抑止が必要となっている。 今後とも、市民への環境美化啓発と地域住民による監視体制の強化により、不法投棄の防止を図る必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-3 美しい自然を守る

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-2 資源を有効活用する

事務事業名	クリーンデー柏崎事業			決算書 掲載ページ	274
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	01	清掃総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,618		2,438	0	180
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	2,438
目 的	地域の環境美化と美化意識の高揚を図る。				
取組内容・実績	293町内、25,461人の参加者により、燃やすごみ71.70t、燃やさないごみ1.89t及び側溝汚泥138.07tを収集した。 (平成30(2018)年度：293町内、24,373人の参加者により、燃やすごみ76.38t、燃やさないごみ2.43t及び側溝汚泥138.79tを収集した。)				
成 果	参加町内会は前年度と同数であるが、96%を超える高い参加率を維持し、地域の環境保全を図ることができた。				
課題・今後の方向性	クリーンデー柏崎で排出される廃棄物のうち、全市一斉実施日に排出される可燃物は、当日に回収を行う。今後、職員数の減少等により直営の収集が困難となっていく中で、効率的な収集体制を検討する必要がある。 町内会の活動として広く普及しており、地域の環境美化と美化意識の高揚を図るため、今後も継続して実施する。				

事務事業名	ごみ減量・リサイクル対策補助事業			決算書 掲載ページ	274
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	01	清掃総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	200		144	0	56
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	144	0
目 的	廃棄物の適切な分別により、資源化を図り、廃棄物の減量化を推進する。				
取組内容・実績	町内会の資源物ステーション設置費用補助として、3町内会へ144千円を交付した。				
成 果	町内会の資源物ステーション設置費用を補助することにより、資源物回収活動の円滑化を図ることができた。				
課題・今後の方向性	補助金制度の更なる周知により、利用を促進する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-2 資源を有効活用する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-2 資源を有効活用する

事務事業名	ごみ収集委託費			決算書 掲載ページ	276
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	02	塵芥処理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	200,321		200,278	0	43
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	63,650	136,628
目 的	廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、一般廃棄物の処理は市の責務とされており、家庭から排出される廃棄物を適正に収集、運搬する。				
取組内容・実績	9者の委託事業者に収集作業を委託し、燃やすごみ12,148t、燃やさないごみ422t及び資源物3,829tを収集した (平成30(2018)年度：燃やすごみ12,268t、燃やさないごみ434t及び資源物4,060tを収集した。)				
成 果	柏崎市内の家庭から排出された廃棄物を適正に収集、運搬することができた。				
課題・今後の方向性	一般廃棄物(ごみ)処理基本計画に基づき、適正な収集体制を維持するための方策を検討する。				

事務事業名	ごみ処理運営費			決算書 掲載ページ	276
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	02	塵芥処理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	98,973		89,571	0	9,402
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	31,125	58,446
目 的	市内及び刈羽村から排出された一般廃棄物の安定した処理を行う。				
取組内容・実績	ごみ処理場を運営し、一般廃棄物(燃やすごみ22,690t、燃やさないごみ907t及び粗大ごみ612t)を処理した。 (平成30(2018)年度：燃やすごみ23,000t、燃やさないごみ905t及び粗大ごみ544tを処理した。)				
成 果	市内及び刈羽村から排出された一般廃棄物を適正かつ安定的に処理し、住民の生活環境を維持することができた。				
課題・今後の方向性	一般廃棄物の排出量が減少し、ごみ処理場の処理能力と差が出ており、効率的な施設の運営を進めていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-2 資源を有効活用する

事務事業名	ごみ処理施設整備事業			決算書 掲載ページ	278
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	02	塵芥処理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	144,000		142,703	0	1,297
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	120,000		0	4,641	18,062
目 的	ごみ焼却施設及び粗大ごみ処理施設の能力維持のため、定期的なオーバーホールを行う。				
取組内容・実績	ごみ焼却施設及び粗大ごみ処理施設のオーバーホールを実施するとともに、ごみ処理場外壁一部改修工事を行った。				
成 果	オーバーホール及び施設改修工事により、ごみ焼却施設及び粗大ごみ処理施設の機能を維持することができた。				
課題・今後の方向性	施設の老朽化に伴い、より適切な維持管理が必要となる。				

事務事業名	ごみ収集事業			決算書 掲載ページ	278
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	02	塵芥処理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	51,224		43,819	0	7,405
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	42,555	1,264
目 的	ごみ・粗大ごみの収集運搬に係る業務を実施する。				
取組内容・実績	ごみの指定袋、粗大ごみ処理券を作成した。 ごみの収集計画を立て、ごみ収集カレンダーを作成し、全世帯に配布した。				
成 果	ごみの指定袋及び粗大ごみ処理券の作成により、収集業務を円滑に実施できた。 ごみ収集カレンダーを全世帯に配布し、資源物・ごみの収集を滞りなく実施することができた。				
課題・今後の方向性	一般廃棄物（ごみ）処理基本計画に基づき、収集業務を適切に管理していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-2 資源を有効活用する

事務事業名	ごみ処理施設建設事業			決算書 掲載ページ	278
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	02	塵芥処理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	15,146		11,969	0	3,177
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	3,901		0	350	7,718
目 的	一般廃棄物の適正処理を行うため、新ごみ処理場を建設する。				
取組内容・実績	整備計画策定のため、柏崎市ごみ処理場建設検討委員会を4回実施した。				
成 果	柏崎市一般廃棄物中間処理施設整備基本計画を策定し、新ごみ処理場の整備方針を決定した。				
課題・今後の方向性	今後はPFI等可能性調査、敷地の測量調査及び地歴調査を行い、建設に関する有効な情報を得る必要がある。				

事務事業名	ごみ最終処分事業			決算書 掲載ページ	278
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	02	塵芥処理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	59,394		56,344	0	3,050
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	19,554	36,790
目 的	一般廃棄物最終処分場の適正管理を図る。				
取組内容・実績	一般廃棄物3,077t(2,413㎡)の最終処分を行った。 (平成30(2018)年度:3,118t(2,351㎡)の最終処分を行った。)				
成 果	一般廃棄物最終処分場を適正管理し、中間処理施設から排出された埋設物3,077tを最終処分することができた。				
課題・今後の方向性	1号ピットの埋立準備が完了したことから、現在埋立中の2号ピットを含めた埋立計画の検討が必要である。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

事務事業名	ごみ最終処分場整備事業			決算書 掲載ページ	280
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	02	塵芥処理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,123		4,703	0	1,420
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	137	4,566
目 的	一般廃棄物の適正管理を行うため、最終処分場の維持管理を行う。				
取組内容・実績	2基ある埋立ピットのうち、埋立てを開始していない上部ピットのポンプを設置した。				
成 果	上部ピットの浸出水の移送体制を整えることができた。				
課題・今後の方向性	施設の延命化と安定処理を図るため、上部ピットと下部ピットを使用する効率的な埋立計画の策定が必要である。また、埋立期間が延びたことから、浸出水処理施設の整備計画の策定を行う必要がある。				

事務事業名	し尿処理運営費			決算書 掲載ページ	280
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	03	し尿処理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	24,245		21,260	0	2,985
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	16,813	4,447
目 的	し尿の適正な処理を行うために安定的な運営を行う。				
取組内容・実績	し尿処理施設の運営を行い、し尿952kl、浄化槽汚泥（農業集落排水汚泥含む）14,949klを処理した。 （平成30（2018）年度：し尿1,018kl、浄化槽汚泥（農業集落排水汚泥含む）16,515klを処理した。）				
成 果	し尿処理施設の安定的な運営を行い、適正にし尿を処理することができた。				
課題・今後の方向性	自然環境浄化センター内に、し尿受入施設が完成するまで、安定的な運営が必要である。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

事務事業名	し尿収集事業			決算書 掲載ページ	280
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	03	し尿処理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,853		5,643	0	1,210
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	2,334	3,309
目 的	柏崎市内、刈羽村内の一般家庭くみ取り式トイレ、現場等の仮設トイレのくみ取りを円滑かつ迅速に対応する。				
取組内容・実績	直営でくみ取り業務を行い、柏崎市内2,955件（うち仮設1,901件）及び刈羽村内164件（うち仮設115件）に対応した。				
成 果	一般家庭及び事業者からの依頼に迅速に対応することができた。				
課題・今後の方向性	適正なくみ取り体制を維持できるよう検討していく必要がある。				

事務事業名	し尿処理施設整備事業			決算書 掲載ページ	282
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	03	し尿処理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	90,300		90,200	0	100
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	13,277	76,923
目 的	し尿処理場の能力維持のため、定期的なオーバーホールを行う。				
取組内容・実績	し尿処理場のオーバーホールを実施した。				
成 果	オーバーホールを実施した結果、計装設備の老朽化が確認されたことから、計装設備の修繕設計を行い、施設の機能維持・延命化に努めた。				
課題・今後の方向性	し尿処理場の整備方針として、自然環境浄化センター敷地内に下水道投入施設を新設することが決定しているが、施設が稼働するまでの間、既存し尿処理場の機能維持をしていく必要がある。				

5 款 労働費

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

事務事業名	住宅資金			決算書 掲載ページ	284
款	05	労働費	会 計	一般会計	
項	01	労働諸費	担 当	商業観光課	
目	01	労働諸費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	83,700	75,100	0	8,600	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	75,100	
目 的	市民の定住住宅取得の促進及び居住環境の改善を図る。				
取組内容・実績	市民が行う住宅取得及びリフォームに対して、平成29（2017）年度まで金融機関と協調融資を実施した。平成30（2018）年度以降は、残債に応じた預託のみを行った。				
成 果	市民の定住住宅取得の促進及び居住環境の改善を図ることができた。				
課題・今後の方向性	平成29（2017）年度で制度を廃止（新規受付を終了）し、平成30（2018）年度以降は、残債に応じた預託のみとしたため、残債がなくなり次第終了予定である。				

事務事業名	雇用促進事業			決算書 掲載ページ	284
款	05	労働費	会 計	一般会計	
項	01	労働諸費	担 当	商業観光課	
目	01	労働諸費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	4,762	3,517	0	1,245	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	3,517	
目 的	柏崎職安管内の労働力の確保と定着及び労働者の福祉の向上を図る。				
取組内容・実績	柏崎職安管内雇用促進協議会の事業費の一部を負担し、管内企業説明会（4月 大学生等、7月 高校3年生）及び事業所見学会（8月 高校1・2年生）を実施した。また、市内中小企業者等が、新規卒卒者を対象とする就職情報ポータルサイトでの情報発信に係る経費を補助した。 補助事業 8件				
成 果	柏崎職安管内企業と高校生、大学生等の面談の機会をそれぞれ設けること、及び企業の情報発信を促進することで、地元企業への就職を促進することができた。				
課題・今後の方向性	少子高齢化や人口減少とともに若者の市外流出が顕著となる中、若年者の地元定着とU・Iターンを促進するため、本事業を継続する。特に、人材確保を目指す事業者に向けた支援を実施する。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-2 大学を活かし『柏崎らしさ』をはぐくむ
	⑤-2-1 地（知）の拠点を活かした取組を進める

事務事業名	若年者就労支援事業			決算書 掲載ページ	286
款	05	労働費	会 計	一般会計	
項	01	労働諸費	担 当	商業観光課	
目	01	労働諸費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	9,628	9,549	0	79	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	9,549	
目 的	若年者の就労促進と職場定着の向上を図るため、職業相談員を配置し、就労支援を行う。 あわせて、内職求人・求職のあっせん、子育て中の親への就職相談を行う。				
取組内容・実績	ハローワーク柏崎と連携し、まちなかに就労ワンストップ窓口「ワークサポート柏崎」を設置した。ここに職業相談員を配置し、若年者の求人情報の提供、就職サポート相談、職業適性検査、就職支援セミナー等の若年者就労支援を行った。あわせて、施設運営費（フォンジェ地下借上料）を負担した。 実績：若者職業相談件数 1, 287 件 ・ 就職支援セミナー 17 回、37 人参加				
成 果	相談窓口に専門知識を有する相談員を配置することにより、若年無業者等の就職につながった。				
課題・今後の方向性	相談実施の後、求人への応募活動まで至らない利用者も一定数いることから、セミナーの実施や他機関との連携を図りながら、個々に合わせた支援を実施する。				

事務事業名	大学生就職促進事業			決算書 掲載ページ	286
款	05	労働費	会 計	一般会計	
項	01	労働諸費	担 当	商業観光課	
目	01	労働諸費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	4,000	3,523	0	477	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	3,523	
目 的	地元 2 大学卒業生の就職率の向上及び地元就職率の向上を促進する。				
取組内容・実績	市内 2 大学において、市内企業等への求人開拓及び学生に対する就職相談などを行う就職支援相談員を雇用するための経費や学生の市内就職を促す事業に要した費用の 3 分の 2（上限 200 万円）を補助した。				
成 果	2 大学から 18 人が柏崎刈羽地区に就職し、若者の地元定着を図ることができた。				
課題・今後の方向性	2 大学入学者の柏崎刈羽出身者割合が、毎年おおむね 10%～13%強で推移している。就職時においても同割合以上が地元企業に就職できるよう取組を進めるが、取組・手法は検討する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

事務事業名	若年者トライアル雇用促進事業			決算書 掲載ページ	286
款	05	労働費	会 計	一般会計	
項	01	労働諸費	担 当	商業観光課	
目	01	労働諸費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,800		700	0	1,100
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	700
目 的	若年者雇用のミスマッチを解消するとともに、雇用の安定を図る。				
取組内容・実績	公共職業安定所のトライアル雇用助成金対象者のうち、35歳未満の若年者のトライアル雇用を行った市内事業所に助成金を交付した。 ・事業所数 8社 ・対象者数 8人（内6人がトライアル雇用から常用雇用に移行）				
成 果	若年者のトライアル雇用に対する助成金により、若年層の雇用を促進することができた。				
課題・今後の方向性	平成30（2018）年度に要綱を廃止したが、新型コロナウイルス感染症による経済活動へのマイナス影響が今後雇用にも及ぶ可能性もあることから、状況を見ながら施策の実施を検討する必要がある。				

事務事業名	女性活躍推進事業			決算書 掲載ページ	286
款	05	労働費	会 計	一般会計	
項	01	労働諸費	担 当	商業観光課	
目	01	労働諸費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,000		597	0	1,403
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	597
目 的	女性のための職場改善に取り組む事業者を支援し、女性活躍の推進を図る。				
取組内容・実績	中小企業等が実施するソフト・ハード事業に対する補助制度を実施した。 ・補助事業 3件				
成 果	女性専用トイレ・休憩室等の整備、制服導入への補助により、女性が働きやすい職場環境の整備が図ることができた。				
課題・今後の方向性	制度の利用件数が数件にとどまっているため、引き続き制度の周知に努め、企業における職場環境の整備を促進する。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

事務事業名	障がい者活躍推進事業			決算書 掲載ページ	286
款	05	労働費	会 計	一般会計	
項	01	労働諸費	担 当	商業観光課	
目	01	労働諸費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	3,028	2,766	0	262	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	2,766	
目 的	企業における障害者雇用の経験やノウハウを活用して、障害者雇用に取り組もうとする事業者への支援を行う。				
取組内容・実績	障害者雇用の啓発・促進を目的としたセミナーの開催や事業所からの障害者雇用に関する相談に対応する障害者活躍推進アドバイザーの派遣を委託実施した。また、国の障害者トライアル雇用助成金を利用し、障害者を雇用した市内事業所に対し、補助金を交付した。 ・アドバイザー派遣件数 12件 ・障害者トライアル雇用助成金交付事業所数 6件				
成 果	セミナーでは、事業者の障害者雇用に対する意識を高めることができた。また、助成金の交付により、障害者雇用を促進することができた。				
課題・今後の方向性	引き続き事業者に対し、障害者雇用への取組を働きかけるとともに、アドバイザーの利用促進を図る。				

事務事業名	育児休業促進事業			決算書 掲載ページ	286
款	05	労働費	会 計	一般会計	
項	01	労働諸費	担 当	商業観光課	
目	01	労働諸費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	1,652	300	0	1,352	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	300	
目 的	仕事と家庭の両立を支援し、育児休業を取得しやすい環境の整備を図る。				
取組内容・実績	育児休業代替要員確保事業補助金及び男性の育児休業取得促進事業奨励金事業を実施した。 ・育児休業代替要員確保事業補助金の計画指定 3件 ・男性の育児休業取得促進事業奨励金交付件数 1件				
成 果	育児休業を取得しやすい環境の整備を図ることができた。				
課題・今後の方向性	令和2（2020）年度から国の助成金への上乗せという形にして、新たに仕事と家庭の両立支援奨励金を創設した。今後は、介護離職の防止等も含め企業の取組を促す。				

6 款 農林水産業費

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	水田農業推進事業			決算書 掲載ページ	294
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	02	農業総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,033		7,000	0	33
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	7,000
目 的	循環型農業の推進を図り、安全・安心な農作物の生産を推進する。				
取組内容・実績	有機栽培及び農薬・化学肥料を5割以上低減栽培する農業者52人、農業法人等16団体に対し、有機100%肥料及び堆肥施用の資材購入費の一部を支援した。				
成 果	約665haの水田及び畑地に、有機100%肥料及び堆肥を施用することにより、地力が維持され、環境に配慮した持続性の高い農業の普及が図られ、安全・安心な農作物の生産に取り組むことができた。				
課題・今後の方向性	取組者数が横ばい傾向にあることから、新潟県特別栽培農作物認証者に対し、循環型農業の必要性を周知するとともに、柏崎市認証米「米山プリンセス」の取組と連携しながら、有機100%肥料及び堆肥の施用の増加を図る。				

事務事業名	環境保全型農業直接支払交付金事業			決算書 掲載ページ	294
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	02	農業総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	15,715		10,717	0	4,998
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	8,052		0	0	2,665
目 的	環境型農業の推進を図り、安全・安心な農作物の生産を推進する。				
取組内容・実績	堆肥の施用や有機農業、冬季 ^{たん} 澁水管理、江の設置などに取り組んだ農業者41件190.44haに対し、環境保全型農業直接支払交付金10,665千円を交付した。				
成 果	地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果のある営農活動を支援することで、環境保全の高い農業を推進することができた。				
課題・今後の方向性	環境保全の高い農業を推進するために、引き続き、農業者や生産者に対し、制度内容について分かりやすく説明するとともに、申請説明会などを開催し、取組者の増加に努める。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	柏崎産米ブランド化推進事業			決算書 掲載ページ	294
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	02	農業総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	15,913		13,821	0	2,092
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	10,000	3,821
目 的	柏崎産米のブランド化を推進するため、「安全・安心でおいしい柏崎産米」であることを認定する柏崎産米認証制度を活用し、有利販売による農業所得の向上を図る。				
取組内容・実績	<p>主なターゲットである関東圏に対し、イベント等での柏崎市認証米「米山プリンセス」の試食・試験販売を行うとともに、各種媒体を活用したPR活動を行った。また、将来的な販路拡大のため、卸・小売業、飲食業及び宿泊業者23社を訪問し、営業活動を行った。</p> <p>高温障害により、認証米は2,160kgと少量であったものの、ふるさと納税の返礼品には77件の申込みがあったことから、高付加価値ニーズが一定程度あることが確認できた。また、認証米に取り組む生産者に対しては、機械・機器等整備及び土壌づくりなどのハード支援を引き続き行った。</p>				
成 果	関東圏でのPRイベントでは、消費者からは味覚や風味について高評価を得ることができたが、収穫高も少なかったことから、バイヤーなど、いわゆるB to Bの観点からは、関心が薄いとの結果に至っている。また、著名人を通じ情報発信を試みたが、大きな反響はなかった。				
課題・今後の方向性	「米山プリンセス」が持つブランド力を明確にし、消費者層に訴求することに力を注ぐため、「米・食味分析鑑定コンクール全国大会」などの品評会に出展し、客観的な付加価値を備えることで他との差別化を図る。これにより、高付加価値米購買層への展開と、知名度向上へつなぐとともに、その産地である柏崎市のイメージ向上に連動させる。また、生産者と共に品評会を意識した組織体を創設し、オール柏崎で稼げる農業を目指す。				

事務事業名	柏崎市地域農業再生協議会支援事業			決算書 掲載ページ	294
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	02	農業総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,577		5,577	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	5,577
目 的	行政と農業団体等が連携して結成した協議会を支援し、管内の適切な栽培品種の選定や作付面積の管理を行う。また、経営所得安定対策や園芸作物への取組を推進し、農業者の所得確保を図る。				
取組内容・実績	柏崎市地域農業再生協議会において、対象作物の生産数量目標の設定、病虫害防除等の業務を実施した。				
成 果	水田フル活用ビジョンに基づき、販売需要を把握し、品種・銘柄ごとの米生産と水田転作による畑作物の生産量を設定して効率的な作物の生産が実施できた。				
課題・今後の方向性	品種・銘柄を含め稲作の生産数量を適正に設定し、農業者の所得向上を図る。そのために、関係機関により構成される協議会の機能強化を進める必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	経営所得安定対策推進事業			決算書 掲載ページ	294
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	02	農業総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	9,417	7,190	0	2,227	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	7,190	0	0	0	
目 的	経営所得安定対策の周知や申請業務等の農家支援により、加入の促進、生産数量目標の達成及び戦略作物の生産振興を図る。				
取組内容・実績	柏崎市地域農業再生協議会に対し、経営所得安定対策業務を支援するために、7,190千円の負担金を支出し、収入減少影響緩和対策などの申請等について、172件処理した。				
成 果	柏崎市地域農業再生協議会が、農業者の経営所得安定対策に係る申請・報告業務を支援することで、収入減少の補填を受けられたことにより、農業者の所得確保が図られた。				
課題・今後の方向性	経営所得安定対策推進事業を継続していくことで、農業者の農業所得の安定を図る。				

事務事業名	農林水産業総合振興事業			決算書 掲載ページ	298
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	32,975	22,533	0	10,442	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	22,533	0	0	0	
目 的	事業主体による農地集積、規模拡大等に対応する施設及び機械整備を行い、作業効率及び品質の向上を推進する。				
取組内容・実績	農業振興を図るため、新規就農者の育成や生産組合等が行う事業に対し、下記の補助金を交付した。 ・新規就農者資本装備支援 1件 1,939千円 ・農地所有適格法人設立支援 1件 8,879千円 ・優良種子生産体制整備支援 1件 7,166千円 ・地域農林業生産体制整備支援 2件 4,549千円				
成 果	トラクターやコンバインなどの機械・施設整備を支援することにより、新規就農者の育成や事業主体による、作業効率・生産性・農産物の品質向上に結び付いた。				
課題・今後の方向性	農業者の確保や所得・生産性・農産物の品質向上を図るために、その効果を検証しながら、支援を継続する。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	人・農地プラン推進事業			決算書 掲載ページ	298
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,095		286	0	809
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	275		0	0	11
目 的	地域農業の将来計画を定める人・農地プランの見直しを図り、担い手の確保と農地の集積・集約化を推進する。				
取組内容・実績	経営面積の拡大意向などをアンケートにより調査し、集落農地の図面化を行う、人・農地プランの「実質化作業」を進め、見直しを行った。 203集落 12プラン				
成 果	人と農地の問題について、集落内の話し合いにより、広域連携などの問題の共有化を図ることができた。				
課題・今後の方向性	農業者だけでなく、集落全体で話し合い、人・農地プランの実質化に向けた見直しを行い、集積・集約化を進める。				

事務事業名	食の地産地消啓発事業			決算書 掲載ページ	298
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	536		426	0	110
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	426
目 的	食の地産地消推進計画を実行するため、イベント等で周知啓発を実施して市民の地産地消への理解を深める。				
取組内容・実績	食の地産地消の推進を図るため、次のイベントを実施した。なお、食の地産地消推進店を新たに18店舗を追加し、合計44店舗になった。 ・食の地産地消フェア 25店舗参加 ・枝豆収穫体験 参加者数24人 ・カリフラワー収穫加工体験 参加者数11人 ・茎ワサビ収穫加工体験 参加者数20人 ・生産者と事業者によるマッチング会 2回開催 計18事業者				
成 果	各種イベントの開催により、市民の地場産食材への関心を深めることができた。また、マッチング会の開催により、生産者と事業者が地場産食材の取引に向けた情報交換を行うことができた。 食の地産地消推進店は、飲食店、直売所、食品製造業者での登録が増え、幅広い分野の店舗で地場産農林水産物をPRすることができた。				
課題・今後の方向性	今後も市民の食の地産地消への理解を深め、地場産農林水産物の利用を促進するため、イベントの開催や異業種とのマッチングなど、食の地産地消の周知及び啓発活動の継続的な取組が必要である。また、秋の収穫祭などを活用し、市外へ向けて地場産農林水産物をPRすることで、地産外消の推進を図る。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	機構集積協力金交付事業			決算書 掲載ページ	300
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	9,076		1,595	0	7,481
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,595		0	0	0
目 的	地域の中心となる経営体への農地集積を支援し、農業の競争力・体質強化を図り、持続可能な農業を実現する。				
取組内容・実績	人・農地プランにより位置付けられた地域及び中心経営体の支援を行うため、農地中間管理機構を活用して農地を貸し付けた地域及び個人に対して、次のとおり協力金を交付した。 経営転換協力金 11件 795千円 県へ返還した交付金 2件 800千円				
成 果	機構集積協力金を交付することにより、農地集積に協力する農業者が増加した。また、担い手への農地集積・集約が進み、経費節減による効率的な農業経営が図られ、農業所得の向上に結び付いている。				
課題・今後の方向性	地域と農業者に対して事業の周知を図り、より中間管理事業の活用による農地集約を進める必要がある。				

事務事業名	地域営農支援事業			決算書 掲載ページ	300
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,465		1,431	0	1,034
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,431
目 的	農業者の複合経営とほ場整備を推進し、農業組織体制の確保・育成を図る。				
取組内容・実績	農業者や農協に対し、営農組織の設立や施設整備の支援のため、補助金を交付した。 ・組織化支援 1件 事業費：72千円 補助金：56千円 ・園芸振興支援 2件 事業費：1,782千円 補助金：549千円 ・六次産業化支援 1件 事業費：1,067千円 補助金：494千円 ・U・Iターン者新規就農支援 2件 事業費：332千円 補助金：332千円				
成 果	機械導入、施設整備に対する補助金交付により、園芸振興、六次産業化を促進した。また、国の事業を活用して枝豆の出荷調整施設を建設したことで、園芸の産地化に向けた環境を整備することができた。				
課題・今後の方向性	枝豆の出荷調整施設が整備されたことにより、枝豆と玉ねぎを中心に園芸拡大に取り組み、複合経営を推進することで、農業者の所得向上を図る。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	青年就農支援事業			決算書 掲載ページ	300
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	16,500		12,750	0	3,750
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	12,750		0	0	0
目 的	経営が不安定な就農直後の5年間に交付金を支給することで、青年の就農意欲の喚起と、就農後の定着を図る。				
取組内容・実績	継続9件、新規採択1件、計10件の交付金を支給した。 ・1,500千円×7件=10,500千円(定額採択者) ・750千円×2件=1,500千円(前期で期間満了した者) ・750千円×1件=750千円(新規追加採択者)				
成 果	独立農業経営を開始して間もない農業者に対して、交付金を交付することで経営の安定化を図ることができた。				
課題・今後の方向性	新規農業経営者に対する就農当初の経営安定支援が必要であり、国庫補助事業の継続を要望するとともに、新規就農者の確保を図るため、事業の更なる周知を図る。				

事務事業名	農業施設改修事業			決算書 掲載ページ	302
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	39,352		38,996	0	356
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	10	38,986
目 的	農業用施設の適正な維持管理を行うため、修繕・工事を実施し、農業生産基盤の確保を図る。				
取組内容・実績	農林直轄施設の改修工事18件を実施した。 補修用機械借上30件、農業用施設原材料購入112件を実施した。				
成 果	市管理の農業用施設を改修することで、農業生産基盤の確保を図ることができた。				
課題・今後の方向性	経年劣化した農業用施設は、機能不全が生じないように維持管理する必要がある。本事業により農家負担は軽減されているが、町内会等の施設管理の担い手の人手不足により本事業利用者の減少が課題となってくる可能性があるため、事業のあり方について、今後検討していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	広域営農団地農道整備事業負担金			決算書 掲載ページ	304
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,500		7,350	0	150
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		7,200	0	150
目 的	広域的に農業生産基盤を整備し、生産された農産物を速やかに流通拠点や市場に輸送して、農業生産の物流の効率化を図る。				
取組内容・実績	柏崎3期として、農道工L=670m、測量試験一式を実施した。				
成 果	農業交通を円滑化し、生産の効率を向上することができた。				
課題・今後の方向性	令和2(2020)年度で事業完了する予定である。				

事務事業名	ほ場整備事業負担金			決算書 掲載ページ	304
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	183,572		148,572	35,000	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		99,900	0	48,672
目 的	農業生産性の向上と農地の利用集積を促進し、併せて担い手の育成を推進する。				
取組内容・実績	市内8地区(下田尻、高田中部、山室、高田南部、長嶺、五日市・内方、畔屋、本条)において、工事及び設計委託を実施した。市内4地区(黒滝、和田、山口、中鯖石南部)において、事業採択に向けた調査及び事業計画の策定を行った。				
成 果	農業生産基盤の整備により、生産性の高い農用地が拡大し、農業経営の安定・作業の効率化を図ることができた。				
課題・今後の方向性	事業要望が多く、採択待ちをしている地区を多く抱えていることから、年次計画を立てて事業を実施する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	中山間地域総合整備事業負担金			決算書 掲載ページ	304
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,500		2,800	700	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		2,000	0	800
目 的	農業生産基盤と農村環境基盤の整備を通じて、中山間地域の立地条件を活用した農業と活力ある農村づくりを推進し、地域における定住の促進、国土・環境の保全を目的とする。				
取組内容・実績	西山内郷地区において、排水路工・換地一式を実施した。				
成 果	西山内郷地区の農業生産基盤及び農村環境基盤の整備が進捗し、地域の活性化・環境改善を図ることができた。				
課題・今後の方向性	令和2（2020）年度で事業完了する予定である。				

事務事業名	ため池等整備事業負担金			決算書 掲載ページ	304
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	128,308		112,416	15,889	3
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		98,600	0	13,816
目 的	農業用水の安定供給を図るとともに、災害時等には農地や公共施設への被害を防止する。				
取組内容・実績	五日市大池地区で堤体工一式・護岸工L＝100m、矢田地区で水路工一式、鯖石川下流地区で排水路工一式、本村大池地区で堤体工L＝110mを実施した。日ノ入池地区・桐ノ木谷池地区で測量試験一式を実施した。				
成 果	ため池等の農業水利施設を改修することにより、用水確保や下流農地等の被害防止を図ることができた。				
課題・今後の方向性	防災減災事業であり、事業を進捗させるために、国県へ継続して要望する。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	県営かんがい排水事業負担金			決算書 掲載ページ	306
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	12,911		12,232	0	679
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		8,200	0	4,032
目 的	国営かんがい排水関連事業として、幹線水路の管理能力・老朽化による機能の低下を改善し、農業用水の均等配分、末端受益地までの円滑な用水供給や維持管理の省力化を図る。				
取組内容・実績	山口堰西側幹線水路で用水路工L=1,308.0m、用地買収一式、補償一式を実施した。藤井堰東江幹線水路で用水路工一式を実施した。				
成 果	国営事業計画と連携する幹線用水を整備し、安定した農業用水を確保することができた。				
課題・今後の方向性	事業進捗を図るために、関係機関と連携し、県に強く要望する。				

事務事業名	一般団体営土地改良事業			決算書 掲載ページ	306
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	20,206		20,202	0	4
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	20,202
目 的	営農団体の負担軽減と農業経営の安定化を図る。				
取組内容・実績	地元農業団体が実施した軽微な用排水路や農道等の修繕39件に対して、補助を実施した。				
成 果	農業生産基盤の整備、改修及び修繕に要する経費の補助をすることで、経費負担の軽減と農業経営の安定化に寄与することができた。				
課題・今後の方向性	農業用施設の老朽化が進んでいたり、突発的な修繕の必要が生じたり、多くの事業要望がある。事業の導入に際しては、優先順位を付けて、事業を実施する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	農用地高度化事業			決算書 掲載ページ	306
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	15,015		14,767	0	248
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	14,767
目 的	ほ場整備事業の実施されない地域における意欲ある農業者を支援し、担い手の確保と地域農業の維持を図る。				
取組内容・実績	農地区画の拡大集積や附帯施設の改良等の事業7件に補助金を交付した。				
成 果	農用地の小規模な基盤整備等による生産コストの低減や品質改良により、就農者の意欲向上や農業経営の安定化を図ることができた。				
課題・今後の方向性	事業の導入に際しては、ほ場整備事業導入の可能性について検討の上、ほ場整備事業の補完を前提として適用する必要がある。				

事務事業名	基盤整備促進事業			決算書 掲載ページ	306
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	36,575		35,530	0	1,045
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	27,115		0	0	8,415
目 的	用水路の老朽化に伴う漏水や不等沈下による末端受益地への用水量が取水できない状況であるため、用水路整備を実施し、農地及び担い手農家の維持・確保を図る。				
取組内容・実績	東江2号支線用水路 用水路工 L=583mの施行により施設機能が確保され、受益地に対する安定した用水供給が実現した。				
成 果	用水路の整備により施設機能が確保され、農業用水が安定したことにより、担い手の耕作意欲も増し、継続的に安定した農産物の生産に寄与することができた。				
課題・今後の方向性	農業者の高齢化が進行しており、今後の安定的な営農のためには、担い手を中心とした営農システムの確立及び効率化が不可欠であり、そのためにも担い手の確保が急務となっている。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	農村振興総合整備事業－上条			決算書 掲載ページ	306
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	177,954		158,202	19,690	62
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	105,705		21,100	0	31,397
目 的	各種整備事業により、農業生産性及び農村生活環境の改善・向上を目的とする。				
取組内容・実績	<p>【現年度予算】 排水路1路線の用地測量委託を実施した。また、集落道3路線の用地買収、物件補償を実施した。</p> <p>【繰越明許予算】 集落道1路線、排水路1路線の用地測量委託、集落道4路線の物件算定委託及び安全施設1路線の測量設計委託を実施した。また、集落道1路線の物件補償を実施した。</p>				
成 果	委託業務、用地買収及び物件補償の実施により、次年度以降の事業進捗に寄与することができた。				
課題・今後の方向性	上条地区の農村生活環境を早期に改善するため、関係機関と連携を図り、各種施設整備を実施する必要がある。				

事務事業名	農村整備事業			決算書 掲載ページ	306
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,100		4,840	0	260
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,680		0	0	3,160
目 的	農村地域の活性化を図るため、農業生産のための道路など環境整備を推進する。				
取組内容・実績	行兼2号集落道舗装改修(L=158.6m)を実施した。				
成 果	集落道1路線の改修が完了し、農村地域の集落環境整備を推進することができた。				
課題・今後の方向性	農道交通量の増加や経年劣化による道路の損傷が増え、継続的な補修工事を実施する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	土地改良施設維持管理適正化事業			決算書 掲載ページ	306
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	37,215		37,071	0	144
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	27,000	10,071
目 的	基幹農業水利施設の改修・補修により、施設の機能維持するとともに、耐用年数の延伸を図る。				
取組内容・実績	長嶺排水機場の排水ポンプの分解整備を実施した。				
成 果	施設改修の実施により、排水機場機能・能力を維持することができた。				
課題・今後の方向性	基幹農業水利施設の改修・補修により施設機能を維持するために、計画的に事業導入を検討する必要がある。				

事務事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業			決算書 掲載ページ	306
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,700		7,314	0	386
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	4,015		0	0	3,299
目 的	農業用排水路における水難事故への対策を行うことにより、農業用施設の減災対策の推進を図る。				
取組内容・実績	新道排水路脇の安全施設（転落防止柵L=170m）を改修した。				
成 果	住宅地に近接している大型排水路脇の転落防止柵の改修を行うことにより、減災対策の推進をすることができた。				
課題・今後の方向性	農業用施設の減災対策を推進するために、安全施設の改修を計画的に実施する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	団体営ストックマネジメント事業			決算書 掲載ページ	306
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	121,500		45,009	76,100	391
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	27,498		6,900	0	10,611
目 的	基幹農業水利施設の長寿命化により、施設の機能・能力を維持するとともに、耐用年数の延伸を図る。				
取組内容・実績	春日排水機場の下流側排水樋門ゲート、吐出樋管ゲート及び管理棟建屋の改修と、宮場排水機場のシャッター取替えを実施した。				
成 果	施設改修の実施により、排水機場機能・能力を維持することができた。				
課題・今後の方向性	基幹農業水利施設の長寿命化により、施設機能の維持をするために、計画的に事業導入を検討する必要がある。				

事務事業名	多面的機能支払交付金事業			決算書 掲載ページ	308
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	250,232		218,423	0	31,809
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	216,480		0	0	1,943
目 的	地域の農地・農業用水等の資源や、農村環境を保全するとともに、水路・農道等の農業施設の長寿命化を図る。				
取組内容・実績	95活動組織（121集落）に、農地・農業用施設及び農村環境の保全活動、水路・農道等の長寿命化の活動支援として交付金を交付した。 農地維持支払交付金 95組織 89,985千円 資源向上支払交付金 45組織 126,494千円				
成 果	各集落の活動組織の保全活動によって、農地・水路・農道・農業用施設が適正に管理され、長寿命化を図ることができた。				
課題・今後の方向性	高齢化による人手不足の状況により、農地等の保全活動が困難となっている活動組織が生じているため、活動組織の合併・広域化を進めていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	中山間地域等直接支払制度事業			決算書 掲載ページ	310
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	06	中山間地域振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	106,913		104,332	0	2,581
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	101,175		0	0	3,157
目 的	農業生産上の不利な条件の補正を目的とした農家等への補助金により、農業生産活動の維持を通じて耕作放棄地の発生を抑制し、多面的機能の確保を図る。				
取組内容・実績	27集落協定に対して、交付金を交付した。 交付対象面積742.3ha 101,175千円				
成 果	中山間地域の営農継続と耕作放棄地の発生防止を図ることができた。				
課題・今後の方向性	高齢化や人口減少が著しい中山間地域では、制度の継続又は新規取組が困難な集落があり、集落協定の広域化を図るなど農業生産活動が継続できるように支援する必要がある。				

事務事業名	森林病虫害防除事業			決算書 掲載ページ	314
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	02	林業費	担 当	農林水産課	
目	02	林業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,789		6,766	0	23
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	3,832		0	0	2,934
目 的	保安林の松くい虫被害の防除を実施し、被害の抑制を図る。				
取組内容・実績	無人ヘリ薬剤散布、地上薬剤散布業務33.5ha及び松くい虫被害木の伐倒駆除55.8㎡を実施した。				
成 果	保安林の松くい虫防除を実施して、被害の抑制を図ることができた。				
課題・今後の方向性	松くい虫被害を抑制するため、継続的に実施する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	森林整備地域活動支援交付金事業			決算書 掲載ページ	314
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	02	林業費	担 当	農林水産課	
目	02	林業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,080		1,741	0	339
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,306		0	0	435
目 的	間伐等の森林整備を推進するため、これに必要な森林経営計画作成等の活動を助成し、促進を図る。				
取組内容・実績	柏崎地域森林組合が事業主体となり、森林所有者と森林経営計画の促進40.69ha、森林境界の確認27.07haを実施した。				
成 果	森林経営計画が作成され、間伐等の森林整備の推進を図ることができた。				
課題・今後の方向性	集約化を図るためには、森林所有者の同意が必要になるが、不在地主が多くなっていることから、他課との連携を図る必要がある。				

事務事業名	林道整備事業			決算書 掲載ページ	314
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	02	林業費	担 当	農林水産課	
目	02	林業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	24,406		20,217	0	4,189
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	7,425		0	0	12,792
目 的	林道を整備することにより、林道利用者の通行の安全を確保するとともに、林業振興及び林道の利活用の推進を図る。				
取組内容・実績	県単補助事業を活用し、林道米山線・林道黒姫線・林道水上線の改良工事を実施した。林道橋点検を林道二の谷線ほか3路線で実施した。				
成 果	林道の整備を実施することにより、林業従事者の走行の安全を確保し、運搬等の作業効率も上がった。				
課題・今後の方向性	林道の改良・舗装に対する地域からの要望が多いため、林道の利活用を図ることができる路線に優先に整備する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	市有林造林事業			決算書 掲載ページ	314
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	02	林業費	担 当	農林水産課	
目	02	林業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,378		3,406	0	1,972
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	966		0	0	2,440
目 的	市有林について造林事業を行い、市民の財産として森林整備を推進する。				
取組内容・実績	市有林において下刈1.08ha、保育間伐・枝打ち2.0haの施業を実施した。また、主伐0.20ha、再造林0.40haを行い、新庁舎の議場で、使用する机・椅子に木材を提供した。				
成 果	森林整備を推進し、多面的機能及び市有財産の質的な向上が図ることができた。				
課題・今後の方向性	市有林の主伐に適した林齢50年生以上の人工林が60%以上を占めており、今後計画的に主伐、間伐を進めていく必要がある。				

事務事業名	造林事業補助金			決算書 掲載ページ	314
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	02	林業費	担 当	農林水産課	
目	02	林業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,700		6,565	0	135
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	6,565
目 的	市有林以外の民有林の下刈り、間伐等の造林事業への助成により、森林整備の推進が図られる。				
取組内容・実績	柏崎地域森林組合が行う民有林の造林事業に対して、新潟県の補助に加えて市が13.5%以内で補助金を交付する事業であり、施業面積56.18haを実施した。				
成 果	市有林以外の民有林の下刈り、間伐等の造林事業への助成により、森林整備の推進を図ることができた。				
課題・今後の方向性	今後とも、施業の集約化を行い、作業路の新設や林業機械の導入で省力化を図り、間伐等の森林整備を推進する。				

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	水産資源保護培養事業			決算書 掲載ページ	316
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	03	水産業費	担 当	農林水産課	
目	02	水産振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,808		1,786	0	22
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,786
目 的	海面漁業の生産増大と内水面の水産資源の維持を図り、水産資源の保護培養を推進する。				
取組内容・実績	柏崎市でヒラメの稚魚19,000尾、アワビの稚貝2,300個、アユの稚魚32,000尾を購入し、放流を行った。				
成 果	海面においては、各魚種安定した水揚げがあった。内水面においては、多くの釣り人が市内外から訪れた。				
課題・今後の方向性	新潟県全体の取組のため、今後も活動を継続し、資源管理を行っていく必要がある。				

事務事業名	農林水産業総合振興事業			決算書 掲載ページ	316
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	03	水産業費	担 当	農林水産課	
目	02	水産振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,942		1,792	0	150
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,379		0	0	413
目 的	漁船の修繕施設を更新することにより、作業時間の短縮等、漁業者のコストを削減を図る。				
取組内容・実績	新潟漁業協同組合柏崎支所所有の電動ウインチ更新に伴い、新潟県、柏崎市で費用の一部を補助した。				
成 果	補助金の交付により施設を更新した結果、漁業者の作業時間の短縮、利用料金の低減等が図られ、負担が軽減し、作業の効率化につながった。				
課題・今後の方向性	今後も共同で使用する必要な施設については、補助金等を交付することで負担を減らし、漁業者の減少を抑制する対策を行っていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	柏崎産水産物普及促進事業			決算書 掲載ページ	318
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	03	水産業費	担 当	農林水産課	
目	02	水産振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	2,081	2,023	0	58	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	887	0	0	1,136	
目 的	柏崎産農水産物を首都圏でPRすることにより、認知度向上を目指すとともに、販路拡大による生産者の所得向上を目指す。				
取組内容・実績	柏崎観光協会に委託し、11月23・24日に上野で柏崎の物産を用いたイベントを行った。また、米山プリンセスを首都圏のバイヤー23社に売り込み、販路開拓を図った。				
成 果	イベントは2日間で約1万人の来客があり、柏崎の物産を通じて柏崎のPRを行うことができた。販路開拓においては、成約には至らなかったが、今後の検討課題を認識することができた。				
課題・今後の方向性	今後も首都圏でのPRを続けるとともに、柏崎に来てもらい、柏崎の農水産物を知ってもらうツアー等の取組を検討していく必要がある。				

事務事業名	浜の活力再生プラン推進事業			決算書 掲載ページ	318
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	03	水産業費	担 当	農林水産課	
目	02	水産振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	600	600	0	0	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	300	0	0	300	
目 的	柏崎港おさかな祭を通して、水産業の振興と地域の活性化を図る。				
取組内容・実績	おさかな祭を実施し、約4,000人の来場者があった。				
成 果	イベントを開催し、柏崎産水産物を直売したことにより、市民や市外からの人に対して、水産物の認知度向上を図ることができた。				
課題・今後の方向性	更なる認知度向上のためにイベント内容、運営方法を検討していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	漁港整備補助事業			決算書 掲載ページ	318
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	03	水産業費	担 当	農林水産課	
目	04	漁港建設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	10,500		10,315	0	185
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	5,000		0	0	5,315
目 的	海岸保全施設の整備により浸食防止対策を実施し、背後住宅地の保全を図る。				
取組内容・実績	農山漁村地域整備交付金を活用し、海岸保全施設整備工事（L＝72.2m）を実施した。				
成 果	補助金の活用により、計画どおりの工事を実施することができ、施設の老朽化対策を図ることができた。				
課題・今後の方向性	今後、老朽化した施設が増加するため、優先順位を決め、計画的に事業に取り組んでいく必要がある。				

事務事業名	漁港整備市費事業			決算書 掲載ページ	318
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	03	水産業費	担 当	農林水産課	
目	04	漁港建設費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	119,935		118,775	0	1,160
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	118,775
目 的	漁港施設等の整備により、労働環境の改善など漁業活動の向上を図る。				
取組内容・実績	笠島漁港の浚渫工事（V＝3,000m ³ ）及び荒浜漁港消波ブロック制作工事（N＝45個）等を行った。				
成 果	工事を行ったことにより、漁港施設の適正な維持管理が図られた。				
課題・今後の方向性	施設の点検定期的に行い、損傷が大きくなる前に補修を行っていく必要がある。				

7款 商工費

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-3 歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる
	⑤-3-2 市民の主体的な文化活動を支援する

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2 『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	草生水まつり運営費			決算書 掲載ページ	324
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	西山町事務所	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	3,000	3,000	0	0	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
	0	0	0	3,000	
目 的	西山町地域の最大の夏のイベントであり、地域住民が心一つにして参加できるように祭りを運営する。				
取組内容・実績	令和元（2019）年8月17日に32回目のまつりを開催し、約5,500人が参加した。				
成 果	西山町地域最大の夏のイベントであり、市内外から多くの来場者でにぎわい、地域振興や地域の誇りを再認識することができた。				
課題・今後の方向性	実行委員の高齢化が進んでいるため、西山町地域最大のイベントを今後も継続していくために、開催方法や人材育成など検討する必要がある。				

事務事業名	地方産業育成資金貸付金			決算書 掲載ページ	324
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	2,900	2,900	0	0	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
	0	0	0	2,900	
目 的	資金調達を円滑にし、中小企業者等の振興を図る。				
取組内容・実績	中小企業者等の資金繰り需要に対し、県及び金融機関と協調融資を行った。 ・令和2（2020）年3月末貸付残高 2件 4,331千円				
成 果	県及び金融機関と連携し、市内企業の資金繰りの支援体制を整えることができた。				
課題・今後の方向性	県との協調制度融資として、県内の市町村で実施されており、中小企業者等の振興のため、継続して実施する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	中小企業等融資事業			決算書 掲載ページ	324
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,413,700		837,700	0	576,000
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	837,700
目 的	中小企業者等の資金繰りの安定と設備投資の促進を図る。				
取組内容・実績	<p>中小企業者等の資金繰り需要に対応し、金融機関と協調融資を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規借入実績 30件 307,210千円 ・令和2(2020)年3月末貸付残高 359件 1,906,554千円 				
成 果	中小企業者等の資金繰りを安定させ、設備投資を促進することができた。				
課題・今後の方向性	市内事業者の資金繰りを最優先に捉え、中小企業の存続、発展のため、現行の制度融資を継続して実施する必要がある。また、経済状況に即した適正利率を導入すべきか検討する必要がある。				

事務事業名	県信用保証協会負担金			決算書 掲載ページ	324
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	19,000		9,740	0	9,260
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	9,740
目 的	信用保証付き制度融資利用時に発生する保証料の負担を軽減し、中小企業者の資金繰りの安定を図る。				
取組内容・実績	<p>新潟県信用保証協会との契約により、制度融資ごとに定めた補給率に応じ、信用保証料の補給を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補給実施件数 100件 				
成 果	中小企業者等の保証料の負担を軽減し、資金繰りを安定させることができた。				
課題・今後の方向性	継続していく必要があるが、補給割合等については、融資制度に合わせて適宜見直しが必要である。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-1 商業の魅力を高める

事務事業名	制度融資利子補給金補助金			決算書 掲載ページ	324
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	9,301	7,185	0	2,116	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	7,185	
目 的	資金調達に掛かる負担を軽減することで、資金繰りの安定を図る。				
取組内容・実績	創業資金や設備投資促進資金を借り入れた事業者に対し、1年間に支払った利子額の一部を補給した。 ・創業資金利子補給 44件 1,489千円 ・設備投資促進資金利子補給 61件 5,696千円				
成 果	創業者の創業時の負担を軽減し、資金繰りを安定させることができた。				
課題・今後の方向性	継続していく必要があるが、補給率や補給条件については、制度融資に合わせて適宜見直しが必要である。				

事務事業名	商業活性化推進事業			決算書 掲載ページ	324
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	12,400	10,458	0	1,942	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	10,458	
目 的	商店街や商業団体の集客イベント事業、クーポン券事業及び創業者等の空き店舗等利活用を支援し、販売促進と商店街、商業の活性化を図る。				
取組内容・実績	あきんど協議会負担金及び商業活性化イベント補助金を支出し、中心商店街のイベントや新規需要創出を目的とした販売促進事業、空き店舗を利活用する創業者等の支援を行った。 ・はなまるクーポン事業 198店参加 ・空き店舗活用創業等支援事業 2店 ・創業者家賃補助金 1店 ・あきんど支援事業 5団体 ・需要創出支援事業 2団体				
成 果	はなまるクーポン、まちゼミ、ほんちようマルシェ等事業者及び市民にメリットのある企画により、市内商業の活性化を図ることができた。 あわせて、創業者支援やスキルアップにつながった。				
課題・今後の方向性	事業者及び商店街活性化を継続するために、負担金や補助金の現状維持が必要である。また、インターネットの普及等による消費行動の変化やキャッシュレス化、IT普及に対応した商業環境の構築が求められていることから、消費動向調査により新たな商業振興策を検討する。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-1 商業の魅力を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-2 起業・創業を支援する

事務事業名	商工団体支援事業			決算書 掲載ページ	326
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	9,447		9,447	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	9,447
目 的	中小企業・小規模事業者の伴走型経営支援を行う商工団体へ、その業界支援に資する事業に対し、補助する。				
取組内容・実績	柏崎商工会議所及び市内4商工会（西山町、高柳町、北条、黒姫）が独自に実施する商工業者振興事業を支援した。				
成 果	商工団体の事業実施を支援することで、柏崎市の商工業等の振興に寄与した。				
課題・今後の方向性	商工業者の持続的な事業継続は、地域生活に密着していることから、これを支える商工団体への支援継続は必要である。 また、各団体の会員を中心に補助制度の周知や事業協力を行う。				

事務事業名	創業支援事業			決算書 掲載ページ	326
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,244		2,931	0	2,313
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	2,931
目 的	創業について学ぶ場を設けるとともに、創業時に行う広告宣伝費を補助することにより、創業率の向上と事業継続性の向上を図る。				
取組内容・実績	柏崎信用金庫と柏崎・社長のたまご塾（創業塾）を共催するほか、柏崎商工会議所が実施する創業相談等へ補助を行った。また、創業者が行う広告宣伝事業及び改装事業に対し補助を行った。 ・柏崎・社長のたまご塾受講者数 20人 ・創業者支援補助金利用者 5人				
成 果	創業について学ぶ場を設けるとともに、創業時に行う広告宣伝費及び改装費を補助することにより、創業率の向上と事業の継続性の向上を図ることができた。				
課題・今後の方向性	創業者に対し、家賃等に係る経費の一部を補助する制度を新設するなど、創業しやすい環境整備を更に進める。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-1 商業の魅力を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-2 起業・創業を支援する

事務事業名	モーリエ駐車場整備事業			決算書 掲載ページ	326
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	48,120		36,185	11,120	815
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	36,185
目 的	改修工事を実施することで、施設の適切な維持管理と駐車場利用者の安全確保を図る。				
取組内容・実績	東面外壁改修工事を行った。				
成 果	施設の適切な維持管理と駐車場利用者の安全確保に寄与することができた。				
課題・今後の方向性	利用者の安全確保のため、経年劣化が激しい未改修の外壁工事など、必要な改修工事を行っていく必要がある。				

事務事業名	事業承継支援事業			決算書 掲載ページ	326
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	235		44	0	191
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	44
目 的	中小企業が培った経営資源を保全し、地域経済の持続性を高めるため、事業承継の重要性に対する経営者の意識を醸成するとともに、関係機関との連携による相談体制を確立する。				
取組内容・実績	予定していたセミナーは実施できなかったが、啓発用のチラシを事業者に配布した。				
成 果	チラシを配布することで、事業承継に向けた啓発を促すことができた。				
課題・今後の方向性	事業承継に関する内容は、デリケートな側面を持っているため、セミナー等の集合説明会への参加者数は増えにくい。新たな手法による事業展開が必要である。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	地域ブランドづくり支援事業			決算書 掲載ページ	326
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,000		2,000	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	2,000
目 的	地場产品及び特産品の開発力強化並びに販路拡大に取り組む中小企業者等に対し、商品の開発から販売までを総合的に支援し、地域ブランドづくりを促進する。				
取組内容・実績	かしわざき広域ビジネスネットワークが「N I I G A T A 未来プロジェクト」と連携して実施する、地域ブランドづくり支援事業へ補助金の交付を行った。柏崎市地域ブランド支援事業への応募は、4件であった。うち2件を採択した。				
成 果	市内事業者の商品ブランド化に寄与することができた。令和元（2019）年度は、「越後パナーナ」の生育期間からのメディア露出やネーミング、ロゴデザイン等を支援し、ブランド化を図った。				
課題・今後の方向性	事業展開に積極的な事業者へのPRを着実にいき、当事業の活用を促進する必要がある。				

事務事業名	工業振興事業			決算書 掲載ページ	328
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	27,485		16,790	0	10,695
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	16,790
目 的	柏崎技術開発振興協会の運営経費や新規取引先の開拓及び販路拡大に取り組む企業を支援し、企業の経営の安定化を図る。				
取組内容・実績	柏崎技術開発振興協会の事務職員1人の人件費を含む運営経費の一部を支援したほか、機械要素技術展への共同出展や企業単独で参加した10社に対する全国各地の見本市への出展料助成を行った。また、31社による先端設備等導入計画（導入設備54台、導入金額976,317千円）を認定したほか、年3%以上の労働生産性向上目標を達成した10社に対し、新たに創設したものづくりリーディングカンパニー成長投資助成金を交付した。				
成 果	受注開拓支援事業により地域経済を牽引する事業者を支援することで、受注拡大につながることができた。また、先端設備等の導入促進による生産性向上とともに、固定資産税の軽減措置や助成金の交付による負担軽減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	本市の基幹産業を担うものづくり企業の振興を図る上で、柏崎技術開発振興協会との連携は必要不可欠である。引き続き、同協会事業との連携を図るとともに、地域経済を牽引する意欲ある企業を支援し、産業全体の底上げを図る。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	産学連携支援事業			決算書 掲載ページ	328
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,180		1,112	0	68
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,112
目 的	製造業における産学共同研究の機運を醸成するとともに、建設業における専門的な知識の習得を支援し、企業の技術力強化を図る。				
取組内容・実績	柏崎技術開発振興協会の産学連携推進事業「ものづくり開発塾」を新潟工科大学との連携により実施し、製造現場で使うAI技術の体験講座に13社・21人（実技試技編は、6社・8人）が参加した。また、柏崎商工会議所の建設技術研究会の研修事業を支援し、9講座に延べ185人が参加した。				
成 果	建設業従事者の技術力強化が図られたほか、製造事業者の生産性向上や高付加価値化に資するデジタル技術に対する意識を高めることができた。				
課題・今後の方向性	デジタル技術を活用した高付加価値化の取組は、一部の企業の部分的な活用にとどまっているため、広く理解促進を図り、困難意識を払しょくする必要がある。				

事務事業名	人材育成支援事業			決算書 掲載ページ	328
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	13,291		8,912	0	4,379
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	5,996	2,916
目 的	機械金属系製造業を中心とした若手従業者に対する技能向上を図るとともに、学生に対するものづくりへの興味・関心を喚起し、本市基幹産業を担うものづくり企業に携わる人材の育成を支援する。				
取組内容・実績	機械金属加工を中心とした本市のものづくりの基盤技術の継承と若手人材の育成を目的とした「ものづくりマイスターカレッジ」を支援し、14人の技能士を輩出した。また、柏崎工業高校2年生によるインターンシップ（56社・140人）やデュアルシステム（6社・11人）を支援したほか、中小企業の積極的な人材育成を後押しするため、高度技術者育成推進助成金を創設し、11社・21人に対して資格取得費や研修受講料を助成した。				
成 果	ものづくり産業従事者の技能向上が図られたほか、若年層に対するものづくり産業への理解を深めることができた。				
課題・今後の方向性	ものづくり産業従事者の技能向上は、企業の競争力強化と技術伝承を図るために必要である。また、高校生を中心とした若年層の地元定着に向けた取組は、今後の少子化の流れにおいて、将来のものづくりを担う人材確保や企業活動の継続のためにも極めて重要である。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	新技術・新製品研究開発支援事業			決算書 掲載ページ	330
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	10,450		4,849	0	5,601
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	4,849
目 的	本市ものづくり企業が取り組む生産技術の高度化や新製品の開発、産学共同研究に対して、柏崎技術開発振興協会が実施する新技術・新製品研究開発支援事業を通じて支援することで、新たな受注や販路拡大を促し、企業の経営の安定化を図る。				
取組内容・実績	新産業の育成や次世代の産業競争力につなげるため、知的財産権取得支援助成金を4社延べ14件に対して交付したほか、経営基盤の強化や新たな産業分野への参入を目指す中小企業の成長を支援するため、国際規格認証取得支援助成金を創設し、3社に対して取得費用を助成した。また、柏崎技術開発振興協会が実施するものづくりチャレンジ支援事業を支援し、新製品開発を3件採択した。				
成 果	知的財産権取得に対する助成金に加え、自動車産業、航空宇宙産業、医療機器産業への参入に有効なISOセクター規格等の国際規格認証取得に対する助成金を創設し、社会的信用度の向上による競争力強化に寄与した。				
課題・今後の方向性	既存事業にとどまることなく、新たな技術を取り入れ、生産性を向上し、自ら提案できる企業への変革が今後の新しい事業や産業を生み出していく。こうした新たな事業展開に積極的に取り組む意欲ある企業を支援し、産業全体の生産性向上や競争力強化を図る。				

事務事業名	情報産業育成振興事業			決算書 掲載ページ	332
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	8,500		1,725	0	6,775
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	1,725	0
目 的	情報産業は成長産業の一つであり、子育て世代の女性などの就労の場として期待されていることから、新規事業の創出や技術者の育成を促進し、全国に通用する競争力を確立する。				
取組内容・実績	IT商品開発支援補助金を創設し、1社の商品開発を実現したほか、高度技術者育成推進助成金を1社・2人、知的財産権取得支援助成金を1社・5件に対して交付し、情報産業事業者を支援した。また、情報政策官によるIT経営・相談事業では、1社に対し、具体的なITコンサルティング案件を想定し、情報セキュリティに関する技術的助言等を行った。				
成 果	大学との連携による新商品開発、専門研修受講による人材育成が図ることができた。				
課題・今後の方向性	アフターコロナ、5Gなど、情報産業を取り巻く市場環境には大きな可能性があり、売上規模70億円の実現に向け、情報政策官と連携を図りながら、情報産業振興に努める。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	広域連携推進事業			決算書 掲載ページ	332
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,619		706	0	913
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	706
目 的	首都圏企業とのつながりがあり、生産技術に精通する広域連携推進員を配置し、首都圏企業との技術交流やビジネスマッチングにつなげ、販路拡大や経営基盤の強化を図る。				
取組内容・実績	大企業の開放特許を中小企業へ移転し、新製品開発や技術交流を支援する知的財産交流会を菓子製造業を対象に開催し、その後の試作研修会につなげるなど、新製品開発に取り組んだ。				
成 果	大企業の特許商品の活用により、新たな食感や風味を実現し、新製品開発の可能性を高めることができた。				
課題・今後の方向性	新製品の完成に向け、引き続き支援していく。				

事務事業名	廃炉産業調査研究事業			決算書 掲載ページ	332
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	805		648	0	157
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	648
目 的	将来的に必ず到来する廃炉時代を見据え、廃炉関連業務に対し、市内事業者の参入促進を図る。				
取組内容・実績	先進地事例の研究・視察を実施したほか、国、県、新潟工科大学、長岡技術科学大学、東京電力HD(株)、柏崎商工会議所及び市で構成する勉強会を立ち上げた。なお、事業者の意識醸成を図るためのセミナー開催を予定していたが、コロナウイルス感染症拡大に伴い、延期とした。				
成 果	勉強会設立が報道に大きく取り上げられたことにより、廃炉産業調査研究の取組を広く周知できた一方で、セミナーの延期により、産業界に対する意識醸成の機会を失うこととなった。				
課題・今後の方向性	勉強会において、廃炉産業に対する産業界の更なる意識醸成や参画促進に関する取組を検討する。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-3 企業誘致を進める

事務事業名	I o T推進事業			決算書 掲載ページ	332
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	3,000	3,000	0	0	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
	0	0	0	3,000	
目 的	ものづくり産業の競争力強化や人手不足・技術継承の課題を克服するため、I o T・AI技術導入や人材育成の促進を図る。				
取組内容・実績	柏崎市I o T推進ラボ協議会の運営を新潟工科大学地域産学交流センターと連携して行い、地元のI T専門家派遣を5社に対して延べ6件実施し、そのうち2件は推進ラボの補助事業であるI o Tステップアップ事業を活用し、製造現場におけるI o Tの実装を実現した。また、I T人材の育成のため、I Tパスポート試験対策講座を年2回(各10日間)開催し、49人の参加者のうち5人が国家資格を取得した。				
成 果	生産性向上や高付加価値化に資するデジタル技術の普及に向け、新潟工科大学とともに、地元I Tベンダー企業との協力体制を構築し、製造現場におけるI o T技術の実装を実現した。				
課題・今後の方向性	デジタル技術を活用した高付加価値化の取組は、まだまだ一部の企業の部分的な活用にとどまっているため、広く理解促進を図り、困難意識を払しょくする必要がある。				

事務事業名	企業立地事業			決算書 掲載ページ	332
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	153,221	74,811	0	78,410	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
	0	0	0	74,811	
目 的	柏崎フロンティアパーク等への企業立地を推進し、雇用の場の確保と地域経済・地域産業の活性化を図る。				
取組内容・実績	フロンティアパークへ引き合いのあった事業所に対し、企業訪問活動を行った(7社に対し、延べ19回)ほか、2社に対し土地取得費に対する助成金を交付した。				
成 果	前年度からの交渉案件を中心に誘致活動を行ったが、フロンティアパークにおける新規成約には至らなかった。一方、助成金の交付により、事業者の負担軽減による経営の安定化や事業拡大に寄与した。				
課題・今後の方向性	電気料金や用地取得への助成等、本市特有の優遇制度をセールスポイントに、フロンティアパーク等の工業団地や市所有遊休地への企業誘致活動を展開する。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	誘客宣伝事業（高柳町）			決算書 掲載ページ	334
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	高柳町事務所	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 （千円単位）	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,247		3,811	0	436
決算額の財源内訳 （千円単位）	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	3,811
目 的	高柳町地域の交流観光情報や魅力を適時・適切に発信するとともに、高柳町地域にある資源（観光施設・自然・イベント等）をいかした交流観光事業に取り組むことで誘客を図り、高柳町地域の振興及び活性化を総合的に展開していく。				
取組内容・実績	県外の各種団体との交流事業に取り組むとともに、じよんのび便りを発行し、地域の魅力発信を行った。また、高柳町観光協会と協働でイベント開催や観光案内、情報発信を行い、高柳町観光協会が行う誘客宣伝活動事業に係る経費の一部を補助した。				
成 果	各種団体との交流事業を継続的に実施することで、受入地域との交流促進が図られ、交流人口の拡大につなげることができた。また、地域内の情報を収集するとともに、市ホームページ等を活用し情報発信を行うことにより、市内外からの誘客を図ることができた。				
課題・今後の方向性	観光協会の統合、じよんのび便りの終刊、新型コロナウイルス感染症による観光需要の急減もあり、高柳町地域の観光及び誘客促進について関係団体も含め検討する必要がある。				

事務事業名	じよんのび村整備費			決算書 掲載ページ	336
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	高柳町事務所	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 （千円単位）	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	11,500		10,780	0	720
決算額の財源内訳 （千円単位）	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		9,300	0	1,480
目 的	施設を適切かつ計画的に整備改修することで、来訪者の安全を確保するとともに、施設の利便性・快適性を高め、満足度を向上させることで、入込客数の増加を図る。				
取組内容・実績	じよんのび村楽寿の湯において、浴場内の換気の不具合により、腐食・劣化が進む男女浴場仕切り壁、建具、換気設備等の改修工事を実施した。				
成 果	設備の改修により、利用者の利便性と安全性、施設の快適性を確保することができた。				
課題・今後の方向性	じよんのび村の施設・設備は、整備してから25年以上が経過しており、これまで、施設の安全性や快適性、各種法令との適合性の確保のために必要となった施設・設備の改修・修繕などに随時対応してきた。今後とも、計画的に改修等を行っていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	西山ふるさと公苑整備費			決算書 掲載ページ	338
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	西山町事務所	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,757		7,370	0	387
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		1,600	0	5,770
目 的	平成30(2018)年3月に、西山ふるさと館をリニューアルオープンし、観光客を受け入れる態勢が完了した。西山町を訪れた観光客等が、西山ふるさと公苑等の目的地に迷わず向えるように、分かりやすい案内看板を設置する。				
取組内容・実績	西山IC駐車場に西山ふるさと公苑ほか、主な観光施設等を紹介する看板を設置した。				
成 果	老朽化していた看板を、シンプルで分かりやすく、よく目立つ誘客促進が期待できる新しい看板に更新したことにより、観光客の誘客に寄与した。				
課題・今後の方向性	西山IC駐車場の看板は整備されたが、ほかにも国道116号線や県道に設置している看板も老朽化しているものが多い。効果的なサイン誘導を行うため、整理・統合も含め再整備し、誘客促進を行う必要がある。				

事務事業名	西山ふるさと公苑自主事業			決算書 掲載ページ	338
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	西山町事務所	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,153		3,653	0	500
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	3,653
目 的	産業振興と地域活性化の拠点づくりを目指すとともに、市民の情操を豊かにし、教養を高め、福祉の推進を図る。				
取組内容・実績	「西山さくらまつり」、「ふるさと祭り」のほか、「賑わい軽トラック市」、「新春のど自慢大会」など趣向を凝らしたイベントを始め、「パソコン講座」など教養講座にも取り組み、年間利用者は54,029人(平成30(2018)年度53,430人)であった。				
成 果	趣向を凝らしたイベント開催のほか、教養講座に取り組むなど市民の情操を豊かにし、教養を高めることができた。				
課題・今後の方向性	管理・運営が、令和2(2020)年度から指定管理者となったが、地元文化団体や小・中学校とも引き続き連携し、施設がにぎわい、地域の拠点施設となるよう効果的な自主事業を展開する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	地域活性化イベント支援事業			決算書 掲載ページ	342
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	3,300	3,300	0	0	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	3,300	
目 的	「かしわざき風の陣」及び「どんGALA!祭り」の両イベントの支援を行うことにより、海の柏崎のPR、中心市街地の活性化を図る。				
取組内容・実績	かしわざき風の陣実行委員会に1,800千円、どんGALA!祭り実行委員会に1,500千円の補助金を交付した。かしわざき風の陣は約6.0万人、どんGALA!祭りは約2.6万人の入込客があった。				
成 果	両イベントとも市内外から多くの来場があり、大いににぎわいを見せ、地域振興を図ることができた。				
課題・今後の方向性	今後とも地域振興を図るため、補助金の現状維持が必要であると考え、イベントを運営する組織の経済的な問題やマンパワーの低下が課題となっており、改めて効果の検証や本来の目的に発展するよう取り組む必要がある。				

事務事業名	海水浴場安全対策費			決算書 掲載ページ	342
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	13,810	13,810	0	0	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	13,810	
目 的	海水浴場の管理運営・安全対策のためライフセーバーを配置し、未然の事故を防止することにより、「安心・安全な海の柏崎」の環境整備を整える。				
取組内容・実績	市内15か所の海水浴場にライフセーバーを配置した。死亡・重症事故の発生を防止した。				
成 果	死亡等の重大事故の発生を予防できた。また、軽傷等の対応も的確に行い、海水浴場の安全を確保できた。				
課題・今後の方向性	これからの観光は「安全・安心」が前提であり、これまでライフセーバーとの連携により築き上げてきた柏崎の安全な海を更に徹底するため、現在、人材が不足するライフセーバーの確保が重要であり、必要な支援を行っていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	海水浴場環境整備費			決算書 掲載ページ	342
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	7,556	7,106	0	450	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	7,106	
目 的	海水浴場を安全に利用できるように、海岸清掃及び仮設トイレ等の設置を行い、環境整備を行う。				
取組内容・実績	海岸清掃の実施や仮設トイレを11基設置するなど環境整備を行った。令和元(2019)年度の海水浴入込客数は、573,660人であった。				
成 果	海水浴場内の清掃、管理を行うことで安全で安心して楽しめる環境を整備することができた。				
課題・今後の方向性	海水浴場の利便性向上と併せて、積極的な情報発信とこれまでの海水浴を中心とする観光からの転換に早急に取り組む必要がある。				

事務事業名	誘客宣伝事業			決算書 掲載ページ	344
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	9,414	7,771	0	1,643	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	1,124	0	0	6,647	
目 的	観光パンフレットの作成や、群馬県などの観光プロモーションの展開により、観光誘客を推進する。				
取組内容・実績	季節に合わせた観光ポスター及びパンフレットの作成に加え、群馬県高崎市をターゲットとし、高崎駅へのポスター掲示や、バスラッピングによるPRのほか、群馬県旅行業組合を対象とした市内モニターツアーを実施した。				
成 果	群馬県旅行業組合を対象とした市内モニターツアーを通じて、本市の認知度や施設などにおける必要な情報が伝わっていないなどの課題や今後の誘客活動の方向性を整理することができた。				
課題・今後の方向性	正確でリアルな情報発信と、個人、団体それぞれに必要な情報を明確にするための現状把握をしっかりと行う。また、これまでのイメージのみを伝えるポスター・パンフレットからWEBを中心とした情報発信に転換する。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	観光振興経費			決算書 掲載ページ	344
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	32,409		32,133	0	276
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	32,133
目 的	観光PRツール政策や観光関連団体への負担金を通じ、観光誘客を促進する。				
取組内容・実績	観光関連団体への負担金を通じ、連携を密にし、観光誘客を促進した。				
成 果	関係団体との連携により誘客活動を行ったことで、観光産業の活性化に寄与した。				
課題・今後の方向性	観光分野の一層の振興を図るため、行政と関係団体の連携の在り方や役割分担を検討する必要がある。				

事務事業名	広域観光推進事業			決算書 掲載ページ	344
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	12,090		11,860	0	230
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	4,995		0	0	6,865
目 的	地方創生推進交付金を活用し、中越地域の広域連携による周遊観光の促進及び交流人口の拡大につなげる。				
取組内容・実績	花火や紅葉を軸として、中越地域内で連携した誘客促進に取り組んだ。特に、海の大花火大会は、BS生放送が実施され、多くの方から視聴いただいた。				
成 果	海の大花火大会のBS生放送について、多くの方から視聴いただき、好評を博し、柏崎の花火を全国にPRすることができた。				
課題・今後の方向性	観光資源のブランド化と商品への転換を図るため、松雲山荘、飯塚邸、貞観園の周遊コースの開発などを積極的に進めていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	観光ひと・まちづくり支援事業			決算書 掲載ページ	344
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	13,587		12,932	0	655
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	12,932
目 的	新たな観光価値の創出や実施体制の強化等を図る取組に対し、補助金を交付することにより、本市の観光産業の発展及び誘客の促進を図り、中越沖地震からの復興を確実なものとする。				
取組内容・実績	新たな観光価値の創出に取り組む市内事業者に対し、11件、12,932,000円の交付決定を行った。				
成 果	観光事業に取り組む市内事業者に対し支援を行うことにより、補助の目的である、新たな観光価値の創出、観光産業の発展及び誘客の促進を図ることができた。				
課題・今後の方向性	当該年度限りの事業であったため、令和元(2019)年度に事業完了した。				

事務事業名	ぎおん柏崎まつり事業			決算書 掲載ページ	344
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	27,074		27,037	0	37
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	27,037
目 的	伝統イベントである「ぎおん柏崎まつり」を盛大かつ安全に実施する。				
取組内容・実績	ぎおん柏崎まつりを開催し、3日間の入込客数は、27万500人であった(マーチングパレード4千500人、民謡街頭流し1万人、たる仁和賀3万6千人、海の大花火大会22万人)。				
成 果	柏崎で最大のお祭りを盛大に開催することができた。				
課題・今後の方向性	ぎおん柏崎まつり全体の運営体制の見直し及び令和3(2021)年に延期された東京オリンピック・パラリンピックとの開催時期が重なることによる安全対策等の確保に努める。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	赤坂山公園観桜会管理運営費			決算書 掲載ページ	346
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,509		2,494	0	15
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	2,494
目 的	赤坂山公園に桜を楽しんでいただくためにライトやぼんぼりを設置し、公園利用者の増加と利便性の向上を図る。				
取組内容・実績	令和元(2019)年度のライトアップ期間中に13,640人の来場があった。				
成 果	多くの来場者から赤坂山公園の夜桜観覧をしていただくことができた。				
課題・今後の方向性	費用対効果を勘案し、令和2(2020)年度からライトアップを中止することとした。				

事務事業名	えんま市花市運営事業			決算書 掲載ページ	346
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	13,530		13,256	0	274
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	13,256
目 的	200年以上の歴史ある伝統行事で市民が楽しみにしている行事であり、市民が誇りと郷土愛を抱けるよう円滑で安全な開催を図る。				
取組内容・実績	えんま市来場者数：161,000人 花市来場者数：810人				
成 果	えんま市については、悪天候により最終日を中止することとなったが、事故の発生はなく、来場者が安心して楽しむことができた。				
課題・今後の方向性	来場者の安全確保や地域住民のニーズの変化に対応するため、会場設営や人員の配置を見直す必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	松雲山荘整備費			決算書 掲載ページ	348
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	26,594		24,177	0	2,417
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	11,475		9,400	0	3,302
目 的	本市の観光資源の柱の一つである松雲山荘の保全や環境整備を行い、施設の魅力の向上を図る。				
取組内容・実績	老朽化する園内のトイレの改修工事を行い、必要な環境整備を行った。				
成 果	老朽化する園内のトイレ改修など環境整備を行うことにより、園内の快適性の向上、来場者の利便性を図ることができた。				
課題・今後の方向性	計画的に園内及び付帯施設の整備を行い、松雲山荘の魅力をもっと高め、誘客につなげる。				

事務事業名	松雲山荘ライトアップ事業			決算書 掲載ページ	348
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,900		4,900	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	4,900
目 的	松雲山荘の紅葉を楽しんでいただくため、庭園内にライトを設置し、庭園来場者の増加を図る。				
取組内容・実績	庭園内にライトを設置し、幻想的な空間の演出及び来場者の安全の確保を図った。また、隣接する駐車場にはコンテナハウスを設置し、市内10店舗の出店があり、物産販売や観光案内を行い、約14,000人の方から御利用いただいた。 松雲山荘紅葉ライトアップ来場者数：24,498人				
成 果	柏崎市のお秋の観光の柱として、誘客促進を図ることができた。				
課題・今後の方向性	外部有識者や庁内関係部署を中心に、柏崎市の代表的なスポットである、松雲山荘、飯塚邸、貞観園を結ぶ観光ルートを新たに開発し、誘客を促進する。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	柏崎潮風温泉施設整備事業			決算書 掲載ページ	348
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,670		6,588	0	82
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	6,588
目 的	老朽化する市所有の温泉設備の修繕及び入替えを行うことにより、施設の長寿命化を図る。				
取組内容・実績	市所有の温泉設備のうち、老朽化が著しいガスセパレーター <small>べんぐら</small> の既設槽の解体及び更新、既設制御盤の修繕等を実施した。				
成 果	老朽化が著しい温泉設備の修繕及び入替えを行うことにより、施設の長寿命化を図ることができた。				
課題・今後の方向性	事業譲渡に伴う施設の再開について、注視する必要がある。				

事務事業名	風土食普及拡大・販売促進事業			決算書 掲載ページ	348
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	500		500	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	500
目 的	観光客の満足度を高めるため、柏崎産食材と地酒による「食」によって向上させるとともに、「食」をテーマとした情報発信等を進め、観光誘客の促進を図る。				
取組内容・実績	春の桜鯛シーズンに「四つ蔵飲み鯛晩酌セット」の実施及び市内の飲食店の情報を集めた専用のホームページを作成した。				
成 果	柏崎市の食の情報を集めた専用のホームページは、市内事業者の協力の下、食の情報のみならず、お店紹介を掲載するなど、食の情報発信の基盤づくりができた。				
課題・今後の方向性	市内事業者の機運を高める取組に加え、常にターゲットを意識した情報発信や取組を進めていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	イベント関連設備整備費			決算書 掲載ページ	350
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,836		1,836	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,836
目 的	県道東柏崎停車場線（東本町二丁目地内）の電線地中化に伴い、新設歩道にえんま市等で使用する配電盤を4か所設置する。				
取組内容・実績	県道東柏崎停車場線（東本町二丁目地内）の電線地中化に伴い、新設歩道にえんま市等で使用する配電盤を4か所設置した。				
成 果	配電盤を設置することにより、えんま市等で使用する電気を安全で安定的に供給することができた。				
課題・今後の方向性	来場者の安全確保や地域住民のニーズの変化に対応するため、引き続き必要な環境整備を行う。				

事務事業名	かしわざき魅力再発見・誘客推進事業			決算書 掲載ページ	350
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	209		57	0	152
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	57
目 的	市内を訪れる観光客の長期滞在と満足度向上に加え、市民がボランティアガイドに参加することで、自身の住むまちの魅力を再確認することを目的とする。				
取組内容・実績	ボランティアガイドによる松雲山荘ライトアップ時のガイドや、養成講座を実施した。 松雲山荘ライトアップ時のボランティアガイド：延べ94人 ボランティアガイド養成講座参加者：9人				
成 果	ボランティアガイドによる松雲山荘ライトアップ時のガイドを行うことにより、観光客の満足度の向上を図ることができた。				
課題・今後の方向性	ボランティアガイドの人員確保に加え、更に観光客の満足度を高めるため、スキルアップを目指す必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	インバウンド推進事業			決算書 掲載ページ	350
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,000		2,000	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,000		0	0	1,000
目 的	外国人旅行者の誘客促進を図るとともに、インバウンドの取組を通して、地域経済の活性化を図る。				
取組内容・実績	台湾をターゲットに、商談会の参加や専門情報サイトなどへの積極的な情報発信に加え、今後のインバウンドの取組をより効果的なものとするため、市内約500社を対象にアンケート調査を実施し、現状や課題の把握を行った。				
成 果	積極的な情報発信により、本市の認知度を高め、高柳町荻ノ島地域への団体旅行を誘致することができた。				
課題・今後の方向性	新型コロナウイルス感染症の拡大による誘客の減少のほか、収束後における旅行スタイルの変化を的確に把握し、より効果的な取組を見いだす必要がある。				

事務事業名	海の柏崎PR事業			決算書 掲載ページ	350
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,120		5,083	0	37
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	5,083
目 的	海水浴を中心とした夏季の観光PRを強化し、新しい海の過ごし方を見出し、誘客促進を図る。				
取組内容・実績	番神自然水族館体験メニューの実施、長野駅を中心とした海のPRを積極的に展開した。				
成 果	番神自然水族館体験メニューについては、2年目を迎え、428人が参加し、平成30(2018)年度と比較し、129.3%増の入込みとなった。				
課題・今後の方向性	これまでの海水浴を中心とする観光からの転換に早急に取り組む。特に、みなとまち海浜公園海岸部でのアウトドアレジャーの環境整備や、柏崎観光交流センター(夕海)の活性化、海水浴場の特色や魅力を積極的に発信していくこととする。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	観光ビジョン策定経費			決算書 掲載ページ	350
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	770	117	0	653	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	117	
目 的	柏崎市の観光における諸課題を改めて認識し、新しいことに挑戦する意欲を持って進むため、「柏崎市観光ビジョン」を策定し、今後の進むべき方向性や目標を明確にする。				
取組内容・実績	観光ビジョンの骨子を作成し、諸課題の整理、将来の目標及び基本戦略並びに今後の進むべき方向性をまとめた。				
成 果	観光ビジョンの基礎となる諸課題の整理、将来の目標及び基本戦略並びに今後の進むべき方向性を骨子としてまとめることができた。				
課題・今後の方向性	骨子に基づき、計画期間内に優先して取り組む事業や目標指標を定めるとともに、新型コロナウイルス感染症の影響からの再生に向けた取組を見いだす必要がある。				

8 款 土木費

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

事務事業名	空き家対策事業			決算書 掲載ページ	360
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	01	土木管理費	担 当	建築住宅課	
目	02	建築費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	12,737	9,296	0	3,441	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	1,076	0	0	8,220	
目 的	特定空家等の適正管理を促し、空き家等の利活用を推進することにより、市民の生命及び財産の保護並びに良好な生活環境の保全を図る。				
取組内容・実績	適正管理に係る助言指導を41件、勧告を20件、代執行を1件実施した。活用事業として空き家バンクの登録件数17件のうち、9件の成約実績があり、空き家リフォーム補助金を9件、家財道具処分補助金を7件交付した。				
成 果	空き家リフォーム補助金の交付及び空き家バンクの成約により、空き家を利活用することができた。また、行政指導により特定空き家を削減し、良好な生活環境を保全することができた。				
課題・今後の方向性	引き続き所有者に対し適正な行政指導を行っていく必要があるが、市が対応せざるを得ない空き家の発生が懸念される。管理者意識を醸成するために、適切な情報提供や広報活動を行っていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-2 自然災害に備えた対策を進める

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-2 自然災害に備えた対策を進める

事務事業名	木造住宅耐震改修費補助金交付事業			決算書 掲載ページ	362
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	01	土木管理費	担 当	建築住宅課	
目	02	建築費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	1,000	1,000	0	0	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	575	0	0	425	
目 的	地震による住宅等の被災を教訓とし、地震に強いまちづくりを推進するため、木造住宅の耐震化を進め、倒壊等の被害を未然に防止する。				
取組内容・実績	地震時における住宅の倒壊等を防止するため、木造住宅の耐震改修を実施した1件に対し、補助金を交付した。				
成 果	耐震改修を実施することで、地震に強いまちづくりを進めることができた。				
課題・今後の方向性	市民の地震に対する意識が希薄となっている上に、既存住宅を住み継ぐ人が減少しており、将来を見越しての耐震改修ができない状況になりつつある。今後、耐震化の重要性和事業の周知方法を更に検討し、耐震化を進めていく必要がある。				

事務事業名	木造住宅耐震診断費補助金交付事業			決算書 掲載ページ	362
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	01	土木管理費	担 当	建築住宅課	
目	02	建築費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	280	280	0	0	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	172	0	0	108	
目 的	地震に強いまちづくりの推進のため、旧耐震基準の木造住宅に対し、耐震診断を推進する。				
取組内容・実績	耐震の重要性和制度の周知のため、地域を限定して個別訪問を行い、木造住宅の耐震診断を実施した4件に対し、補助金を交付した。				
成 果	耐震診断を実施することで、所有者への意識啓発が行われ、地震に強いまちづくりを進めることができた。				
課題・今後の方向性	市民の地震に対する意識が希薄となっている上に、既存住宅を住み継ぐ人が減少しており、将来を見越しての耐震改修ができない状況になりつつある。今後、耐震化の重要性和事業の周知方法を更に検討し、耐震化を進めていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-2 安全な道路網を確保する

事務事業名	住まい快適リフォーム事業			決算書 掲載ページ	362
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	01	土木管理費	担 当	建築住宅課	
目	02	建築費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	47,000		46,473	0	527
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	46,473
目 的	市民が快適に安心して暮らせる居住環境の維持及び向上を図るとともに、移住定住の促進、地域経済の活性化を図る。				
取組内容・実績	個人住宅のリフォーム工事を行う者に対し、283件の補助金を交付し、その内子育て世帯分14件、二世帯分31件に対し上乗せ分の補助金を交付した。				
成 果	個人住宅のリフォーム工事が進むことにより、市民の住環境の向上及び地域経済の活性化につなげることができた。また、補助対象範囲を拡大する補助要綱改正を行い、多くの市民が利用できる補助制度とした。				
課題・今後の方向性	市民の生活環境の向上と地域の経済効果に寄与する事業であるため、今後も継続していく必要がある。				

事務事業名	道路管理費			決算書 掲載ページ	366
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	維持管理課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	157,253		150,575	0	6,678
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	521	150,054
目 的	道路施設を適正に管理することにより、安全・安心なまちづくりを推進する。				
取組内容・実績	約1,167kmの市道に係る維持管理（補修）を業者委託により実施した。				
成 果	業務委託体制により、迅速に安心・安全な道路交通を確保した。				
課題・今後の方向性	安心・安全な道路交通を確保するため、今後とも事業を継続する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-2 安全な道路網を確保する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

事務事業名	道路修繕事業			決算書 掲載ページ	366
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	維持管理課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	323,000		304,041	15,000	3,959
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		7,100	30,000	266,941
目 的	道路施設の適切な管理により、安全・安心なまちづくりの推進を図る。				
取組内容・実績	老朽化した道路施設（側溝等）の補修を150件実施した。				
成 果	道路施設（側溝等）を補修し、安全・安心な道路交通を確保した。				
課題・今後の方向性	安心・安全な道路交通を確保するため、今後とも事業を継続する必要がある。				

事務事業名	消融雪施設整備事業（社会資本整備総合交付金事業）			決算書 掲載ページ	370
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	維持管理課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	141,000		140,547	0	453
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	83,147		16,700	0	40,700
目 的	冬期間においても安全で安定した生活道路の通行を確保する。				
取組内容・実績	老朽化した消融雪施設の補修工事として、消雪パイプ打換工事（7件）、消雪用井戸さく井工事（2件）を実施した。				
成 果	消融雪施設を更新し、安全で安定した生活道路の通行を確保した。				
課題・今後の方向性	冬季間における道路交通を確保するため、今後とも事業を継続する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

事務事業名	小型除雪機購入費補助金			決算書 掲載ページ	370
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	維持管理課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,500		2,588	0	1,912
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	2,588
目 的	市道除雪路線となっていない生活道路について、冬期間地域住民が行う除雪を支援し、安全で安定した通行を確保する。				
取組内容・実績	町内会など地域が購入した小型除雪機5台に対する補助を実施した。				
成 果	購入した小型除雪機により地域住民が除雪を行ったことで安全で安定した生活道路の通行を確保した。				
課題・今後の方向性	地域住民が行う市道除雪路線でない生活道路の除雪を支援するため、今後とも事業を継続する必要がある。				

事務事業名	冬期集落安全・安心確保対策事業（ソフト事業）			決算書 掲載ページ	370
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	維持管理課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,200		6,004	0	196
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	3,002		0	0	3,002
目 的	過疎化・高齢化が深刻な集落の地域克雪コミュニティ活動を支援し、安全・安心な冬期生活の確保を図る。				
取組内容・実績	高柳、中通、別俣、鶴川地域の11地区18集落に対し、生活道路の除排雪（圧雪）作業、高齢者世帯等の除排雪作業等の雪処理対策を業務委託した。				
成 果	冬期間における、生活道路の除排雪（圧雪）作業、高齢者世帯等の除排雪作業等の雪処理対策により、安心・安全を確保した。				
課題・今後の方向性	過疎化・高齢化が進む集落の冬期生活を確保するため、今後とも事業を継続する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-2 安全な道路網を確保する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-2 自然災害に備えた対策を進める

事務事業名	交通安全施設修繕事業			決算書 掲載ページ	370
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	維持管理課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	74,500		73,652	0	848
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		28,400	0	45,252
目 的	事故を未然に防止するため交通安全施設等を補修し、道路交通の安全・安心を図る。				
取組内容・実績	老朽化した交通安全施設を補修した。 ・区画線設置工事5件 ・道路照明設置工事17件 ・防護柵設置工事9件				
成 果	交通安全施設を補修し、安全・安心な道路交通を確保した。				
課題・今後の方向性	交通安全を確保するため、今後とも事業を継続する必要がある。				

事務事業名	道路防災対策事業（社会資本整備総合交付金事業）			決算書 掲載ページ	370
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	維持管理課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	45,000		43,889	0	1,111
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	24,706		0	0	19,183
目 的	集中豪雨や地震時の被害を未然に防止し、交通の確保を図る。				
取組内容・実績	道路防災工事として、雪崩予防柵設置工事を1件、トンネル修繕工事を1件実施した。				
成 果	道路法面等の防災対策工事を実施し、安全・安心な交通を確保した。				
課題・今後の方向性	増加する災害に備え、今後とも事業を継続する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-1 社会基盤を機能的に整備する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-1 社会基盤を機能的に整備する

事務事業名	道路新設改良市費事業			決算書 掲載ページ	372
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	都市整備課	
目	03	道路新設改良費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	62,378		60,131	0	2,247
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	5	60,126
目 的	主に集落内生活道路の改良事業を実施するとともに、改良予定路線の調査・測量設計を実施し、生活環境の整備や交通の安全を向上させる。				
取組内容・実績	次の事業を実施した。 ・市道柏崎11-87号線ほか10路線の路線測量 ・市道柏崎10-158号線ほか1路線の用地測量 ・市道柏崎10-158号線ほか2路線の用地買収				
成 果	道路環境が改善されたことにより、沿線住民の利便性が向上し、安全性の確保を図ることができた。				
課題・今後の方向性	未改良区間が多く残っていることから、事業を継続して実施する必要がある。				

事務事業名	道路新設改良地方道路等整備事業			決算書 掲載ページ	372
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	都市整備課	
目	03	道路新設改良費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	364,100		353,144	0	10,956
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		60,500	0	292,644
目 的	主に集落内生活道路や集落と集落を結ぶ道路の改良事業を実施し、生活環境の整備や交通の安全を向上させる。				
取組内容・実績	次の事業を実施した。 ・市道柏崎11-159号線ほか13路線の道路拡幅工事 ・市道柏崎11-159号線ほか13路線の用地買収 ・市道柏崎11-159号線ほか8路線の物件補償				
成 果	道路環境が改善されたことにより、沿線住民の利便性が向上し、安全性の確保を図ることができた。				
課題・今後の方向性	未改良区間が多く残っていることから、事業を継続して実施する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-1 社会基盤を機能的に整備する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-2 安全な道路網を確保する

事務事業名	道路新設改良電源立地地域対策交付金事業			決算書 掲載ページ	372
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	都市整備課	
目	03	道路新設改良費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	225,657		201,653	0	24,004
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	153,200		0	15,129	33,324
目 的	幹線となる道路の改良事業を実施することで幹線道路ネットワークを整備し、生活環境及び交通の安全を向上させる。				
取組内容・実績	次の事業を実施した。 ・市道柏崎7-8号線ほか3路線の道路改良工事 ・市道柏崎7-8号線道路改良工事に関連する物件補償 ・市道柏崎7-8号線の用地買収				
成 果	道路改良を行うことで、幹線道路ネットワークの整備が進み、市民の安全性及び利便性が向上した。				
課題・今後の方向性	幹線道路は、災害時の避難経路として重要であるため、未整備区間を計画的に整備する必要がある。				

事務事業名	橋りょう修繕事業			決算書 掲載ページ	372
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	都市整備課	
目	04	橋りょう維持費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	253,334		222,272	23,200	7,862
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	110,095		62,600	0	49,577
目 的	歩行者や車両の通行に危険を及ぼす橋りょうの損傷の対策を検討し、修繕工事により、橋りょうの健全な維持管理を図る。				
取組内容・実績	次の事業を実施した。 ・市道柏崎2-3号線中央跨線橋ほか19橋の修繕工事 ・市道柏崎8-156号線上茅原橋ほか108橋の点検 ・市道柏崎16-77号線臨港笠島橋ほか7橋の修繕設計				
成 果	橋りょう修繕により、通行の安全確保及び第三者被害の未然防止を図ることができた。				
課題・今後の方向性	安全の確保及び第三者被害を防止するため、今後とも事業を継続する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-2 自然災害に備えた対策を進める

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-1 社会基盤を機能的に整備する

事務事業名	河川施設修繕事業			決算書 掲載ページ	374
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	03	河川費	担 当	維持管理課	
目	02	河川管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	15,012	13,978	0	1,034	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	13,978	
目 的	河川の安全性の確保と浸水害の軽減を図るため、修繕や工事を実施し、河川の機能を維持する。				
取組内容・実績	磯浦川など河川施設修繕を4件実施したほか、諏訪川護岸補修などの機械借上事業を15件、二田後谷川など河川施設補修工事を6件実施した。				
成 果	河川の機能維持と安全を確保するため、修繕及び工事を実施し、浸水被害を軽減した。				
課題・今後の方向性	老朽化する施設の保全及び浸水被害軽減のため、今後とも事業を継続する必要がある。				

事務事業名	街路事業市費事業			決算書 掲載ページ	380
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	05	都市計画費	担 当	都市政策課	
目	02	まちづくり事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	8,733	8,593	0	140	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	8,593	
目 的	幹線道路のネットワーク整備や災害時の避難路・輸送路確保のため、街路の未整備区間の整備促進を図る。				
取組内容・実績	日吉町桜木町線（比角工区）の暫定改良舗装工事及び宝田北斗町線の測量業務委託を実施した。				
成 果	日吉町桜木町線（比角工区）の歩行者の安全性向上と宝田北斗町線の事業進捗を図ることができた。				
課題・今後の方向性	都市計画道路の事業化には多くの課題があるが、実施可能な手法を検討するなど、今後も優先度の高い路線区間から整備を進める必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

事務事業名	都市公園整備事業			決算書 掲載ページ	382
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	05	都市計画費	担 当	都市政策課	
目	04	公園管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	64,700		62,128	0	2,572
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	9,600		8,600	0	43,928
目 的	老朽化した都市公園施設の更新を実施することで安全で安心して利用できる公園を整備する。				
取組内容・実績	白竜公園の寿広場再整備工事及び八坂公園ほか4公園の施設更新工事を実施した。				
成 果	公園施設長寿命化計画に基づいた計画的な更新工事を実施することにより、公園施設の安全性確保と利便性向上を図ることができた。				
課題・今後の方向性	都市公園施設は建設後40年以上経過し、老朽化が進んでいる施設が多いことから、公園施設長寿命化計画に基づき、計画的に施設の改築更新を行う必要がある。				

事務事業名	都市公園管理事業			決算書 掲載ページ	382
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	05	都市計画費	担 当	維持管理課	
目	04	公園管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	55,531		52,853	0	2,678
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	17	52,836
目 的	安全で安心して利用できるように、公園施設の維持管理を行う。				
取組内容・実績	シルバー人材センター、民間事業者及び町内会等に業務を委託し、26か所の都市公園等の清掃や除草、設備の保守及び警備等を実施した。				
成 果	公園施設の維持管理を行い、安全かつ安心して利用できる公園を提供した。				
課題・今後の方向性	憩いの場を提供する公園の維持管理であり、今後とも事業を継続する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-3 美しい自然を守る

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-3 美しい自然を守る

事務事業名	柏崎・夢の森公園施設整備事業			決算書 掲載ページ	384
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	05	都市計画費	担 当	都市政策課	
目	06	柏崎・夢の森公園事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,500		2,129	0	371
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	2,129	0
目 的	公園の安全性を確保するため、修繕や工事を実施し、施設の機能を維持する。				
取組内容・実績	沈下した駐車場の舗装補修工事や園路の排水を改善するための側溝設置工事を実施した。				
成 果	公園の不具合箇所を整備することにより、公園の利便性向上を図ることができた。				
課題・今後の方向性	柏崎・夢の森公園は開園から10年以上が経過し、施設・設備の老朽化が進んでいることから、大規模修繕も踏まえた修繕・更新計画を策定する必要がある。				

事務事業名	柏崎・夢の森公園施設管理費			決算書 掲載ページ	386
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	05	都市計画費	担 当	維持管理課	
目	06	柏崎・夢の森公園事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	73,877		73,877	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	58,247	15,630
目 的	自然との共生への気付きの場を提供するとともに、公園の安全な利用を促進するため、指定管理者に施設の管理を代行させ、集客を図る。				
取組内容・実績	環境学校プログラム内容の工夫や各種イベントの実施及び市民協働による雑木林の再生などの里山環境の復元や動植物の保全管理を実施した。				
成 果	カキツバタを目玉とした集客や指定管理者制度導入5年間の取組の成果として来園者が過去最高となり、市内外のお客様に安全・安心な憩いの場を提供した。				
課題・今後の方向性	柏崎・夢の森公園は開園から10年以上が経過し、施設・設備の老朽化が進んでいることから、大規模修繕も踏まえた修繕・更新計画を策定する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-3 美しい自然を守る

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

事務事業名	柏崎・夢の森公園施設整備事業			決算書 掲載ページ	386
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	05	都市計画費	担 当	維持管理課	
目	06	柏崎・夢の森公園事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,600		3,945	0	655
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	3,945	0
目 的	公園の安全性を確保するため、修繕や工事を実施し、施設の機能を維持する。				
取組内容・実績	柏崎・夢の森公園エコハウス排煙窓修繕等を2件実施した。				
成 果	施設の修繕を実施し、公園の機能と安全を確保した。				
課題・今後の方向性	老朽化による施設の損傷が増加しており、今後とも事業を継続する必要がある。				

事務事業名	市宮松波町住宅C号棟改修事業			決算書 掲載ページ	388
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	06	土木管理費	担 当	建築住宅課	
目	02	建築費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	147,307		143,092	0	4,215
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	47,211		0	0	95,881
目 的	公営住宅等長寿命化計画に基づき、耐久性、断熱性、居住性の向上及び高齢者対応を図る。				
取組内容・実績	屋上防水、外壁改修、外部サッシの複層化、サンルーム床段差解消、階段室床防滑化、手すりの設置の工事を実施した。				
成 果	屋上防水等による耐久性の向上、外部サッシの複層化による断熱性の向上を図った。また、サンルーム床段差解消、階段室床防滑化及び手すりの設置により、居住性の向上及び高齢者対応を実施した。				
課題・今後の方向性	公営住宅等長寿命化計画の改定年度のため、ライフサイクルコストの削減を図るとともに、公営住宅のストック状況を考慮した計画及びそれに基づく工事が必要である。				

9 款 消防費

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	分団活動費			決算書 掲載ページ	396
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	消防総務課	
目	02	非常備消防費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	10,174	9,368	0	806	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	9,368	
目 的	柏崎市消防団を構成するラッパ隊、女性消防隊、6方面隊及び19の分団が消防団活動をするにより、地域の安全・安心に貢献する。				
取組内容・実績	分団運営に係る経費を執行するとともに、柏崎市小型ポンプ操法競技会、柏崎刈羽地区支会消防研究大会、各方面隊消防演習及び出初め式を開催した。				
成 果	柏崎市消防団を構成するラッパ隊、女性消防隊、6方面隊及び19の分団がそれぞれの立場で活動することができ、地域の安全・安心に貢献することができた。				
課題・今後の方向性	柏崎市消防団がそれぞれの活動、組織運営をできるよう今後も継続していく必要がある。				

事務事業名	消防機械器具整備事業			決算書 掲載ページ	398
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	消防総務課	
目	03	消防施設費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	19,682	17,981	0	1,701	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	471	0	0	17,510	
目 的	消防組織法に基づき組織した消防団が災害発生時に対応できるよう老朽化した機械器具を更新するとともに、必要な機械器具を整備する。				
取組内容・実績	消防用ホース乾燥機1台、消防用ホース45本、背負い式手動ポンプ6個、ホースブリッジ3組及びチェーンソー19台を購入した。				
成 果	消防団が災害に対応できる態勢を整備することができた。				
課題・今後の方向性	今後も老朽化した消防用ホース等の消防機械器具等を更新していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	消防団車両整備事業			決算書 掲載ページ	398
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	消防総務課	
目	03	消防施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	21,340		20,900	0	440
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		15,200	0	5,700
目 的	消防組織法に基づき組織した消防団が災害発生時に対応できるよう老朽化した積載車を更新する。積載車の更新と同時に小型動力ポンプも更新し、一体的な管理を行う。				
取組内容・実績	小型動力ポンプ付積載車3台（普通車両1台、軽車両2台）を更新した。				
成 果	突然の災害への対応や災害予防などの消防団活動を支障なく行うことができた。				
課題・今後の方向性	今後も消防積載車は更新していかなければならないが、消防団員数、財政状況を踏まえ、保有台数も含めた更新時期等を見直していく必要がある。				

事務事業名	消防団育成助成事業			決算書 掲載ページ	398
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	消防総務課	
目	03	消防施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,199		915	0	284
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	900	15
目 的	(一財)自治総合センターのコミュニティ助成事業（地域防災組織育成助成事業）助成金の活用により、消防団活動で使用する備品を整備する。				
取組内容・実績	ミスト扇風機3台及び発電機2台を購入した。				
成 果	夏季の屋外活動等において使用し、熱中症の予防等に役立てることができた。				
課題・今後の方向性	今後も助成金を活用して備品の充実を図り、消防団員の確保につなげる必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	防火水槽整備事業			決算書 掲載ページ	398
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	消防総務課	
目	03	消防施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	33,782		33,329	0	453
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		32,000	0	1,329
目 的	水道管の敷設脆弱な地区を含め、地震時に対応可能な耐震性のある貯水槽を計画的に設置することにより、住民に安心感を与えるとともに、消防団を含めた消防機関の強固な火災防御体制を構築する。				
取組内容・実績	防火水槽新設2か所（米山町、西山町長嶺）、ボーリング調査2か所（米山台西、春日三丁目）及び防火水槽撤去1か所（大字上田尻）を実施した。				
成 果	耐震防火水槽を設置することにより、大規模災害における火災発生時、水道管の破裂等による消火栓使用不能時に住民を火災被害から保護することが可能となった。				
課題・今後の方向性	今後は街区に含まれない地域等においても消防水利を整備し、地域の実情に応じた適正な水利を配置していく必要がある。				

事務事業名	消火栓整備事業			決算書 掲載ページ	398
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	消防総務課	
目	03	消防施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	14,953		12,816	0	2,137
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		6,300	0	6,516
目 的	消火栓を計画的に設置し、維持管理することにより、住民に安心感を与えるとともに、強固な火災防御体制を構築する。				
取組内容・実績	消火栓新設2か所（西山町大崎、西山町和田）、消火栓改良8か所（大字加納ほか）及び消火栓修繕15か所（西山町石地ほか）を実施した。				
成 果	「消防力の整備指針」及び「消防水利の基準」に基づき、消防水利が不足している箇所へ消火栓を設置することにより、住民に安心感を与えるとともに、強固な火災防御体制を構築できた。				
課題・今後の方向性	今後は街区に含まれない地域等においても消防水利を整備し、地域の実情に応じた適正な水利を配置していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	常備消防施設整備事業			決算書 掲載ページ	400
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	消防総務課	
目	03	消防施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	48,000		42,889	0	5,111
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	2,833	40,056
目 的	災害対策拠点施設として地域住民からの要請に対応するため、消防庁舎及び附帯設備の機能強化を図る。				
取組内容・実績	故障により機能していなかった消防本部・署駐車場融雪施設（消雪パイプ）を改修した。				
成 果	冬期間における緊急車両の出動体制を確保できた。				
課題・今後の方向性	消防本部・署庁舎の経年劣化に伴う改修等について、次期指令台更新時期に合わせた検討を行う必要がある。				

事務事業名	常備消防車両整備事業			決算書 掲載ページ	400
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	消防総務課	
目	03	消防施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	174,987		174,279	0	708
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		135,627	11,512	27,140
目 的	救助工作車・救急自動車の更新整備等消防力の整備・充実により、多種多様な災害への救急・救助体制の確保につなげる。				
取組内容・実績	救助工作車1台及び救急自動車1台の更新、はしご付消防自動車1台のメンテナンス等を実施した。				
成 果	救助工作車、救急自動車及びはしご付消防自動車を整備したことにより、救急医療体制の確保、消防力の充実・強化ができた。				
課題・今後の方向性	今後も複雑多様化する災害に効果的かつ効率的に対応できる資機材を装備した車両の高度化を図り、計画的に整備していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	常備消防資機材整備事業			決算書 掲載ページ	400
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	消防総務課	
目	03	消防施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	18,192		18,045	0	147
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		5,573	1,192	11,280
目 的	救急資機材・潜水資機材の整備・充実により、多種多様な災害への救急・救助体制の確保につなげる。				
取組内容・実績	救急車積載用救急資機材、水難救助用潜水資機材（3セット）及び応急手当普及啓発用機材を更新整備した。				
成 果	救急・救助資機材の整備・充実により、多種多様な災害対応及び消防隊員の安全を確保することができた。				
課題・今後の方向性	今後も複雑多様化する災害への対応強化を図り、資機材を計画的に整備していく必要がある。				

事務事業名	防災訓練費			決算書 掲載ページ	402
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	防災・原子力課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,007		897	0	110
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	897
目 的	市民参加型や地域が主体となった実働的な防災訓練の実施や、関係機関との連携訓練を行うことにより、地域防災力の向上及び防災関係機関との緊密な連携強化を図る。				
取組内容・実績	近年多発する水害を想定した「水害対応総合防災訓練」を鯖石川流域の中鯖石・南鯖石地区を対象に実施した。住民主体の住民避難訓練及び防災啓発活動を行い、1,163人が参加した。 また、全市一斉安全行動訓練を実施し、10,364人が参加した。				
成 果	住民主体の避難訓練を定期的を実施することにより、避難行動の確認に併せ、防災啓発活動により、多くの参加者が現場に即した防災知識を得ることができた。また、全市一斉安全行動訓練では、学校、保育園等からの参加もあり、幅広い対象者に訓練を実施することができた。				
課題・今後の方向性	地域が主体となった、地域特性に応じた訓練の実施を推進するため、今後も計画段階から積極的に人的・物的支援を行う必要がある。また、職員に対する災害対応訓練も定期的の実施し、災害対応力の継承に努める必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	避難所表示看板整備事業			決算書 掲載ページ	402
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	防災・原子力課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,749		6,082	0	667
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	2,771		0	0	3,311
目 的	自然災害種別ごとの避難所表示看板を整備することにより、住民への確実な情報伝達を図り、迅速な避難行動へつながるようにする。				
取組内容・実績	5年計画で指定避難所207か所へ整備を実施する予定。今年度は2年目の整備であり、指定避難所45か所へ避難所表示看板を設置した。なお、1年目は39か所へ整備済み				
成 果	指定避難所に避難所表示看板を設置することにより、災害時避難場所に関する市民への周知を図ることができた。				
課題・今後の方向性	5か年計画で整備している避難所表示看板であるが、令和4（2022）年度までに、全ての避難場所に設置するため、計画的に取り組む必要がある。				

事務事業名	防災ガイドブック作成事業			決算書 掲載ページ	402
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	防災・原子力課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,079		6,701	0	378
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,419		0	0	5,282
目 的	最新のハザードマップ（津波、洪水）等を記載し、自分が住んでいる地域と、そこで起き得る災害との関連性を、平時から意識できるようにし、個人・地域の防災意識向上に努める。				
取組内容・実績	防災ガイドブック（自然災害編）を作成し、全戸へ配布した。 あわせて、出水期には各地区へ出向き、作成した防災ガイドブックを基に、出水期前説明会を実施した。				
成 果	最新の知見を踏まえた自然災害における防災知識、防災情報の伝達、災害時の適切な行動等をガイドブックにまとめることで、より一層の市民防災意識の向上を図ることができた。				
課題・今後の方向性	防災に関する最新の知見を反映させていくため、定期的な更新が必要である。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	防災体制強化事業			決算書 掲載ページ	402
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	防災・原子力課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,016		4,600	0	416
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	165		0	0	4,435
目 的	大規模災害を想定した平時からの備えや災害時における関係機関との連携強化が更に求められることから、必要な経費負担を行い防災体制の強化に努める。				
取組内容・実績	防災体制強化のための職員配置、専門研修受講、外部関係機関との連携強化を図った。また、通信費、修繕料、借上料、消防防災ヘリコプター運航経費等も併せて負担した。				
成 果	通信や観測業務の維持、防災・災害に関する最新動向の把握及び非常勤職員の雇入れなど防災体制の強化につなげることができた。				
課題・今後の方向性	災害への平時からの備えや災害時における関係機関との連携強化が求められていることから、引き続き必要な経費負担を行い防災体制の強化に努める必要がある。				

事務事業名	防災行政無線施設整備事業			決算書 掲載ページ	404
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	防災・原子力課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	12,000		10,786	0	1,214
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	10,786
目 的	防災行政無線戸別受信機の設置、故障に関して速やかに対処することで、住民の安心安全を確保する。				
取組内容・実績	市民の住居移動に伴い、戸別受信機等設置工事（設置、撤去、移設、修繕等：総数705件）を実施した。				
成 果	防災行政無線戸別受信機の設置、故障に関して速やかに対処し、住民の安心安全を確保することができた。				
課題・今後の方向性	令和元（2019）年度から令和3（2021）年度までの3年をかけ、新しい防災情報通信システムを構築しており、この戸別受信機設置関係工事については、徐々に対象数が少なくなる予定である。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-1 原子力発電所の安全性向上を追求する

事務事業名	自主防災組織育成事業			決算書 掲載ページ	404
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	防災・原子力課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,642		4,453	0	189
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	525		0	0	3,928
目 的	自主防災組織（コミセン・町内会等）を育成し、地域防災力の向上を図るための手段として、防災士の養成、防災出前講座を実施する。				
取組内容・実績	防災出前講座を46回実施するとともに、防災士養成講座を開講し、地域や事業所から推薦を受けた48人が受講した（対前年比141％）。また、資格取得者のためのフォローアップ研修を2回（6月、翌年1月）開催し、延べ85人が受講した。				
成 果	自主防災組織が出前講座メニューの中から必要な防災知識について学ぶ機会を提供することができた。また、防災士養成講座では、気象に関する知識や応急手当方法など、幅広い防災スキルの取得につながった。				
課題・今後の方向性	現在、防災士が配備される自主防災会は311組織のうち67組織に止まり、カバー率は2割程度（22％）と低い状況である。このため、各自自主防災会に一定数（1人以上）の防災士を配置させる必要があることから、地域に対し防災士養成講座受講者の推薦を継続的に働きかけるとともに、地域内で防災士を積極的に活用できる仕組みを構築する。				

事務事業名	原子力防災研修事業			決算書 掲載ページ	406
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	防災・原子力課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,570		3,262	0	1,308
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	3,262		0	0	0
目 的	放射線の基礎知識及び原子力防災に関する正しい知識の習得と原子力災害時における防災活動の普及啓発を図るため、原子力地域防災リーダー研修会等を開催する。				
取組内容・実績	消防団を対象にした原子力地域防災リーダー研修（8回：226人）を開催したほか、採用2・3年目の市職員を対象とした研修を実施した。				
成 果	消防団や市職員の原子力防災に関する知識の習得と原子力防災意識の向上につなげることができた。				
課題・今後の方向性	原子力防災対策に対する理解と普及啓発のための研修やセミナーに加え、地域防災力の向上や要配慮者の避難支援体制の確立を図るため、自主防災組織や防災士を対象とした研修を新たに実施する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

10款 教育費

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	防災情報通信システム整備事業			決算書 掲載ページ	406
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	防災・原子力課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	946,307		919,006	0	27,301
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	898,177		0	0	20,829
目 的	新しくFM放送を活用した防災情報通信システムを構築することにより、アナログ放送終了後であっても、引き続き全市民に防災情報を届けることができる。更に強化・ <small>ふくろう</small> 輻輳化したシステム構築を図ることにより、市民の安心安全を確保する。				
取組内容・実績	庁舎内の放送設備（情報連携システム）の構築、FM放送の強靱な伝送路設備整備、受信エリア拡大のための中継局の移設改修を実施した。あわせて、市民が情報を受ける設備として、屋外での音声拡声装置の整備、各家庭への緊急告知ラジオの配布を実施した。				
成 果	防災情報通信システム構築へ向けて、今年度分の事業を順調に進めることができた。				
課題・今後の方向性	令和元（2019）年度から令和3（2021）年度までの3年間で、現在の防災行政無線による情報発信からFM電波を活用した防災情報通信システムに移行する。				

事務事業名	奨学金貸付事業			決算書 掲載ページ	410
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	教育総務課	
目	02	教育委員会事務局費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	55,212		55,188	0	24
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	54,360	828
目 的	成績優秀な学生で経済的理由により就学が困難なものに対して学資の貸付けを行うことにより、教育の機会均等を図る。				
取組内容・実績	経済的な理由により大学・短期大学・専修学校（専門課程）への就学が困難な学生に学資の貸付けを行った。 ・令和元（2019）年度貸付者総数80人、令和元（2019）年度新規貸付者23人				
成 果	新規貸付者23人を含む80人に貸付けをし、教育の機会均等の向上が図られた。				
課題・今後の方向性	長期的な視野に立って、他の奨学金制度も見ながら、制度の在り方を検証していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

事務事業名	通級指導教室事業			決算書 掲載ページ	416
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	学校教育課	
目	03	義務教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	716		628	0	88
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	628
目 的	市内に配置されている通級指導教室に対して、言葉、聞こえ、コミュニケーション及び認知など特別な教育的支援を要する児童生徒の指導に必要な教材や書籍等の購入を支援するとともに、担当職員の資質向上のための研修等を行う。				
取組内容・実績	指導に必要な教材や教材研究のための書籍等の購入支援、通級指導教室の環境整備を行うとともに、通級指導担当者主催の研修会を4回行った。				
成 果	担当者の資質向上、教室環境の整備につながり、多様な教育的ニーズのある児童生徒が専門的な指導や支援を受けることができた。				
課題・今後の方向性	通級指導教室を利用する児童生徒が増えている。また、利用する児童生徒の教育的ニーズも多様化している。そのため、引き続き教室環境の整備とともに、指導のために必要な教材や情報端末等を教育的ニーズに合わせて更新していく必要がある。あわせて、通級担当者のニーズに合わせた研修を行う必要がある。				

事務事業名	特別支援学級介助事業			決算書 掲載ページ	416
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	学校教育課	
目	03	義務教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	67,915		66,999	0	916
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	38,000		0	169	28,830
目 的	特別支援学級設置校に介助員を配置し、児童生徒の自立に向けた身の介助や学習指導、機能訓練を行う。				
取組内容・実績	小学校13校に、30人の指導補助員を雇用し、特別支援学級に在籍する児童が安心して充実した学校生活を送れるよう支援した。				
成 果	特別支援学級に在籍する児童の教育的ニーズに応じた学習指導や身の介助が行われた。				
課題・今後の方向性	小学校における特別支援学級に在籍する児童数は増加している。介助員の配置については、その学校での特別支援学級在籍児童数の増減と特性を考慮しながら、検討していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

事務事業名	特別支援教育推進事業			決算書 掲載ページ	416
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	学校教育課	
目	03	義務教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,551		2,394	0	157
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	2,394
目 的	特別な教育的ニーズのある児童生徒及び就学予定者に対して、就学相談を行い、適正な就学に向けた判断を行う。また、通常学級における特別な教育的ニーズのある児童生徒について、要請した学校の授業改善や校内支援体制の整備など、巡回相談事業として行う。				
取組内容・実績	特別支援教育会議では、幼児部会・小中部会合わせて、178件の審議を行った。巡回相談では、小学校で延べ55件、中学校で延べ23件の相談依頼があった。幼児部会の運営、対象児の調査等については、特別支援教育嘱託指導主事が行った。				
成 果	専門員の丁寧な調査により、判断について保護者の理解を得ることができた。巡回相談では、困難ケースについて、学校が専門相談員の助言をいかして支援を行うことができた。嘱託指導主事が調査に入ることで、専門員の負担軽減につなげることができた。				
課題・今後の方向性	依頼件数の増加、依頼案件の複雑化・多様化に対応できるよう担当者の増員と質の向上を行う必要がある。引き続き、嘱託指導主事の配置が必要である。				

事務事業名	英語教育推進事業			決算書 掲載ページ	418
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	学校教育課	
目	03	義務教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	27,973		26,833	0	1,140
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	1,774	25,059
目 的	児童生徒の英語によるコミュニケーションや異文化に接する機会を増やし、コミュニケーション能力の向上を図るとともに、異文化理解を深める。				
取組内容・実績	小・中学校における英語教育と国際理解教育の充実を図るため、常勤5人、非常勤1人のALT（外国語指導助手）を配置・活用した。小学校の外国語活動や中学校の英語授業で教諭とのチームティーチングなどを実施した。				
成 果	ALTの活用により、コミュニケーション活動が活発かつ効果的に行われた。				
課題・今後の方向性	令和2（2020）年度は、新学習指導要領全面実施に伴い、小学校で英語が教科化される。現在のチームティーチングによる授業数を更に推進する必要があるため、常勤ALT及び非常勤ALTを各1人増員する。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

事務事業名	指導補助事業			決算書 掲載ページ	418
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	学校教育課	
目	03	義務教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	94,406	86,769	0	7,637	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	1,362	0	211	85,196	
目 的	特別支援学級や通常学級で支援が必要な児童生徒に対する指導・支援を行うため、指導補助員を配置する。また、日本語指導が必要な外国人等の児童生徒の修学体制を整える。				
取組内容・実績	小・中学校23校に、前年度より2人多い38人の指導補助員を配置し、学習指導や生徒指導等の充実に向けた支援を行った。				
成 果	通常の学級に在籍する特別な支援を要する児童生徒に対し、ねらいを達成する学びに結び付く授業支援、コミュニケーション、対人関係の構築が苦手な児童生徒への支援等が行われた。				
課題・今後の方向性	通常学級における特別な教育ニーズに応じた指導、主体的で対話的な学びへの対応など、指導補助を必要とする学校は更に増加していることから、今後も、配置数増を求めていく。				

事務事業名	科学技術教育事業			決算書 掲載ページ	420
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	学校教育課	
目	04	教育センター費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	7,955	7,271	0	684	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	13	7,258	
目 的	柏崎刈羽地区における小・中学校の理科担当教員の指導力向上及び児童生徒の適切な科学概念の形成並びに地域の科学技術教育振興に資する。				
取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員への理科・生活科・総合・環境の専門研修・相談支援のため、研修会を実施した(32回受講者数267人)。 ・科学に対して親しみ、興味の醸成を図るため、科学の祭典等の啓発事業を9回実施した(参加者数4,282人)。 ・学校等の要請研修を実施した(59回)。 ・教材機器等の貸出し(73件)等を通じ学校・地域への支援を行った。 				
成 果	研修内容について、参加者からは「児童生徒への指導上の確認ができた」など満足度において高い評価を得た。				
課題・今後の方向性	柏崎刈羽地区の児童生徒の科学的な見方・考え方を育成するための教職員研修の計画や、理科的活動の計画的な企画運営を進める必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	教育情報支援事業			決算書 掲載ページ	422
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	学校教育課	
目	04	教育センター費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	6,437	6,431	0	6	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	6,431	
目 的	柏崎市情報教育支援システムの運用管理を行うとともに、教職員に対して情報機器に関する指導や支援を行うことで教育の情報化の推進を図る。				
取組内容・実績	教育情報システムの円滑な運用を行い、教職員への情報の配信、情報機器等情報に関する理解と活用能力の向上及びセキュリティに対する意識の向上を図るため、情報教育研修（26回、受講者369人）及び各種支援（78回、2,102人）を行った。				
成 果	計画どおりに情報教育研修及び各種支援を行うことにより、教職員のICT（情報通信技術）活用指導力の向上、児童生徒や保護者の情報モラル育成などに寄与した。				
課題・今後の方向性	校務支援システム運用に関する研修、GIGAスクール構想の実現に向けた児童生徒1人1台端末の整備及び運用上の研修を充実させる必要がある。また、GIGAスクール構想対応機器整備及び研修について検討する必要がある。 →令和2（2020）年度から教育総務課に移管				

事務事業名	通学支援事業			決算書 掲載ページ	424
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	02	小学校費	担 当	教育総務課	
目	01	学校管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	67,099	58,049	0	9,050	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	58,049	
目 的	遠距離通学児童に対して通学支援を行うことにより、登下校の負担軽減と安全確保を図るとともに、スクールバスを校外学習の移動手段として有効活用を図る。				
取組内容・実績	遠距離通学の児童に対して、通学支援（スクールバスの運行や通学定期券の支給）を実施した（スクールバス利用：392人、通学定期券の支給：188人）。登下校のほか、校外学習等の移動手段として利用した。 【通学距離基準】児童：片道 2.5km				
成 果	遠距離通学の児童に対して負担軽減が図られた。また、校外学習等の移動手段として有効に活用した。				
課題・今後の方向性	通学支援の基準を引き続き検証するとともに、車両を良好な状態に管理し、老朽化した車両を計画的に更新する必要がある。また、児童の増減に対応した適正な車両の配備や運行ルートの設定などを適切に行う必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

事務事業名	情報機器管理費			決算書 掲載ページ	426
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	02	小学校費	担 当	教育総務課	
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	109,270		109,269	0	1
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	109,269
目 的	教育IT環境を整備し、学習環境の充実と事務の効率化を図る。				
取組内容・実績	教務室、教室等の情報環境の整備及び情報機器の保守管理を効率的に実施するため、包括アウトソーシング（平成30（2018）年4月1日～令和5（2023）年3月31日）することにより、必要な情報機器等を整備した。				
成 果	教育ICTの促進及び校務の効率化が図られるとともに、安定した情報教育環境を継続して確保することができた。				
課題・今後の方向性	情報教育の更なる促進のため、必要な情報機器の検討を行うとともに、GIGAスクール構想の実現に向けた検討を進める。				

事務事業名	就学援助費			決算書 掲載ページ	426
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	02	小学校費	担 当	学校教育課	
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	41,841		35,559	0	6,282
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	100		0	0	35,459
目 的	経済的理由で就学が困難な児童の保護者に就学環境を保障する。				
取組内容・実績	経済的理由で就学困難な児童469人の保護者に、小学校における必要経費（学用品費、学校給食費等）の一部を援助した。				
成 果	経済的に就学困難な児童の保護者の経済的な負担を軽減できた。				
課題・今後の方向性	小学校の在籍児童数は減少しているが、在籍児童数に占める認定者の割合はほぼ変わりなく、今後も継続して事業を行う必要がある。また、学校と連携しながら、保護者への制度周知を徹底していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	就学奨励費			決算書 掲載ページ	426
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	02	小学校費	担 当	学校教育課	
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	5,087	5,068	0	19	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	2,410	0	0	2,658	
目 的	特別支援学級等に在籍する児童の就学環境を保障する。				
取組内容・実績	特別支援学級等に在籍する児童142人の保護者に、小学校における必要経費（学用品費、学校給食費等）の一部を援助した。				
成 果	特別支援学級等に在籍する児童の保護者の経済的な負担を軽減できた。				
課題・今後の方向性	小学校の在籍児童数は減少しているが、特別支援学級在籍者及び就学奨励費支給対象者は増加しており、今後も対象児童の保護者の経済的負担を軽減し、就学環境を保障する必要がある。また、令和2（2020）年度からは、通級指導教室に通う児童生徒の保護者に対して交通費の支給を開始する。				

事務事業名	学校施設長寿命化事業			決算書 掲載ページ	428
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	02	小学校費	担 当	教育総務課	
目	03	学校建設費	現年度・繰越の別	現年度予算 ・継続費・通次繰越予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	815,303	519,533	295,769	1	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	65,297	442,400	83	11,753	
目 的	老朽化による施設設備の劣化に対して、計画的に大規模改修工事を行うことで、教育環境の改善及び施設の長寿命化を図る。				
取組内容・実績	【現年度予算】 比角小学校の管理特別教室棟の校舎及び屋内体育館棟の大規模改修工事を実施した。 【継続費・通次繰越予算】 半田小学校の特別教室棟及び屋内体育館棟の大規模改修工事を実施した。				
成 果	大規模改修工事を実施したことにより、教育環境の向上及び施設の長寿命化による児童と教職員の利便性・快適性を向上させることができた。				
課題・今後の方向性	児童の安全・安心、また、災害時の地域住民の避難所・避難場所としての機能を果たす学校施設とするため、「学校施設の長寿命化計画」に基づいた計画的な改修を進めていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	小学校施設整備事業			決算書 掲載ページ	428
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	02	小学校費	担 当	教育総務課	
目	03	学校建設費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	578,431		404,125	57,200	117,106
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	84,360		241,700	9	78,056
目 的	計画的な整備と維持管理を適切に行うことにより、学校施設利用者の安全性を確保し、健全な学校運営を図る。				
取組内容・実績	【現年度予算】 北鯖石小学校の老朽化により劣化した校舎棟の屋上防水改修工事を実施するとともに、柏崎小学校の空調設備設置工事等を実施した。また、保育園移転に伴う鯖石小学校改修工事設計を完了させるとともに、鯖石小学校のランチルーム改修等の工事を実施した。				
	【繰越明許予算】 大洲小学校を始めとする8小学校の空調設備設置工事を実施した。また、剣野小学校を始めとする3小学校の体育館トイレ改修工事を実施した。				
成 果	改修工事を実施したことにより、安全で良好な教育環境の整備ができた。また、空調設備設置工事を実施したことにより、良好かつ快適な教育環境を整備することができた。				
課題・今後の方向性	老朽化により早急な改修を要する学校施設が増加していることから、児童の安全・安心を確保し、良好かつ快適な教育環境の整備を継続して進めていく必要がある。				

事務事業名	日吉小学校体育館等改築事業			決算書 掲載ページ	428
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	02	小学校費	担 当	教育総務課	
目	03	学校建設費	現年度・繰越の別	現年度予算 ・継続費・通次繰越予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	324,000		315,281	0	8,719
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	51,820		253,900	13	9,548
目 的	児童の安全・安心を確保し、良好かつ快適な教育環境の整備を図るために、耐震性が不足する屋内体育館・食堂棟を改築する。				
取組内容・実績	平成30(2018)年度からの継続工事として屋内体育館・食堂棟の改築工事を竣工させるとともに、屋外グラウンドの改修工事を実施した。				
成 果	屋内体育館・食堂棟の改築工事が完了し、児童の安全・安心、また、災害時の地域住民の避難所・避難場所としての機能を果たす学校施設を整備することができた。				
課題・今後の方向性	令和2(2020)年度には旧屋内体育館棟及び旧食堂棟の解体工事に着手するとともに、その跡地整備のための工事設計測量業務を完了させて、駐車場等の外構整備を計画的に進めていく。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	通学支援事業			決算書 掲載ページ	430
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	03	中学校費	担 当	教育総務課	
目	01	学校管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	39,926	35,695	0	4,231	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	35,695	
目 的	遠距離通学生徒に対して通学支援を行うことにより、登下校の負担軽減と安全確保を図るとともに、スクールバスを校外学習の移動手段として有効活用を図る。				
取組内容・実績	遠距離通学の生徒に対して、通学支援（スクールバスの運行や通学定期券の支給）を実施した（スクールバス利用：99人、通学定期券の支給：22人）。登下校のほか、校外学習等の移動手段として利用した。 【通学距離基準】生徒：片道 夏期4.5km、冬期3.5km				
成 果	遠距離通学の生徒に対して負担軽減が図られた。また、校外学習等の移動手段として有効に活用した。				
課題・今後の方向性	通学支援の基準を引き続き検証するとともに、車両を良好な状態に管理し、老朽化した車両を計画的に更新する必要がある。また、生徒の増減に対応した適正な車両の配備や運行ルートの設定などを適切に行う必要がある。				

事務事業名	情報機器管理費			決算書 掲載ページ	432
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	03	中学校費	担 当	教育総務課	
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	65,562	65,562	0	0	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	65,562	
目 的	教育IT環境を整備し、学習環境の充実と事務の効率化を図る。				
取組内容・実績	教務室、教室等の情報環境の整備及び情報機器の保守管理を効率的に実施するため、包括アウトソーシング（平成30（2018）年4月1日～令和5（2023）年3月31日）することにより、必要な情報機器等を整備した。				
成 果	教育ICTの促進及び校務の効率化が図られるとともに、安定した情報教育環境を継続して確保することができた。				
課題・今後の方向性	情報教育の更なる促進のため、必要な情報機器の検討を行うとともに、GIGAスクール構想の実現に向けた検討を進める。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

事務事業名	無線LAN整備事業			決算書 掲載ページ	432
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	03	中学校費	担 当	教育総務課	
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	24,530		24,530	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	3,687		0	0	20,843
目 的	授業時の教育IT活用及び災害時の情報収集のために普通教室や体育館等に無線LANを整備する。				
取組内容・実績	中学校の体育館や普通教室等で災害時に無線LANを使用できるよう整備した。なお、平時には、授業や学校行事で無線LANを活用することができるようになった。				
成 果	災害時の無線LANを利用した情報取得の利便性向上に寄与した。また、通信環境を利用した授業を行うことができる環境を整備することができた。				
課題・今後の方向性	GIGAスクール構想の実現に向け、充実した通信環境の整備を引き続き進めていく必要がある。				

事務事業名	就学援助費			決算書 掲載ページ	432
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	03	中学校費	担 当	学校教育課	
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	41,371		31,175	0	10,196
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	31,175
目 的	経済的理由で就学が困難な生徒の保護者に就学環境を保障する。				
取組内容・実績	経済的理由で就学困難な生徒302人の保護者に、中学校における必要経費（学用品費、学校給食費等）の一部を援助した。				
成 果	経済的に就学困難な生徒の保護者の経済的な負担を軽減できた。				
課題・今後の方向性	中学校の在籍生徒数は減少しているが、児童生徒数に占める認定者の割合はほぼ変わりなく、今後も継続して事業を行う必要がある。また、学校と連携しながら、保護者への制度周知を徹底していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

事務事業名	就学奨励費			決算書 掲載ページ	432
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	03	中学校費	担 当	学校教育課	
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	3,057	2,394	0	663	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	1,151	0	0	1,243	
目 的	特別支援学級等に在籍する生徒の就学環境を保障する。				
取組内容・実績	特別支援学級等に在籍する生徒49人の保護者に、中学校における必要経費（学用品費、学校給食費等）の一部を援助した。				
成 果	特別支援学級等に在籍する生徒の保護者の経済的な負担を軽減できた。				
課題・今後の方向性	中学校の在籍生徒数は減少しているが、特別支援学級在籍者はほぼ横ばいであり、今後も対象児童の保護者の経済的負担を軽減し、就学環境を保障する必要がある。また、令和2（2020）年度からは、通級指導教室に通う児童生徒の保護者に対して交通費の支給を開始する。				

事務事業名	心の教室相談員事業			決算書 掲載ページ	432
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	03	中学校費	担 当	学校教育課	
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	1,484	1,060	0	424	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	1,060	
目 的	生徒が悩み等を気軽に話せ、ストレスを和らげることのできる第三者的な存在となり得る者を生徒の身近に配置することにより、生徒が心のゆとりを持てるような環境の提供を図る。				
取組内容・実績	中学校6校に3人の心の教室相談員を配置した。生徒との教育相談等を635件実施した。				
成 果	学校の実態に応じた、よりきめ細かな相談支援業務を実施することができた。				
課題・今後の方向性	今後も多様なケースへの対応が必要であり、相談員の確保と資質の向上を図ることが重要である。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	中学校施設整備事業			決算書 掲載ページ	434
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	03	中学校費	担 当	教育総務課	
目	03	学校建設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	381,885		364,884	17,000	1
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	319,810		0	70	45,004
目 的	計画的な整備と維持管理を適切に行うことにより、学校施設利用者の安全性を確保し、健全な学校運営を図る。				
取組内容・実績	第一中学校、瑞穂中学校及び南中学校の空調設備設置工事を実施した。				
成 果	空調設備設置工事を実施したことにより、良好かつ快適な教育環境を整備することができた。				
課題・今後の方向性	老朽化により早急な改修を要する学校施設が増加していることから、生徒の安全・安心を確保し、良好かつ快適な教育環境の整備を継続して進めていく必要がある。				

事務事業名	中学校グラウンド補修事業			決算書 掲載ページ	434
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	03	中学校費	担 当	教育総務課	
目	03	学校建設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	80,000		79,809	0	191
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	79,809
目 的	計画的な整備と維持管理を適切に行うことにより、学校施設利用者の安全性を確保し、健全な学校運営を図る。				
取組内容・実績	老朽化により劣化した第三中学校屋外グラウンドの改修工事等を実施した。				
成 果	改修工事を実施したことにより、安全で良好な教育環境の整備ができた。				
課題・今後の方向性	老朽化により早急な改修を要する学校施設が増加していることから、生徒の安全・安心を確保し、良好かつ快適な教育環境の整備を継続して進めていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

事務事業名	東中学校改築事業			決算書 掲載ページ	434
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	03	中学校費	担 当	教育総務課	
目	03	学校建設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	65,133		57,087	7,117	929
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	57,087
目 的	<p>建築後40年以上を経過し、施設の老朽化が進行しており、また、施設の耐力度の低減が著しく、生徒の安全確保と不安解消及び教育環境の改善を図るために、校舎・屋内体育館の改築工事を行うとともに、併せてグラウンド等の整備を行う。</p>				
取組内容・実績	<p>東中学校改築検討委員会から示された東中学校改築事業基本構想を踏まえて、基本設計を完成させた。また、改築事業に関連した地質調査を完了させ、その調査結果を基本設計に反映させた。</p>				
成 果	<p>老朽化により劣化した校舎・屋内体育館の改築事業を進め、安全・安心で、かつ、快適で高質な教育環境の整備を図るとともに、適正規模の学校施設となるよう計画的に改築の準備を推進することができた。</p>				
課題・今後の方向性	<p>生徒の安全・安心、また、災害時の地域住民の避難所・避難場所としての機能を果たす学校施設とするため、「学校施設の長寿化計画」に基づいた計画的な改築・改修を進めていく必要がある。</p>				

事務事業名	放課後子ども教室推進事業			決算書 掲載ページ	434
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	子育て支援課	
目	01	社会教育総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,486		1,291	0	195
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	722		0	0	569
目 的	<p>異世代集団での活動や多くの人との交流を通じ、安全・安心な居場所である活動の場を提供し、子どもたちの安全確保と健全育成に地域ぐるみで取り組む。</p>				
取組内容・実績	<p>事業見直しにより、令和元（2019）年度から高柳地区のみでの実施となり、運営を高柳地区コミュニティ振興協議会に委託した。 放課後や夏休みなどの長期休暇中に、子どもが勉強や遊びを安全かつ自由に行えるよう安全管理員や学習アドバイザーを配置し、子どもの居場所作りを行った。 安全管理員や学習アドバイザーのほか、保護者やボランティア（計139人）の方の参加があった。 活動日数：215日 参加児童数：延べ963人</p>				
成 果	<p>放課後や夏休みなどの長期休業中に、勉強や遊びなどを通じて、異世代交流や、自然の良さなどを学ぶことにつながった。また、地域住民がボランティアとして活動を支援することにより、地域ぐるみで子どもたちを育てようという雰囲気づくりができた。</p>				
課題・今後の方向性	<p>安全管理員や学習アドバイザーの担い手の確保、研修の受講による意識の醸成、知識習得等を図り、安定した運営につなげる。</p>				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-2 学びを通じて地域の『たくましさ』をはぐくむ
	④-2-2 家庭・地域の教育力を高め、共助社会を形成する

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-2 学びを通じて地域の『たくましさ』をはぐくむ
	④-2-1 学びの機会を充実させる

事務事業名	市民大学運営事業			決算書 掲載ページ	436
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	文化・生涯学習課	
目	01	社会教育総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,129		745	0	384
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	482	263
目 的	市民に幅広い分野をテーマとした学習の機会を提供し、市民が学ぶ喜び・楽しみから心の豊かさや生きがいの発見へとつなげ、そのことがひいては地域社会の活力となることを目的とする。				
取組内容・実績	地元大学など高等教育機関や地域の人材との連携により、本市の歴史や文化のほか、移住・定住、高齢者福祉など地域の課題に即したテーマも設定し、前期5講座、後期11講座を実施した(年間講座数16講座(延べ46回)、受講者数468人(延べ950人))。				
成 果	本市について学び、魅力を再発見する視点から講座を企画し、内容を充実することができた。 また、市民が、本市の地域課題を知り、その解決に向けた方策や取組を考える機会を持つことにつながった。				
課題・今後の方向性	生涯にわたって学習を続けるという観点から、若い世代がより積極的に講座を受講するための方策を検討する必要がある。				

事務事業名	新成人フェスティバル運営事業			決算書 掲載ページ	436
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	文化・生涯学習課	
目	01	社会教育総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,184		1,095	0	89
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,095
目 的	本市にゆかりのある若者の人生の節目を市を挙げて祝うとともに、新成人に成人としての責任と社会に参画することへの自覚を促す。また、本市を離れた若者が同級生、家族、地域と交流し、郷土への愛着や誇りを醸成する機会と捉え、Uターン就職や定住の促進につなげる。				
取組内容・実績	令和元(2019)年5月3日に、文化会館アルフォーレを会場として、新成人の門出を祝福する成人式を開催した(新成人参加者688人、参加率81.8%)。				
成 果	参加した新成人に対して、成人としての自覚と社会参加を促すとともに、郷土を意識することができる内容の式典を開催することができた。				
課題・今後の方向性	新成人の意見を反映させた成人式の在り方を検討する必要がある。また、新型コロナウイルス感染症に対応した式典の運営に取り組む。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-3 歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる
	⑤-3-2 市民の主体的な文化活動を支援する

事務事業名	学校支援地域本部事業			決算書 掲載ページ	438
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	文化・生涯学習課	
目	01	社会教育総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	5,479	3,171	0	2,308	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	2,112	0	0	1,059	
目 的	市内の各小・中学校にコーディネーターを配置し、地域住民による運営委員会を立ち上げ、地域の人材をいかした学校支援活動の体制づくりを行い、学校・家庭・地域の連携を図る。				
取組内容・実績	各小・中学校に地域コーディネーターを配置し、地域住民等のメンバーによる運営委員会を中心に、学習支援活動、教育環境整備、登下校安全確保、学校行事の支援などに取り組んだ。				
成 果	地域の人材や特色をいかした学校支援活動により、子どもと地域住民とのコミュニケーションを深め、子どもの地域への愛着や地域住民への感謝の心、地域貢献の精神を育むことができた。				
課題・今後の方向性	コーディネーターやボランティアを固定化させない工夫が必要であり、地域に合わせた環境づくり・体制づくりに取り組む。				

事務事業名	文化会館管理運営費			決算書 掲載ページ	438
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	文化・生涯学習課	
目	01	社会教育総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	143,205	143,127	0	78	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	50,000	0	0	93,127	
目 的	文化会館アルフォーレの管理運営に民間の優れたアートマネジメントを活用し、市民の芸術文化活動等の振興と発展に寄与することを目的とする。				
取組内容・実績	市民の芸術文化活動の中核施設として、市民の鑑賞機会の充実と人材の育成及び創造活動の支援を図るため、施設利用者の利便性に配慮し、柔軟に対応した。また、市民自らが実施する催しに対しては、熟練したスタッフの技術的相談・助言や専門的技術支援を積極的に実施した（年間利用者数155,411人）。				
成 果	市民の芸術文化活動の中核施設として、民間の活力をいかした芸術文化活動の支援を通して、市民と連携した質の高い芸術文化活動の振興と発展に寄与することができた。				
課題・今後の方向性	文化会館アルフォーレの管理運営に民間が持つ創造力・知見を活用することにより、文化芸術の創造性を引き出し、市民の関心や理解を深めるためにも市民の意見が文化振興の施策に反映しやすい環境づくりを今後も構築していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-3 歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる
	⑤-3-2 市民の主体的な文化活動を支援する

事務事業名	青少年健全育成事業			決算書 掲載ページ	438
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	文化・生涯学習課	
目	01	社会教育総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	5,368	4,775	0	593	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	4,775	
目 的	青少年の非行・被害の防止に社会全体で取り組み、青少年の健全育成を推進することを目的とする。				
取組内容・実績	市内中心部での街頭育成活動、各中学校区での地区育成活動及び社会環境の浄化活動等を行い、非行・被害の未然防止や早期発見に努めた。				
成 果	学校、PTA及び警察等の関係機関・団体と連携し、青少年の非行・被害防止及び地域での安全・安心の見守りなどに貢献した。				
課題・今後の方向性	青少年の生活様式が変化しており、問題行動が見えにくくなってきている。青少年育成センターが行ってきた青少年育成事業を引き継ぐ関係機関との協議・検討を進めていく必要がある。				

事務事業名	市美術展覧会費			決算書 掲載ページ	440
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	文化・生涯学習課	
目	01	社会教育総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	2,016	1,896	0	120	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	504	1,392	
目 的	市民の創作活動の成果を発表する機会を提供するとともに、市民の美術に対する関心を高めることを目的とする。				
取組内容・実績	市民の日頃の創作活動の成果を発表する機会として、市美術展覧会を10月5日から14日まで10日間開催した。295人から出品があり、345点の作品を展示し、延べ3,270人の入場者があった。				
成 果	運営委員が各部門ごとに解説会を展示会場で行い、市民一人一人が芸術活動を身近に感じ、芸術に親しむ機会の充実を図ることができた。				
課題・今後の方向性	60年を超える伝統のある市美術展覧会であり、市民の創作活動の成果を発表する機会を提供するとともに、市民の美術に対する関心を高めるために今後も継続して開催していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-3 歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる
	⑤-3-2 市民の主体的な文化活動を支援する

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-3 歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる
	⑤-3-1 歴史・文化を保全・活用し、継承する

事務事業名	文化振興支援事業			決算書 掲載ページ	440
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	文化・生涯学習課	
目	01	社会教育総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,669		5,260	0	409
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	3,704		0	0	1,556
目 的	歴史的につながりのある都市や今後の友好関係を築く都市の市民文化芸術団体等との交流を深める機会を設け、新たな文化交流の発展につなげていくことを目的とする。				
取組内容・実績	文化会館アルフォーレ、柏崎芸術協会、柏崎音楽協会と市の4団体で古典をいかした柏崎地域活性化事業実行委員会を組織し、11月1日の「古典の日」にちなみ、「組踊ワークショップ」、「華麗なる琉球王朝の組踊」、「アルフォーレ特選寄席」、「綾子舞アルフォーレ公演」の4事業で構成した柏崎古典フェスティバルを実施した(柏崎古典フェスティバル入場者計1,798人)。				
成 果	柏崎古典フェスティバルの実施により、民間団体が持つ創造力と知見を活用しながら、様々な分野の良質な古典の鑑賞機会や文化芸術に親しむ機会の充実を図ることができた。				
課題・今後の方向性	市民一人一人が文化芸術を身近に感じ、親しむことのできる魅力あるまちづくりを目指すため、今後も新たな文化交流の発展を進めるとともに、市民の関心や理解が深まる文化芸術活動に対し支援する必要がある。				

事務事業名	綾子舞後継者育成事業			決算書 掲載ページ	444
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	博物館	
目	02	文化財保護費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,654		1,395	0	259
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,395
目 的	国指定重要無形民俗文化財「綾子舞」の後継者を育成することにより、文化財の保存・伝承を図る。				
取組内容・実績	「綾子舞伝承学習」を、伝承地を校区とする南中学校と新道小学校を対象に実施した。 期間 5/17～11/8、延べ10回開催 参加児童生徒数 73人(前年度60人) 「綾子舞伝承者養成講座」を、2つの座元(下野、高原田)において実施した。 期間 5/21～10/29、延べ36回開催 延べ参加者数 617人(前年度568人)				
成 果	郷土の伝統芸能を継承するための後継者(綾子舞伝承学習:参加児童生徒数73人、綾子舞伝承者養成講座:延べ参加者数617人)を育成することができた。				
課題・今後の方向性	人口減少などの影響により、新道小学校及び南中学校の児童・生徒を対象にした綾子舞伝承学習への参加者や指導者の確保が課題である。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-3 歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる
	⑤-3-1 歴史・文化を保全・活用し、継承する

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-3 歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる
	⑤-3-1 歴史・文化を保全・活用し、継承する

事務事業名	綾子舞保存振興事業			決算書 掲載ページ	444
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	博物館	
目	02	文化財保護費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	2,737	2,550	0	187	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	2,550	
目 的	柏崎市綾子舞保存振興会の年間活動費等を補助するとともに、広く市民に綾子舞を鑑賞する機会を提供することでその保存伝承活動を充実させる。				
取組内容・実績	柏崎市綾子舞保存振興会に対し、補助金を交付することにより、活動を支援した。また、綾子舞現地公開等の公演事業を実施した。 綾子舞現地公開来場者数 約800人				
成 果	柏崎市綾子舞保存振興会を中心とした保存伝承活動が着実に進められるとともに、公演事業では多くの市内外の方々から鑑賞してもらい、綾子舞への理解を深める取組を継続することができた。				
課題・今後の方向性	本市唯一の国指定重要無形民俗文化財であり、人口減少や少子高齢化等の課題に対し、保存振興に引き続き取り組んでいく必要がある。				

事務事業名	柏崎市内遺跡発掘調査事業			決算書 掲載ページ	444
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	博物館	
目	02	文化財保護費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	10,102	7,171	0	2,931	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	4,354	0	3	2,814	
目 的	埋蔵文化財の保護に関する協議資料を得るため、試掘調査などを行う。				
取組内容・実績	県営ほ場整備事業・県道改良事業・民間開発等に伴い、事前の試掘・確認調査を行った(試掘・確認調査6件、工事立会い14件)。また、平成30(2018)年度に実施した試掘・確認調査などの報告書2冊を刊行した。				
成 果	試掘・確認調査の実施及び報告書を刊行して、埋蔵文化財を保護することができた。				
課題・今後の方向性	県営ほ場整備事業対応のための調査経費が増加している。また、年度当初に予定していた調査のほかにも緊急の調査を求められる場合がある。さらに、開発事業の変更によって、調査の内容も異なってくる可能性があるため、本事業の推進にはその都度計画の見直しが必要となっている。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-2 学びを通じて地域の『たくましさ』をはぐくむ
	④-2-1 学びの機会を充実させる

事務事業名	図書館サービス事業			決算書 掲載ページ	452
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	図書館	
目	04	図書館費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	47,021		46,116	0	905
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	272	45,844
目 的	市民が快適に図書館を利用できる環境を整備し、生涯学習の充実を図るとともに、学校読書支援員を配置し、学校図書館の整備や学校読書支援を行う。				
取組内容・実績	図書館業務専門員及び学校読書支援員を配置し、館内資料の貸出し・返却、資料の登録・整理・修理、テーマに沿った特設展示、レファレンス業務、ソフィアだより発行、福祉コーナー運営、市内20小学校への巡回学校読書支援等を行った。				
成 果	図書館や学校図書館の環境整備により利便性を向上させ、市民の生涯学習の充実及び児童の学習意欲や読書への興味の向上を図ることができた。				
課題・今後の方向性	ビジネス支援や市民活動等に役立つ情報提供の場としての機能を強化する。また、学校読書の充実のために学校教育との連携強化が必要である。				

事務事業名	イベント・講座開催費			決算書 掲載ページ	452
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	図書館	
目	04	図書館費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,701		1,529	0	172
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,529
目 的	図書館資料を利用し、読書に関する各種イベント・講座等を開催することにより、施設や資料の活用を図るとともに、市民の読書活動の普及促進や生涯学習の推進を図る。				
取組内容・実績	おはなし会、絵本作家によるワークショップ、上映会、絵本に関する講座等を実施した。図書館ボランティア（登録者21名）を幼稚園・保育園等に19回派遣した。ブックスタートボランティア21名の協力を得て、4か月児健診で絵本を配付した。				
成 果	図書館資料を利用したイベント・講座やブックスタートの実施により、新たな読書のきっかけを提供し、市民の読書活動推進に寄与することができた。ボランティアの参加により、ボランティア育成支援や地域での読書活動推進が図られた。				
課題・今後の方向性	引き続き関係機関と連携しながら、イベント・講座を開催していくとともに、開館25周年記念事業の開催に向けて準備を進める必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-3 歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる
	⑤-3-1 歴史・文化を保全・活用し、継承する

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-3 歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる
	⑤-3-1 歴史・文化を保全・活用し、継承する

事務事業名	WEBミュージアム推進事業			決算書 掲載ページ	456
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	博物館	
目	05	博物館等費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	4,847	4,682	0	165	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	4,682	
目 的	文化的価値のある所蔵品等をデジタルアーカイブ化及びデータベース化し、インターネット上で公開する。				
取組内容・実績	大人向け及び子ども向けのWEBミュージアムの運用を継続するとともに、大人向けのWEBミュージアムでは新たに7件（10点）の文化財を高精細画像で撮影し、公開した（WEBミュージアムアクセス件数：68,208件）。				
成 果	子ども向けのWEBミュージアムでは、引き続き地域の文化、風土を学習できるようにした。大人向けのWEBミュージアムでは、画像の撮影・公開により、文化財等のデジタル化を推進した。また、新たなカテゴリーを設け、閲覧・検索の利便性を図ることができた。				
課題・今後の方向性	文化財等資料の高精細画質撮影経費が高額であることから、単年度における新規更新件数は限定的であり、継続的に取り組む必要がある。				

事務事業名	飯塚邸管理運営費			決算書 掲載ページ	458
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	博物館	
目	07	飯塚邸費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	9,947	9,947	0	0	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	0	9,947	
目 的	市民や観光客が気軽に利用でき、楽しめる文化施設として、指定管理者による自主事業や柔軟で効率的な管理運営を行う。				
取組内容・実績	指定管理者制度により、施設の管理運営を基本協定及び業務仕様書に基づき、適切な施設管理を行った。 入館者数：6,102人				
成 果	指定管理者、地域町内会、コミュニティセンター及び市が連携し、施設の魅力をいかした各種事業を展開することができた。				
課題・今後の方向性	令和2（2020）年度から市直営で管理することに伴い、市民のニーズ及び財政状況を踏まえ、持続可能な施設の運営管理について、引き続き検討を行う必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ
	④-3-1 スポーツによる地域づくりや生きがいづくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ
	④-3-1 スポーツによる地域づくりや生きがいづくりを進める

事務事業名	市民スポーツ大会経費			決算書 掲載ページ	464
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	スポーツ振興課	
目	02	体育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,770		2,292	0	478
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	2,292
目 的	市民誰もが、気軽にスポーツを楽しめる環境づくりとスポーツに親しむきっかけづくりを推進するとともに、スポーツ用具の無料貸出しを行うことにより、各地域や学校でのスポーツ活動・健康づくりの推進を図る。				
取組内容・実績	春・秋季スポレク祭や市民ウォーキング大会等、市民が気軽に参加できるスポーツ行事を開催した。また、地区体育協会、コミセン及び小・中学校等にニュースポーツ用具や運動会用具の無料貸出し（188件、344品目）を行った。				
成 果	スポーツ行事の開催やニュースポーツ用具等の無料貸出しにより、健康づくり、生きがいづくり、地域づくりを推進することができた。				
課題・今後の方向性	多様化するニーズに対応した種目や障がいのある人や外国人も参加しやすい種目の選定や環境整備が必要である。また、壮年期への働きかけとして、企業・事業所へのアプローチも課題である。				

事務事業名	市町村生涯スポーツ振興事業			決算書 掲載ページ	466
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	スポーツ振興課	
目	02	体育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,470		1,189	0	281
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	120		0	0	1,069
目 的	地域における専門指導者（スポーツエキスパート）を中学校運動部活動に派遣し、運動部振興と地域連携を促進する。				
取組内容・実績	市内8中学校の運動部活動に、競技及びその指導に精通した市内在住の専門指導者（スポーツエキスパート）14人を派遣し、その指導報酬やスポーツ安全保険料を負担した。				
成 果	中学生に対して、競技の説明、練習方法等を的確かつ丁寧に指導する機会を設けた。また、教職員の負担軽減をすることができた。				
課題・今後の方向性	本事業による外部専門指導者（スポーツエキスパート）派遣事業と新たな部活動指導員制度とのバランスを適正に取りながら、事業を実施する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ
	④-3-2 全国や世界に通用する競技者を育てる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ
	④-3-2 全国や世界に通用する競技者を育てる

事務事業名	スポーツ事業支援経費			決算書 掲載ページ	466
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	スポーツ振興課	
目	02	体育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	24,645		21,894	0	2,751
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	1,439	20,455
目 的	(一財) 柏崎市スポーツ協会、地区体育協会、総合型地域スポーツクラブ(チャレンジ夢クラブ)等の活動を支援することにより、競技スポーツ・生涯スポーツの普及・振興を図る。				
取組内容・実績	(一財) 柏崎市スポーツ協会、地区体育協会、総合型スポーツクラブ等に補助金を交付し、市民スポーツの普及・振興を図った。また、市民スポーツ大会の開催を委託し、専門員による適正な大会運営を行った。				
成 果	各種団体に補助金を交付することにより、市全体での競技スポーツの振興や地域における生涯スポーツ振興、健康・体力づくりの推進に結び付けることができた。また、支援団体と連携協力して「柏崎スポーツ意見交換会」を開催した。その結果、課題などの情報共有を図ることができた。				
課題・今後の方向性	「柏崎スポーツ意見交換会」での課題(壮年層・低年齢層へのアプローチ、市内スポーツ情報の一元管理等)に対し、取り組んでいかなければならない。また、地区体育協会、総合型地域スポーツクラブは、地域スポーツ活動による地域づくりを担っているため、連携を継続していく必要がある。				

事務事業名	選手強化事業			決算書 掲載ページ	466
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	スポーツ振興課	
目	02	体育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	8,605		8,273	0	332
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,451		0	0	6,822
目 的	県の強化指定を受けている3競技(水球・陸上・ハンドボール)のジュニア世代の強化を図り、各競技力向上を目指す。また、小中体連主催の上越地区大会以上の大会出場に係る経費の一部を補助した。				
取組内容・実績	県の強化指定を受けている3競技団体に対し、補助金を交付し、小・中・高生の選手強化を図った。また、選手派遣費補助金では、小中体連主催の上越大会・県大会・北信越大会及び全中大会に参加した生徒に対し、参加費・交通費・宿泊費の7割を上限に補助金として交付した。				
成 果	3競技団体では、中学・高校生が県内大会で活躍し、全中大会、インターハイ及び国体への出場を果たしており、特に陸上競技ではインターハイ、国体で連続の2位入賞者を輩出した。また、上越大会以上の大会への選手派遣費補助金は、ジュニア世代選手から競技に専念してもらおうという観点からも選手強化事業に大きく貢献している。				
課題・今後の方向性	県の強化指定を受けている3競技の活動支援・選手強化を継続し、ジュニア世代の競技力の維持・向上を図る必要がある。また、小中体連主催の上越地区大会以上の大会出場に係る経費支援は、選手の自己負担を軽減し、競技に専念してもらおうという観点からも、引き続き継続していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ
	④-3-1 スポーツによる地域づくりや生きがいがづくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ
	④-3-2 全国や世界に通用する競技者を育てる

事務事業名	水球のまち柏崎推進事業			決算書 掲載ページ	466
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	水球のまち推進室	
目	02	体育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	22,285		22,104	0	181
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,000		0	5,463	15,641
目 的	水球競技に関わる各種プログラム・イベント等を実践し、交流事業の積極的な展開や交流人口の拡大など地域の活性化を目指すとともに、水球競技の聖地化に資することで、当市のイメージアップや、インバウンド・国際交流の拡大につなげる。				
取組内容・実績	ホストタウン事業として、モンテネグロ元代表監督をコーチとして招へいし、ブルボンウォーターポロクラブ柏崎の指導を実施した。また、第18回世界水泳選手権大会水球競技（韓国・光州で開催）に出場したセルビア共和国男子水球代表の事前キャンプを実施し、日本代表との公開スパーリングマッチを開催した。また、アジア圏の水球チーム合宿（中国女子、シンガポール女子、男子ジュニア、オーストラリア女子、フィリピン男子ジュニアチーム）の誘致に成功し、市民等との国際交流を行うことができた。日本初の「海で水球」開催や水球マンホールの設置を実施した。				
成 果	一流指導者招へい事業、海外チーム合宿誘致、ホストタウン事業に伴う海外関係者招へいや、市民に対する国際交流・啓発アプローチ等を実施することにより、水球のまち柏崎を国内や世界に向け発信することができた。また、セルビア共和国代表から受入態勢等に高い評価と信頼を得ることができ、東京オリンピックの事前キャンプ実施が決定した。「海で水球」、水球マンホール等の事業によりシティセールスにつながった。				
課題・今後の方向性	2020年東京オリンピックは1年後に延期となったが、ホストタウン事業及びアジア圏における水球の聖地化を推進し、シティセールス及び交流人口拡大による地域の活性化につなげる。2021年の東京オリンピック以降も事業を継続し、水球だけでなく文化的、教育的、人的交流に広げていく必要がある。				

事務事業名	体育施設管理運営経費			決算書 掲載ページ	468
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	スポーツ振興課	
目	03	体育施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	342,931		342,495	0	436
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	85,000		0	14	257,481
目 的	15体育施設を指定管理者に管理運営させることにより、安全・快適・経済的な施設管理、市民ニーズに合致した運営の実施を図る。また、直営2施設（北条運動場、笠島運動場）の安全管理を図る。				
取組内容・実績	15体育施設については、指定管理者に指定管理料を支出し、継続的かつ安定的な管理運営を図ることにより、市民や市外の利用者に対し、安全で快適に利用できる体育施設を提供することができた。また、直営する北条、笠島の両屋外運動場については、安全性への配慮に加え、除草など周辺環境に配慮した維持管理に努めた。				
成 果	安全で快適な体育施設の管理運営を図り、それらを市内外の利用者に提供することによって、スポーツを「する・見る・支え育てる」取組が推進され、市民の健康づくり・生きがいがづくりや競技力の向上に資することができた。				
課題・今後の方向性	少子高齢化や人口減少が更に進んでいく社会情勢にあって、スポーツを通じた健康づくり・生きがいがづくり及び地域活力の向上を推進することが欠かせないため、引き続き、利用者の目線に立った安全で快適な体育施設の維持管理、運営及びサービス提供に取り組むことが重要となる。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ
	④-3-2 全国や世界に通用する競技者を育てる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ
	④-3-2 全国や世界に通用する競技者を育てる

事務事業名	総合体育館整備事業			決算書 掲載ページ	468
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	スポーツ振興課	
目	03	体育施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	150,955		150,742	0	213
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	120,520		0	0	30,222
目 的	市民のスポーツ振興・健康づくりを推進する多機能・総合的な屋内体育施設としての機能・役割を最大限に発揮させるため、利用者の利便性、安全性を確保する上で必要となる施設・設備を計画的に整備・更新する。				
取組内容・実績	サブアリーナにおいて、輻射式冷温水パネル設置による空調設備改修工事を実施し、特に夏季における熱中症予防対策を行った。また、1階事務所脇トイレの洋式化修繕を実施した。				
成 果	多機能・総合的な屋内体育施設として、機能の向上を図るとともに、利用者の利便性・安全性を確保することができた。				
課題・今後の方向性	長寿命化や予防保全等を図るための改修・修繕を計画的に整備・更新していく必要がある。				

事務事業名	県立柏崎アクアパーク整備事業			決算書 掲載ページ	468
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	スポーツ振興課	
目	03	体育施設費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	31,617		26,807	0	4,810
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	26,807
目 的	市民・県民に広く利用される競技用プール、レジャープール及び冬季アイススケートリンクから成る複合スポーツ施設としての機能・役割を最大限に発揮させるため、利用者の利便性・安全性を確保・向上させる上で必要な施設・設備を整備・更新する。				
取組内容・実績	新潟県による3か年の大規模改修工事の2か年目として、レジャープール、トレーニング室、浴室の空調機械設備改修工事やレジャープールの放送設備改修工事等を実施した。また、レジャープール脇トイレの洋式化や東側玄関屋根の改修工事及びコリドール部分の外壁落下に伴う防護壁を設置した。				
成 果	競技用プール、レジャープール及び冬季アイススケートリンクから成る複合スポーツ施設として、機能の向上を図るとともに、利用者の利便性・安全性を確保することができた。				
課題・今後の方向性	3か年計画外で老朽化の進んでいる部位（外壁や屋根等）を含め、長寿命化や予防保全等を図るための改修・修繕を計画的に新潟県と協議をしながら、整備・更新していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	給食業務運営経費			決算書 掲載ページ	470
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	教育総務課	
目	04	学校給食運営費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	323,474		318,620	0	4,854
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	250,000		0	7,454	61,166
目 的	安全・安心な学校給食を提供するため、維持管理運営に必要な業務を専門業者に委託する。また、衛生事故、異物混入等を未然に防止するため、衛生検査及び設備の入替え等を行う。				
取組内容・実績	給食調理業務を民間の専門業者へ外部委託を行った。施設管理では、全体的に老朽化した常用備品の突発的な故障に対応するため、各調理場に備品購入費を設置したほか、適切な調理業務のため設備備品の入替えを行った。				
成 果	小学生3,800人、中学生1,800人及び教職員600人(合計6,200人)に衛生的で安心安全な給食提供ができた。				
課題・今後の方向性	設備入替えにより管理状態は少しずつ改善しているが、20年以上経過したものが多く、業務用設備の老朽化は中長期的な課題となっている。施設の統廃合を更に進め、業務委託料や維持管理費の縮減に努める。				

事務事業名	給食施設整備事業			決算書 掲載ページ	472
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	教育総務課	
目	04	学校給食運営費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	53,338		53,338	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	53,338
目 的	衛生事故を未然に防止するため、文部科学省の学校給食衛生管理基準に沿った調理場施設となるよう老朽化した施設の長寿命化を調理場適正配置を踏まえて改修を行う。				
取組内容・実績	衛生管理基準に適した施設の整備及び老朽化した施設の改修を行う。特に西部調理場では、衛生管理基準に沿った汚染レベルごとの区画分け及びドライ設備への整備を行った。				
成 果	適正な改修により、大量調理のリスクを削減し、安全な給食を提供することができ、児童・生徒に衛生的で安心安全な給食提供ができた。				
課題・今後の方向性	開設から25年程度経過し、設備の老朽化が進んでいる施設があることから、調理場数削減による適正配置(統廃合)を考慮した大規模改修の必要がある。				

【国民健康保険事業特別会計事業勘定】

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1 心と体の健康づくりを進める

事務事業名	食育推進活動経費			決算書 掲載ページ	472
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	教育総務課	
目	04	学校給食運営費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	290	186	0	104	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
	0	0	0	186	
目 的	第3次食育推進計画における学童期の目指す姿と取組に沿い、食や食生活に関心を持つ子供を育てる。				
取組内容・実績	小学校6校、中学校5校の児童生徒約600人に対して、郷土料理の調理実習や、鮮魚商組合の協力による魚料理の調理実習等を行い、地域の食文化の継承、地産地消を推進した。				
成 果	地域の方の指導による調理実習等体験活動を通じ、地域への愛着心、食への関心、感謝の気持ちが醸成された。				
課題・今後の方向性	今までは地場産野菜を使用した活動が大半を占めていたが、近年は鮮魚商組合による魚を使用した調理実習が好評であることなどから、ニーズを踏まえて活動メニューを検討する必要がある。				

事務事業名	特定健康診査等実施事業			決算書 掲載ページ	505
款	04	保健事業費	会 計	国民健康保険事業 特別会計 事業勘定	
項	01	保健事業費	担 当	健康推進課	
目	01	保健衛生普及費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	75,934	63,804	0	12,130	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
	32,872	0	30,932	0	
目 的	医療保険者には、メタボリックシンドロームの予防・改善を目的とした「特定健康診査・特定保健指導」の実施が義務付けられており、国民健康保険の保険者である市が、国民健康保険の被保険者（40～74歳）を対象に、「特定健康診査・特定保健指導」を実施する。				
取組内容・実績	柏崎市国民健康保険加入者の40歳から74歳までを対象に、集団健診で57回、個別健診では延べ170回実施した。また、未受診者用の日程を確保し、ハガキによる勧奨で受診者の増加を図った。 受診者7,377人に対し特定保健指導の対象者は、積極的支援185人、動機付け支援663人であり、令和2（2020）年4月末までに、積極的支援106人（57.3%）、動機付け支援434人（65.5%）の初回面接を実施した。また、集団健診対象の特定保健指導会に、対象者480人のうち299人が出席し、保健指導を行った。				
成 果	集団健診会場で、あらかじめ対象となりそうな人の希望を聞き取り、日時を指定して特定保健指導を行ったことにより、初回面接率が上がり、必要な方に保健指導を行うことができた。 特定健診と特定保健指導は、健診後のフォローとして、生活習慣病の早期発見及び将来的な発症予防のため、生活習慣の振り返りと改善に結び付ける重要な役割を果たした。				
課題・今後の方向性	特定健診及び保健指導実施率の向上に向け、集団健診受診者を対象に、工夫した特定保健指導の案内を継続して実施する。また、より対象者のニーズに合わせた効果的な保健指導ができるよう保健指導従事者の研修を行う。				

【後期高齢者医療特別会計】

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1心と体の健康づくりを進める

事務事業名	後期高齢者医療広域連合納付金			決算書 掲載ページ	549
款	02	後期高齢者医療広域連合納付金	会 計	後期高齢者医療特別会計	
項	01	後期高齢者医療広域連合納付金	担 当	国保医療課	
目	01	後期高齢者医療広域連合納付金	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	929,187		918,253	0	10,934
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	918,253	0
目 的	後期高齢者医療制度の運営に必要な保険料等の負担金を新潟県後期高齢者医療広域連合に納付する。				
取組内容・実績	新潟県後期高齢者医療広域連合に、被保険者から徴収した保険料等負担金7億1,708万8,900円と保険料軽減分に相当する保険基盤安定負担金2億116万4,529円を納付した。				
成 果	後期高齢者医療制度の円滑な運営に寄与することができた。				
課題・今後の方向性	制度運営に必要な加入者負担分である保険料負担金の納付、制度安定のための低所得者の保険料軽減分である保険基盤安定負担金は、共に継続する必要がある。				

【介護保険特別会計】

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	介護保険事業計画策定業務費			決算書 掲載ページ	572
款	01	総務費	会 計	介護保険特別会計	
項	05	運営協議会等費	担 当	介護高齢課	
目	01	運営協議会等費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,228		2,313	0	915
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	2,313	0
目 的	柏崎市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画の策定に伴い、本市の定める日常生活圏域ごとの高齢者の環境・心身状況の把握や介護サービスの在り方、介護基盤整備の方向性を検討するための基礎資料として、調査分析を行う。				
取組内容・実績	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査票を対象者4,835人に送付し、回答を得た3,974人分の調査票の集計・分析作業を行った。在宅介護実態調査については、認定調査に併せた聞き取り調査を3月に開始した。令和2(2020)年6月までの計画調査件数600件のところ、3月中の調査票回収実績は174件だった。				
成 果	高齢者の心身状況等に関する圏域ごとの傾向、要介護者のサービス利用状況及び在宅介護ニーズ等を把握することができた。				
課題・今後の方向性	把握したニーズについて、令和2(2020)年度に策定する高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画に適切に反映する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	介護予防サービス給付費			決算書 掲載ページ	576
款	02	保険給付費	会 計	介護保険特別会計	
項	02	介護予防サービス等諸費	担 当	介護高齢課	
目	01	介護予防サービス給付費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	75,721		74,426	0	1,295
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	28,892		0	45,534	0
目 的	要支援1・2の認定者が利用した在宅の介護予防サービス利用に対する保険給付を行う。				
取組内容・実績	要支援者が利用した訪問看護、短期入所生活介護など計5,763件について、そのサービス費用の7～9割を支給した。				
成 果	介護保険法第53条の規定にのっとり、正確かつ迅速に介護予防サービス費の支給を行うことができた。				
課題・今後の方向性	介護保険法に基づく保険給付として今後も実施していく。ケアプラン点検や介護予防事業の推進により、適正給付に努めていく必要がある。				

事務事業名	訪問型サービス事業			決算書 掲載ページ	582
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	01	介護予防・生活支援サービス事業費	担 当	介護高齢課	
目	01	介護予防・生活支援サービス事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	33,649		29,782	0	3,867
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	11,564		0	18,218	0
目 的	介護予防給付による介護予防訪問介護が地域支援事業へ移行となり、①対象者のサービス費用の保険者分を負担する。②住民による支援の取組に対して活動補助を行う。				
取組内容・実績	訪問型サービス利用件数 2,244件/年(平成31(2019)年4月～令和2(2020)年3月審査分) 訪問型サービスB、D 2団体へ補助				
成 果	介護保険法第115条の45の3の規定にのっとり、正確かつ迅速に事業費の支給を行うことができた。また、2団体による補助事業により、多様なサービスを提供できた。				
課題・今後の方向性	介護保険法に基づく事業として今後も実施していく。多様なニーズに対応するため、住民主体のサービスを拡充させる方策を検討する。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	通所型サービス事業			決算書 掲載ページ	582
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	01	介護予防・生活支援サービス事業費	担 当	介護高齢課	
目	01	介護予防・生活支援サービス事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	84,225		76,959	0	7,266
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	29,883		0	47,076	0
目 的	介護予防給付による介護予防通所介護が地域支援事業へ移行となり、①対象者のサービス費用の保険者分を負担する。②住民による支援の取組に対して活動補助を行う。				
取組内容・実績	通所型サービス利用件数 4,544件/年(平成31(2019)年4月～令和2(2020)年3月審査分)				
成 果	介護保険法第115条の45の3の規定にのっとり、正確かつ迅速に事業費の支給を行うことができた。				
課題・今後の方向性	介護保険法に基づく事業として今後も実施していく。多様なニーズに対応するため、住民主体のサービスを拡充させる方策を検討する。				

事務事業名	介護予防ケアマネジメント事業			決算書 掲載ページ	582
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	01	介護予防・生活支援サービス事業費	担 当	介護高齢課	
目	02	介護予防ケアマネジメント事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	18,315		17,872	0	443
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	6,939		0	10,933	0
目 的	高齢者自身が地域において自立した日常生活を送れるようにケアプランを作成し支援する(総合事業サービスのみ利用する被保険者のケアプラン作成費を負担)。				
取組内容・実績	訪問・通所型サービスのみを利用している要支援者及び事業対象者のケアプランを作成した。 延べ4,047件/年(平成31(2019)年4月～令和2(2020)年3月審査分)				
成 果	自立支援及び地域特性に配慮したケアプランを作成することで、利用者に適切なサービスを提供することができた。				
課題・今後の方向性	介護保険法に基づく事業として今後も実施していく。介護予防、自立支援等に配慮したケアプラン作成が必要である。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	介護予防趣旨普及事業			決算書 掲載ページ	582
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	02	一般介護予防事業費	担 当	介護高齢課	
目	01	一般介護予防事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,106		1,358	0	748
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	839		0	519	0
目 的	活力ある自立した高齢期を過ごすために、地域で介護予防活動が広く実施され、高齢者が自ら活動に参加し、介護予防に向けた取組が主体的に実施されることを目的に、介護予防に関する知識の普及・啓発を図る。				
取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・健康教育 134回、延べ2,755人 ・健康相談 39回、延べ219人 ・口腔栄養講座 2か所、延べ34人 ・介護予防ドック 3回、385人 ・骨筋ポイント制度 参加者4,213人 				
成 果	介護予防ドックをコツコツ貯筋体操センターで実施し、各種測定や体操体験を通して介護予防の必要性を啓発することができた。8年目となる骨筋ポイント制度では、過去最多の4,213人が参加し、運動の継続支援を行うことができた。				
課題・今後の方向性	今後も幅広い普及啓発を継続し、早い段階からの介護予防への取組を支援する。				

事務事業名	介護予防教室事業			決算書 掲載ページ	584
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	02	一般介護予防事業費	担 当	介護高齢課	
目	01	一般介護予防事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,440		5,564	0	1,876
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	3,440		0	2,124	0
目 的	高齢者に対し、運動器の機能向上等のプログラムを実施し、健康の維持と要支援・要介護状態に陥ることを予防する。				
取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーリハビリ 2か所 実375人 延べ13,441人 ・西山いきいき教室 45回 実23人 延べ606人 				
成 果	プログラムの利用により、運動機能等の向上が図られ、健康の維持や要介護状態等になることの予防に役立てられた。				
課題・今後の方向性	フォンジェ内のコツコツ貯筋体操センターに、3か所目となるパワーリハビリ会場を整備することで参加者を増加させ、介護予防効果を高めていく。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	コツコツ貯筋体操センター事業			決算書 掲載ページ	584
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	02	一般介護予防事業費	担 当	介護高齢課	
目	01	一般介護予防事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,250		2,534	0	2,716
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,566		0	968	0
目 的	市民の誰もが参加できる「コツコツ貯筋体操センター」を運営し、各地域で実践されている体操会場と連携した取組を展開することで、介護予防や健康づくり活動を推進し、高齢者等の社会参加及び交流を支援する。				
取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・開所日数 166日 ・利用者数 実利用者707人 延べ9,087人 ・バス送迎 18回 				
成 果	センターの利用者のうち、新規にコツコツ貯筋体操を開始した人が381人見られ、体操人口が増加した。地域で体操を実践している団体をバス送迎し、相乗効果による体操普及が図られた。				
課題・今後の方向性	コツコツ貯筋体操の基幹的役割を担うために、センターと地域会場との連携を強化し、センター利用者が地域会場でも体操を継続できる取組を推進する。				

事務事業名	地域活動支援事業			決算書 掲載ページ	584
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	02	一般介護予防事業費	担 当	介護高齢課	
目	01	一般介護予防事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,405		2,282	0	1,123
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,410		0	872	0
目 的	地域の高齢者及び高齢者運動サポーターが、コツコツ貯筋体操を通じ、足腰の筋力と体力等を向上させ、転倒しにくい体づくりを支援するとともに、地域住民が主体的に取り組む地域社会の構築を図る。				
取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・会場数 191会場 ・参加人数 実人数3,637人 延べ112,358人 ・高齢者運動サポーター登録者数 287人 ・高齢者運動サポーター活動数 11,407回 				
成 果	市民が主体的に取り組む体操の場を支援するとともに、体操を通じて支え合う地域づくりに寄与できた。				
課題・今後の方向性	参加者数が減少している会場や、高齢者運動サポーター数が減少している地区に対し、会場への側面的な支援や新規のサポーター養成に取り組んでいく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	くらしのサポートセンター事業			決算書 掲載ページ	584
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	02	一般介護予防事業費	担 当	介護高齢課	
目	01	一般介護予防事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	59,927		59,650	0	277
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	36,881		0	22,769	0
目 的	地域住民が主体となり、地域交流や体操等の介護予防活動を実施し、高齢者の社会参加や支え合いの地域づくりを目指す。				
取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・実施20地区、3月期登録者数780人、延べ21,901人 ・付随事業（住民交流や住民ボランティア活動）を5地区で実践 				
成 果	登録者数を増加させることができた。付随事業を実施する5地区において、住民主体の地域支え合い活動を実践することができた。				
課題・今後の方向性	未設置地区の実施に向けた検討、付随事業の実践地区を増加させるための啓発を継続していく必要がある。				

事務事業名	地域リハビリテーション活動支援事業			決算書 掲載ページ	586
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	02	一般介護予防事業費	担 当	介護高齢課	
目	01	一般介護予防事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	68		43	0	25
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	26		0	17	0
目 的	医療及び介護分野に勤務するリハビリテーション専門職が、居宅やサービス事業所等を訪問し、対象者の個別課題の解決に向けた助言を行うとともに、急性期から生活期までの自立支援に向けたリハビリテーションを提供する。				
取組内容・実績	リハビリテーション専門職の派遣について、市内の病院及び介護保険施設（計3機関）から協力を受けて、計8件の訪問指導を実施した。				
成 果	本人、家族及びサービス担当者が、リハビリテーション専門職から自立支援に向けた具体的な手法を学ぶことができた。				
課題・今後の方向性	関係機関との協力体制を構築し、実施件数を増加させていくことで自立支援・重度化予防の取組を推進する。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	包括的支援事業			決算書 掲載ページ	586
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	03	包括的支援事業・任意事業費	担 当	介護高齢課	
目	01	包括的支援事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	129,997		129,585	0	412
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	74,835		0	54,750	0
目 的	高齢者やその家族に関する困りごとや相談等に対して必要な援助を行うことにより、地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援する。				
取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・総合相談件数 延べ4,605件 ・権利擁護事業 延べ958件 ・高齢者虐待への対応 延べ528件 ・介護支援専門員への支援 1,860件 (困難事例への支援 延べ655件、相談支援 延べ1,205件) 				
成 果	高齢者やその家族の相談への対応、高齢者の権利を守るための取組、地域の専門職への支援及びネットワーク構築を行うことにより、地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を図ることができた。				
課題・今後の方向性	問題を家族だけで抱え込み、相談が遅れる状況も見られるため、その要因を分析した上で、効果的な啓発方法を検討し、継続して周知を行う必要がある。				

事務事業名	成年後見制度利用支援事業			決算書 掲載ページ	588
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	03	包括的支援事業・任意事業費	担 当	介護高齢課	
目	02	任意事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,654		1,739	0	915
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,004		0	735	0
目 的	判断能力が十分でない高齢者等の権利を保護することを目的として、民法で定める成年後見制度（後見、保佐、補助）の利用について支援を行う。				
取組内容・実績	親族の協力を得ることができない場合の市長の申立て及び成年後見人等へ支払う報酬に係る費用に対する助成を行った（市長申立 2件、後見人制度報酬助成 8件）。				
成 果	市長申立て及び後見人への報酬の支払が困難な方への助成を行い、判断能力が不十分な方の財産と権利保護に寄与した。				
課題・今後の方向性	今後も認知症等で判断能力が十分でない高齢者が増えると予想され、支援を継続していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	在宅医療・介護連携推進事業			決算書 掲載ページ	588
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	03	包括的支援事業・任意事業費	担 当	介護高齢課	
目	03	在宅医療・介護連携推進事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,214		3,159	0	55
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,824		0	1,335	0
目 的	高齢者が医療や介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して暮らすために、切れ目ない在宅医療介護連携を推進する。				
取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療推進センターに医療・介護関係者の相談窓口を常設：相談件数50件 ・国保診療所を拠点とした関係機関の定例会議開催：3か所、延べ21回 ・多職種合同研修会：4回、延べ511人 ・多職種協働による住民啓発の実施：3回、延べ170人 				
成 果	在宅医療・介護関係者の相談窓口の設置や、在宅医療推進センター、関係機関と協働での研修会、意見交換会等を実施することで、医療と介護の連携強化を進めることができた。				
課題・今後の方向性	切れ目のない支援体制の構築、医療介護関係者の連携強化に向け、引き続き、在宅医療推進センターと協働で事業を進めていく必要がある。また、地域医療や介護への関心を高める市民啓発に取り組む必要がある。				

事務事業名	生活支援体制整備事業			決算書 掲載ページ	588
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	03	包括的支援事業・任意事業費	担 当	介護高齢課	
目	04	生活支援体制整備事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	12,033		11,754	0	279
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	8,200		0	3,554	0
目 的	高齢者の介護予防・生活支援サービスの提供体制の充実・強化及び高齢者による支え合い活動等の社会参加の推進を一体的に図る。				
取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援コーディネーター 5名配置 活動数2,114回 ・地域の支え合い推進会議 5回 ・くらしのサポートセンターえきまえ（基幹型） 延べ6,233人 ・訪問型サービスA従事者等研修 実14人 				
成 果	生活支援コーディネーター等が、支え合いに関する住民啓発を継続的に行ったことで、比角地区において住民が支え合いの地域づくりについて協議する場が新たに設置された。				
課題・今後の方向性	生活支援の担い手育成を継続するとともに、具体的な支え合い活動等を創出していくために、コミュニティ単位を基本とした住民協議の場を推進し、各地区の実情に合わせた体制を整備していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	認知症初期集中支援推進事業			決算書 掲載ページ	588
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	03	包括的支援事業・任意事業費	担 当	介護高齢課	
目	05	認知症総合支援事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,185		3,185	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,839		0	1,346	0
目 的	認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を設置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築することを目的とする。				
取組内容・実績	認知症初期集中支援チームを配置し、12人の対象者（平成31（2019）年度からの継続2人を含む。）に対し、初回訪問とアセスメントで延べ75件、チーム員会議を12回開催した。				
成 果	認知症初期の対象者に対し、医師を含めた専門チームでアセスメントや検討会議を実施することにより、早急に適切な支援を行うことができた。全事例において、医療機関の受診又は介護サービスの利用につながり、認知症本人の生活の質を保つことができた。				
課題・今後の方向性	対象者や支援方法、支援者への引き継ぐタイミング等を考慮しチーム員の負担が大きくなることなく支援ができるようにしていく必要がある。また、件数増加を目指し、関係者に利用しやすい事業となるよう受付の流れを変更する必要がある。				

事務事業名	認知症地域支援・ケア向上事業			決算書 掲載ページ	590
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	03	包括的支援事業・任意事業費	担 当	介護高齢課	
目	05	認知症総合支援事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,613		6,530	0	83
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	3,771		0	2,759	0
目 的	地域における認知症ケア体制及び医療と介護の連携体制を強化し、医療や介護サービスの必要な認知症高齢者を支援するとともに、認知症の理解や予防についての啓発を進め、地域での総合的かつ継続的な支援体制を確立することを目的とする。				
取組内容・実績	医療機関に委託し、認知症サポート医、認知症地域支援推進員を配置した。また、次の研修会等を開催した。 ・認知症支援者スキルアップ研修：56人 ・認知症ケア多職種協働研修：39人 ・認知症支援従事者対応力向上研修：90人 ・若年性認知症の人と家族の集い：4回、延べ88人 ・認知症カフェ支援：5か所（新規開設1か所、廃止1か所）				
成 果	認知症ケア対応力の向上を目的として、初任者を対象に研修を実施し、ケアの質を確保できた。また、認知症初期集中支援事業との連携を図ったことにより、早期に認知症地域支援推進員が困難ケースに関わることが可能になり、認知症の重度化予防につながった。				
課題・今後の方向性	認知症関連事業の関係者が多いため、効率的な事業運営に向け、目標設定や役割分担等を明確にし、事業を進めていく必要がある。また、事業所へのアンケートを実施し、研修等のニーズを把握することにより効果的な事業を展開する必要がある。				